



中小企業の景況

令和6年度第4・四半期

(令和7年 1～3月)

目 次

都内中小企業の景況（令和7年 1～3月期）	1
葛飾区内中小企業の景況（令和7年 1～3月期）	2
葛飾区の業況動向	3
製 造 業	4
卸 売 業	8
小 売 業	12
サービス業	16
建 設 業	20
不 動 産 業	24
日銀短観	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向	29
東京都・葛飾区の新設法人	32
特別調査	
「法定外福利厚生について」	34
中小企業景況調査 転記表	49

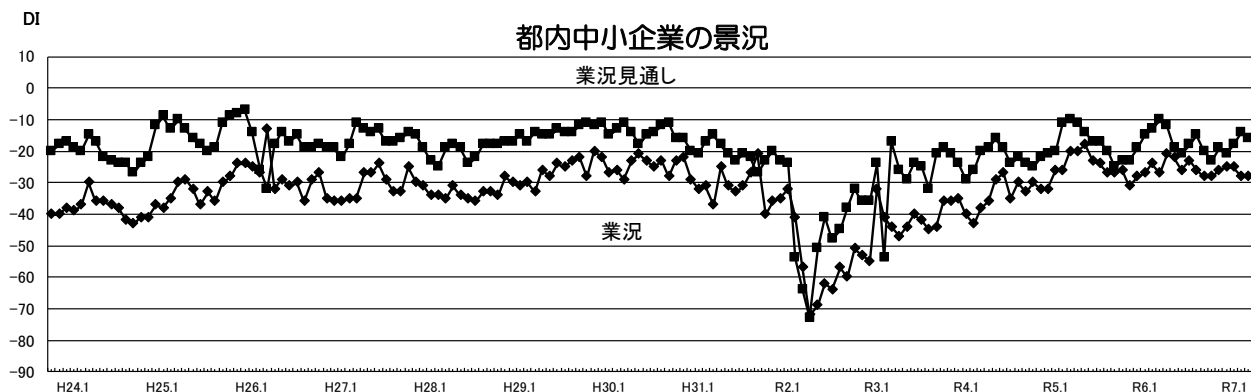
葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和7年1～3月期）

業況：全体はやや悪化。卸売業・サービス業で前期並、小売業でやや悪化、製造業で大幅に悪化。

見通し：全体は大幅に改善。製造業で極端に改善、小売業・卸売業・サービス業で大幅に改善する見込み。



業況 DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲28（前期▲25）と、やや悪化した。

今後3か月間の見通しでは、今期比 12 ポイント増の▲16 と大幅に改善する見通し。

	前 期 (R6.12)	今 期 (R7.3)	増 減	今後3ヶ月間の 見通し
製 造 業	▲29	▲36	▲7	▲16
卸 売 業	▲21	▲20	1	▲11
小 売 業	▲35	▲39	▲4	▲26
サービス業	▲18	▲18	0	▲12
全 体	▲25	▲28	▲3	▲16

令和7年3月の都内中小企業の業況 DI は、前期から3ポイント減の▲28 とやや悪化した。今後3か月間の業況見通し DI では、今期比 12 ポイント増の▲16 と大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、卸売業（▲20）は1ポイント増、サービス業（▲18）は増減なく、ともに前期並となった。小売業（▲39）は4ポイント減とやや悪化し、製造業（▲36）は7ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（24）は3ポイント増とやや上昇、小売業（27）は1ポイント減と前期並、卸売業（18）は6ポイント減と大幅に下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、サービス業（5）は7ポイント増と上昇に転じ、製造業（1）は1ポイント減と前期並、卸売業（11）は3ポイント減、小売業（12）は4ポイント減とともにやや下降した。

今後3か月間の業況見通し DI を業種別にみると、製造業（▲16）は20ポイント増と極端に改善、小売業（▲26）は13ポイント増、卸売業（▲11）は9ポイント増、サービス業（▲12）は6ポイント増といずれも大幅に改善すると見込まれている。

[注]

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

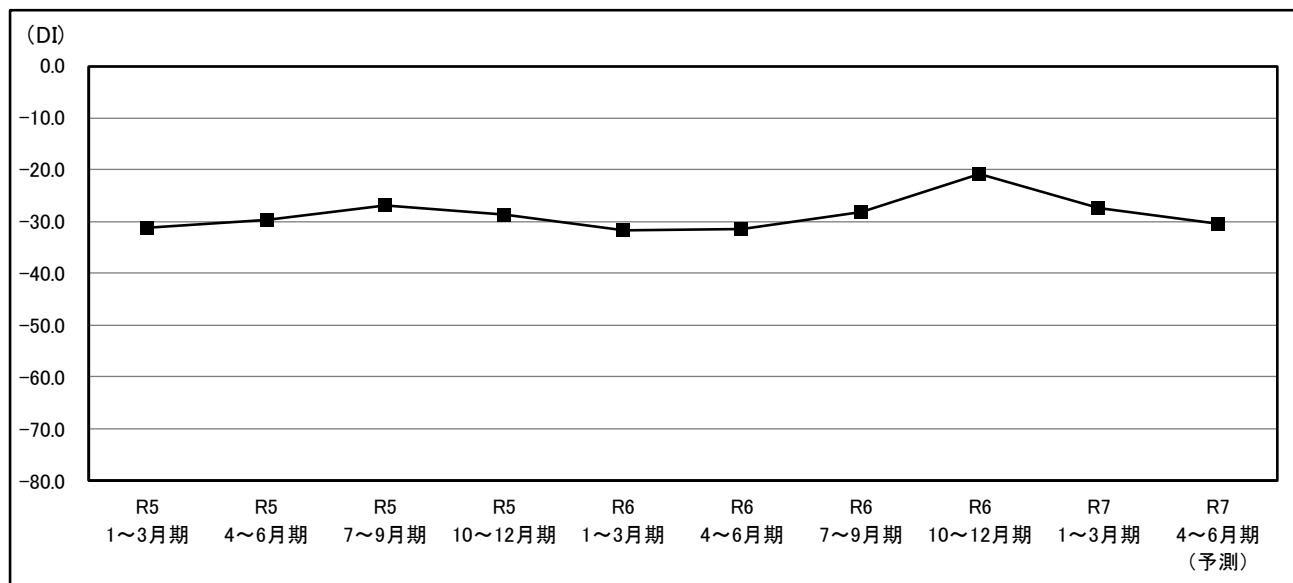
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

葛飾区内中小企業の景況（令和7年1～3月期）

業 況：全体では大きく悪化。卸売業はやや改善、製造業・不動産業はやや悪化、建設業・小売業・サービス業は大きく悪化。

見通し：全体ではやや悪化。サービス業・小売業はやや改善、卸売業は今期並み、不動産業はやや悪化、製造業・建設業は大きく悪化する見込み。



葛飾区内中小企業の業況 DI

	前 期 (R6.10~12)	今 期 (R7.1~3)	増 減	今後3ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲ 27	▲ 32	▲ 5	▲ 38
卸 売 業	▲ 39	▲ 35	4	▲ 35
小 売 業	▲ 39	▲ 51	▲ 12	▲ 46
サービス業	▲ 16	▲ 30	▲ 14	▲ 25
建 設 業	▲ 5	▲ 11	▲ 6	▲ 23
不 動 産 業	▲ 8	▲ 10	▲ 2	▲ 15
全 体	▲ 21	▲ 28	▲ 7	▲ 30

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

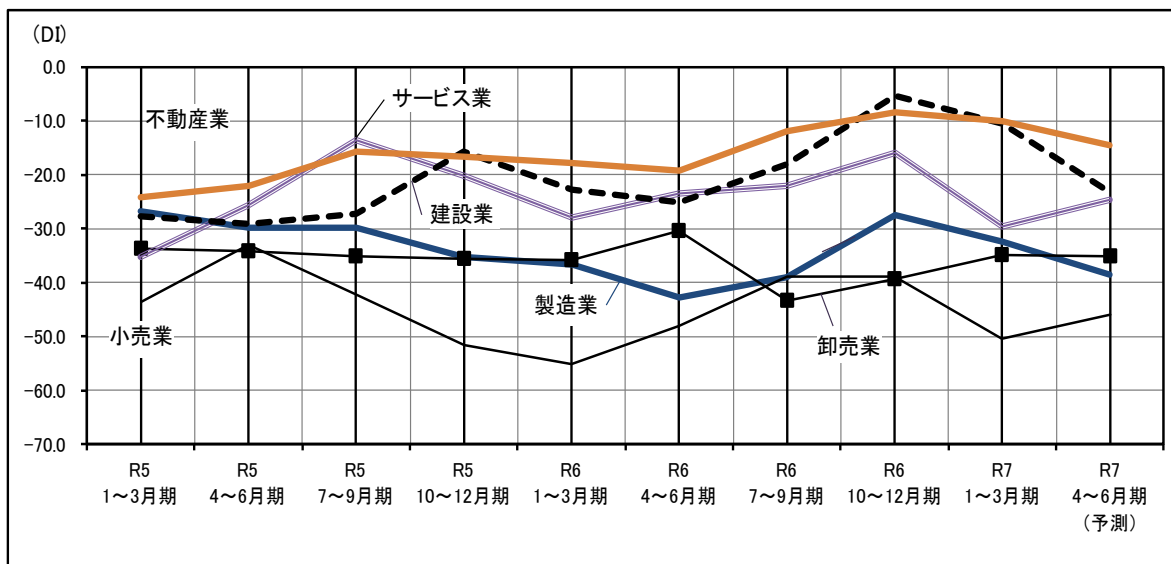
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲28であった。来期（今後3か月間の見通し）においては、やや低調感が強まる見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、卸売業はやや改善、製造業・不動産業はやや悪化、建設業・小売業・サービス業は大きく悪化となった。来期は、サービス業・小売業はやや改善、卸売業は今期並み、不動産業はやや悪化、製造業・建設業は大きく悪化する見込みとなっている。

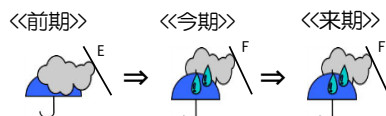
葛飾区の業況動向

景 気 予 報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這い	やや下降	下 降	大きく下降

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



全 体



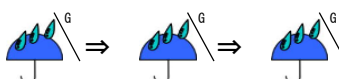
業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。

製 造 業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

卸 売 業



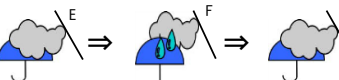
業況はやや厳しさが和らいた。来期の業況は今期同様で推移する見込み。

小 売 業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

サ ー ビ ス 業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

建 設 業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

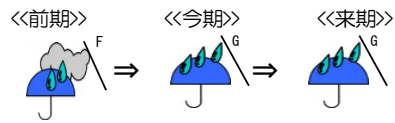
不 動 産 業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。

『業種別』 業況動向

製 造 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△27→△32)はやや低調感が強まった。売上額(△18→△27)、収益(△21→△29)はともに大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は4ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格(10→4)、原材料価格(61→51)はともに大きく上昇傾向が弱まった。在庫(8→3)はやや過剰感が改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△20→△22)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(9→6)はやや容易さが縮小した。今期借入をした企業は29%で前期の32%から3ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

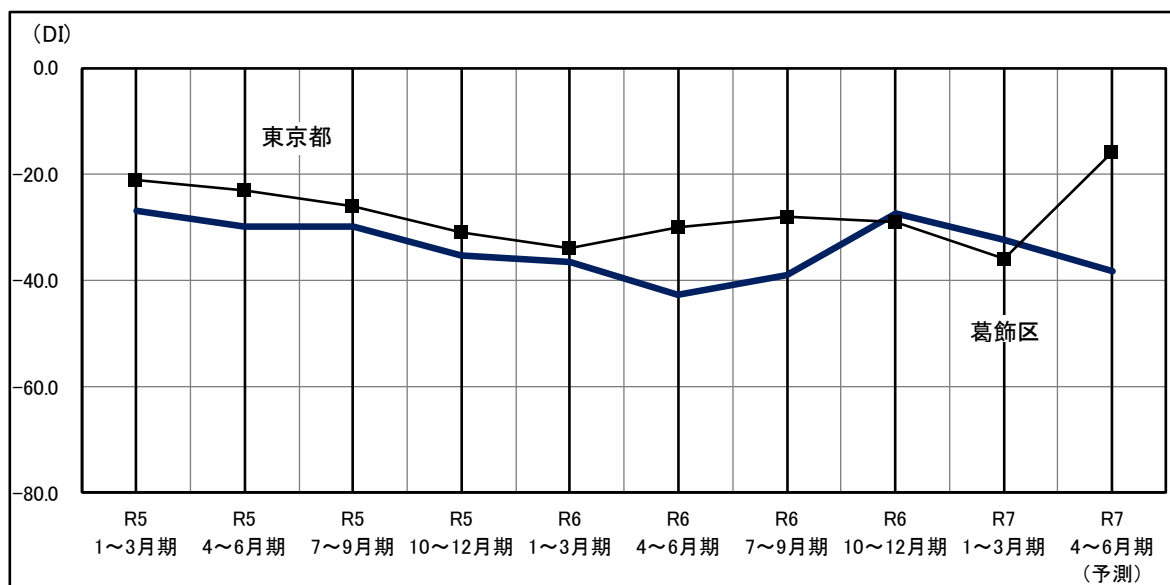
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が48%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が46%、3位は「人件費の増加」が22%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が38%、2位は「販路を広げる」が37%、3位は「人材を確保する」が24%となり、上位5位まで前期同様となった。

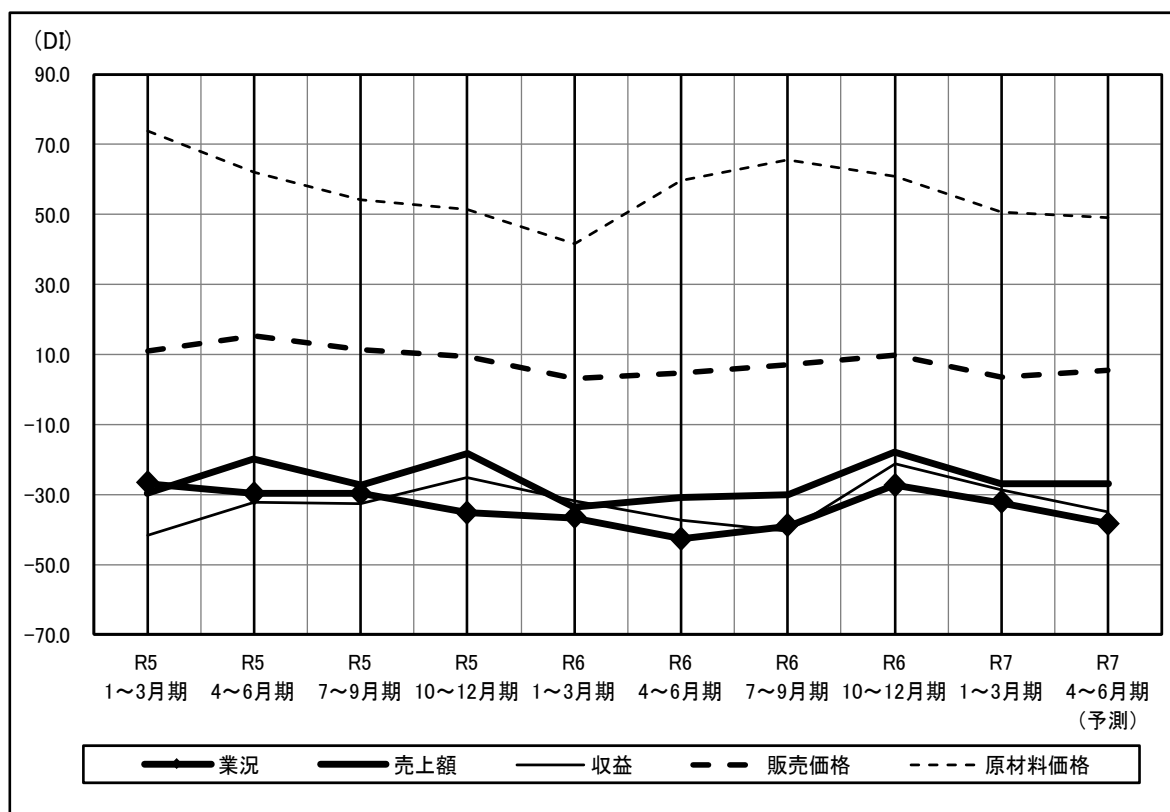
来期の見通し

業況(△32→△38)は大きく低調感が強まる見込み。売上額(△27→△27)は今期同様に推移し、収益(△29→△35)は大きく減少幅が拡大すると予想されている。

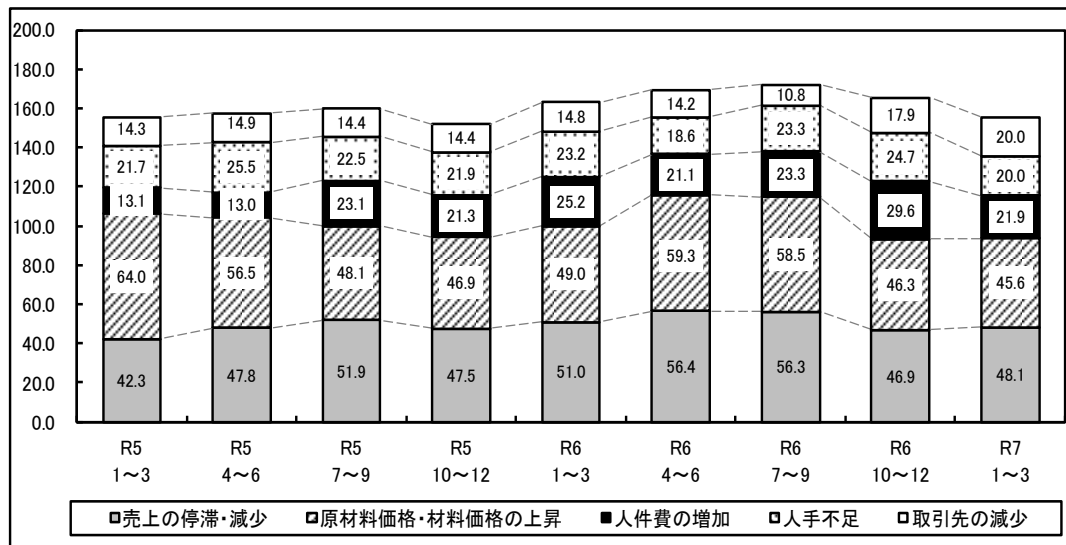
〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



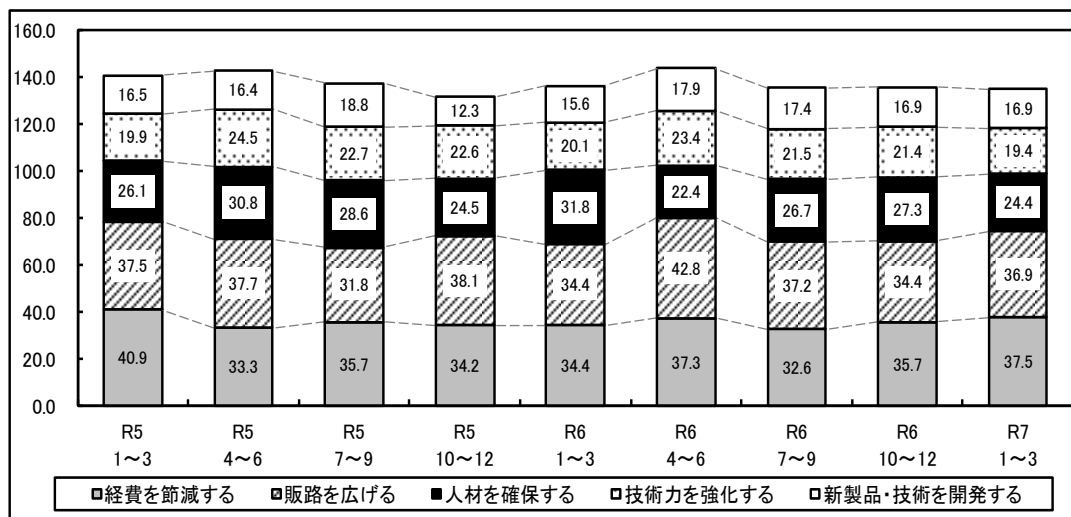
〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	原材料価格・材料価格の上昇	59.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	58.5 %	売上停滞・減少	46.9 %	売上停滞・減少	48.1 %
第2位	売上停滞・減少	56.4 %	売上停滞・減少	56.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	46.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	45.6 %
第3位	人件費の増加	21.1 %	人手不足 人件費の増加	23.3 %	人件費の増加	29.6 %	人件費の増加	21.9 %
第4位	人手不足	18.6 %	利幅の縮小	20.5 %	人手不足 利幅の縮小	24.7 %	人手不足 取引先の減少	20.0 %
第5位	利幅の縮小	16.2 %	取引先の減少	10.8 %	取引先の減少	17.9 %	利幅の縮小	17.5 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が60.8%で最も多かった。

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	販路を広げる	42.8 %	販路を広げる	37.2 %	経費を節減する	35.7 %	経費を節減する	37.5 %
第2位	経費を節減する	37.3 %	経費を節減する	32.6 %	販路を広げる	34.4 %	販路を広げる	36.9 %
第3位	技術力を強化する	23.4 %	人材を確保する	26.7 %	人材を確保する	27.3 %	人材を確保する	24.4 %
第4位	人材を確保する	22.4 %	技術力を強化する	21.5 %	技術力を強化する	21.4 %	技術力を強化する	19.4 %
第5位	新製品・技術を開発する	17.9 %	新製品・技術を開発する	17.4 %	新製品・技術を開発する	16.9 %	新製品・技術を開発する	16.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が42.3%で最も多かった。

製造業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. それなりの規模のあるメーカーであれば値上げ等の交渉にも応じてくれるが、下請けのプレス屋だと先方の提示額とこちらの見積りに大幅な差があり、仕事自体を請けられない状況にある。また弊社取引先の多くはプレス屋であることから、値上げしてもらっている量より失っている仕事の量の方が多い状態である
2. 昨年に比べ、受注数は変わらないのに人件費、原材料費の増加により、収益が減少傾向である
3. 同業・大手・中小の価格競争が激化。製造メーカーの零細企業へのいじめ、値上げをして値下げをするのはやめてほしい！
4. 原料の昆布の大減産に伴う大幅な価格高騰、原料の調達も厳しいため事業を縮小しなければいけなく、とても厳しい状況が続いているのが現状です
5. 製造原価の上昇で営業利益が低下している
6. 協力会社の高齢化による廃業のため、商品の在庫確保が難しい
7. 材料費の上昇と材料の納期遅延。社員の高齢化と新入社員が入らない
8. 経費に関わる物価の上昇が早すぎる
9. 人件費と原材料が上昇している
10. 貴金属加工業ですので地金高騰の為、製造が減少している

<受注・業況について>

11. 昨年10月以降、景気低迷が継続している。4月以降の受注量が少し戻ってきた感覚がある。廃業するゴムメーカーが増え、そのスピードが速くなってきているため、協力メーカーの開拓に注力している
12. トランプ関税により世界的に様子見の気配で短期的には停滞すると考える。既存顧客の受注状況が芳しくない
13. 弊社はオーダーメイドの機械製造です。受注を受けてから6～10か月の製作期間があり、見積もりした時期より仕入れ価格が高騰して利幅が減少してしまう。今年前半は順調ですが、後半の注文が入っていない状況です
14. 得意先からの受注が競争入札方式になり新規製品の受注が厳しくなっている
15. 売上げが増加し、利益も確保している。人手は不足していないが高齢化している
16. 当社の技術力は定評があり、需要は安定している。その技術力を生かし自社ブランドの立ち上げを準備している
17. 令和6年5月～令和7年4月度については、自動車産業の不調による受注減

18. (足元堅調も)顧客のサプライチェーン強靱化の動きが加速し、トランプ関税の間接的な影響により、不透明なビジネス環境が続く見込み
19. 受注が増える傾向にはなっている。それは同業の廃業や倒産が大きな要因であり、決して喜んではいられない
20. 食料品、光熱費などが値上がりしているため、日常生活をする上で必要のない女性向け装身具の購買意欲が減っている。コロナウイルス感染拡大の際のオンライン化により、装身具離れもあったので、その傾向は顕著。地球温暖化の影響で暑すぎる夏、寒すぎる冬により、ファッションを楽しむ事が出来る春と秋が短くなっていることも、影響を受けている

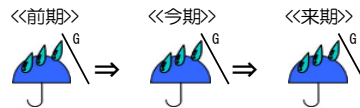
<人材について>

21. 人を育てるリーダーがいない。みんな自分のポジションで精一杯のため、人が辞めると穴が空いてしまう。技術力や生産性の高さが各自の実力になってしまっている
22. 人件費とそれに伴う社会保険料や税金が増額してしまうので簡単に人材を増やさないでいる。小規模、町工場レベルでは昨今の賃金上昇にはついて行けないのが現状
23. 受注増の見込みの中、生産対応ができるか不安。人手と倉庫と物流管理面
24. 近隣の客先や関連企業の倒産、廃業が相次ぎ体制の立て直しが必要となっている。廃業した会社の社員を受け入れることになったので、世代交代を進めたい。受注は昨年から減少しているが、この間に教育に力を入れたい
25. 人手不足。欲しい人材が集まらず、ミスマッチが激しい
26. 人手不足が年々ひどくなっている。作業員の年齢の高齢化
27. 増収増益だが人手不足です(社員、パート)
28. 1. 人手不足 2. 経営者の高齢化

<その他>

29. 手形(電債)がいらぬ。こちらは下請けにスムーズに納品してもらうのに現金で支払っているのに、大手ゼネコンや中小企業を名乗る会社は10円でも10万円を上回れば手形(電債)で支払おうとする。個人でやっているのと2～3ヵ月給料をもらえないことが年に1/3ぐらいあります
30. 現場に行き、絶えず現場との意思疎通を図り、作業環境を物理的にも精神的にも気を使っている
31. 大手企業、特に白物家電と製造業の弱体化

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△39→△35)はやや厳しさが和らいだ。売上額(△19→△33)、収益(△32→△42)はともに大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は15ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(26→22)はやや上昇傾向が弱まり、仕入価格(58→47)は大きく上昇傾向が弱まった。在庫(△1→7)は過剰に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△21→△26)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(△5→△7)はやや厳しさが強まった。今期借入をした企業は12%で前期の24%から12ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

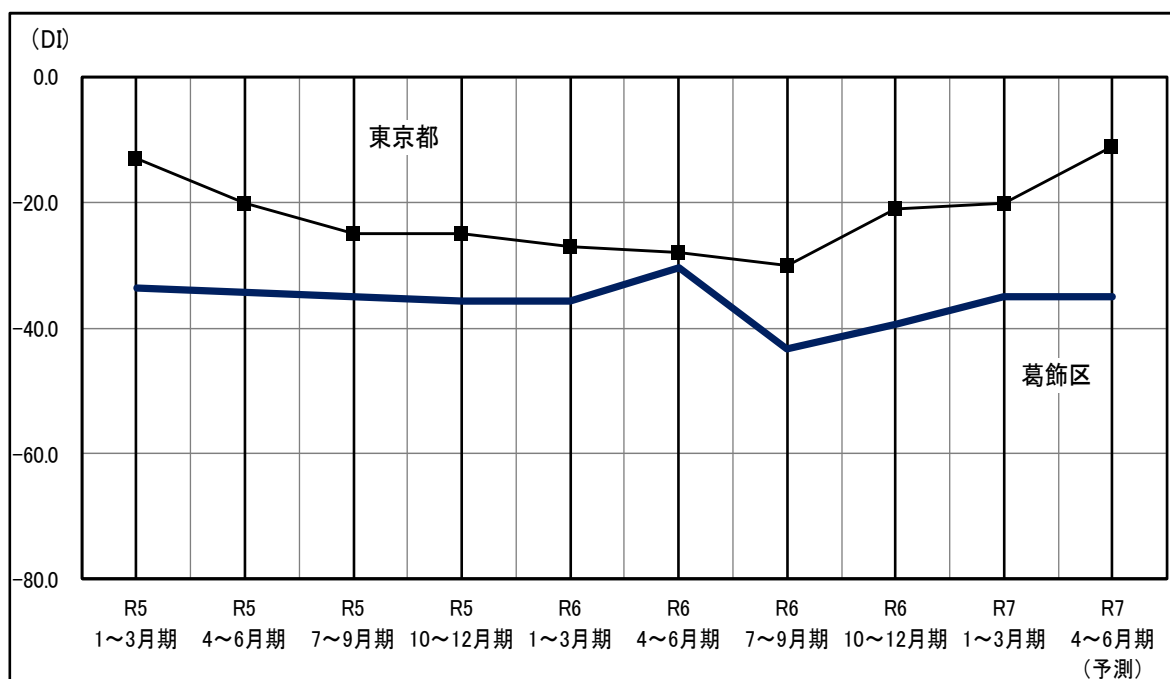
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が55%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が37%、3位は「取引先の減少」が33%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」「経費を節減する」がともに46%、2位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が24%、3位は「品揃えを充実させる」が15%となり、「経費を節減する」が2位から1位と順位を上げた。

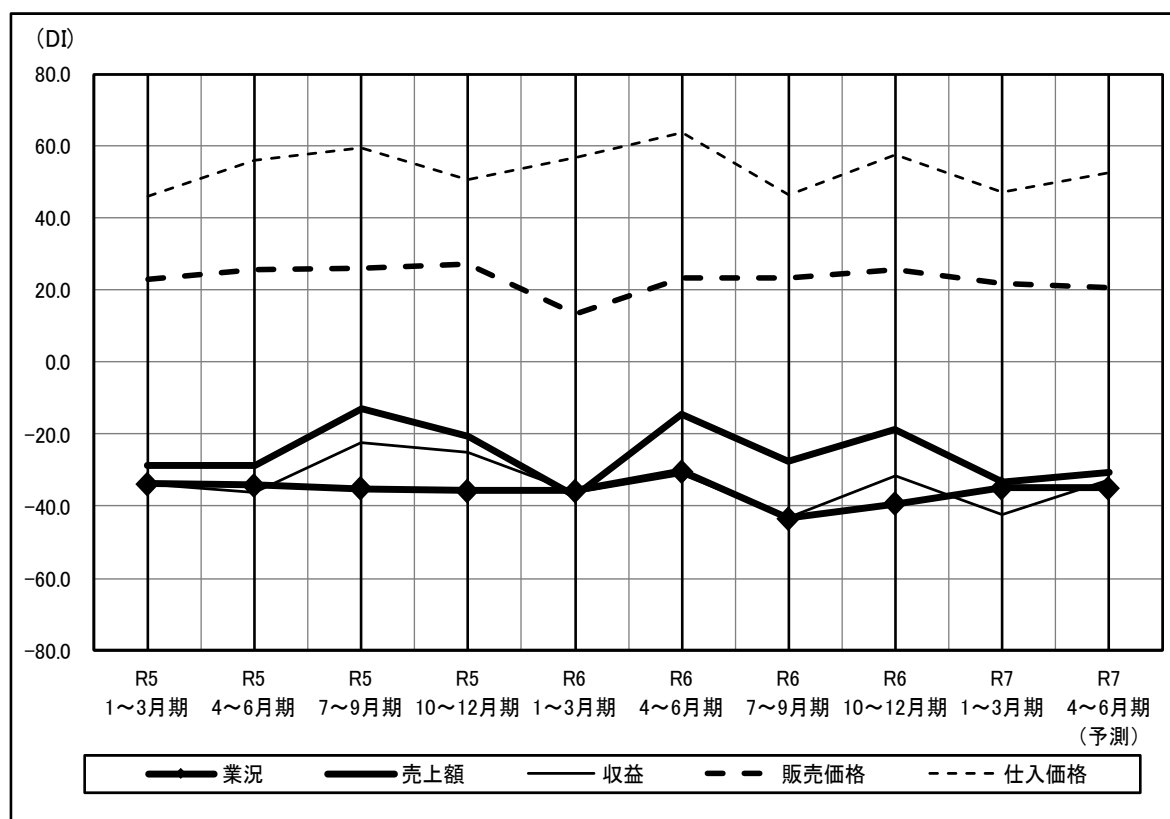
来期の見通し

業況(△35→△35)は今期同様で推移する見込み。売上額(△33→△31)はやや減少幅が縮小し、収益(△42→△33)は大きく減少幅が縮小すると予想されている。

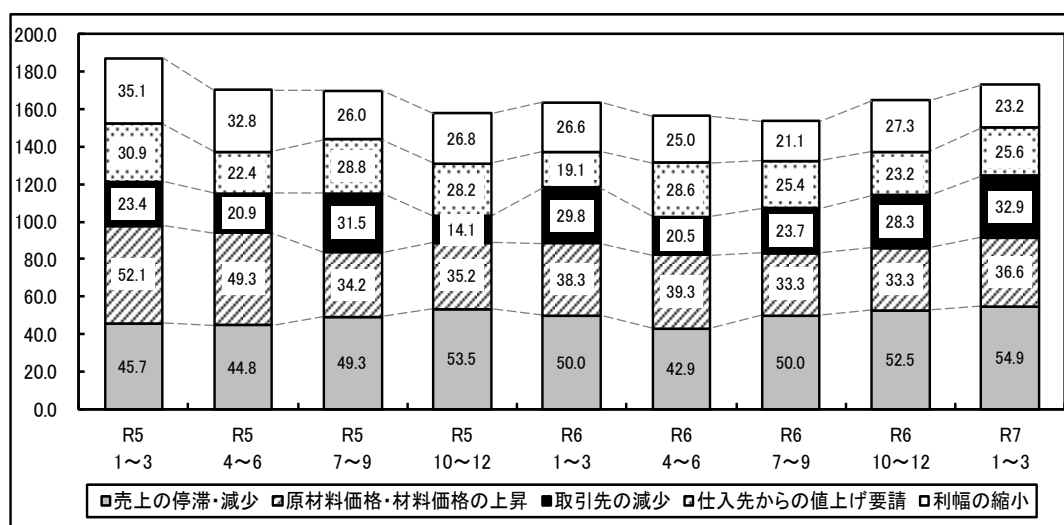
〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



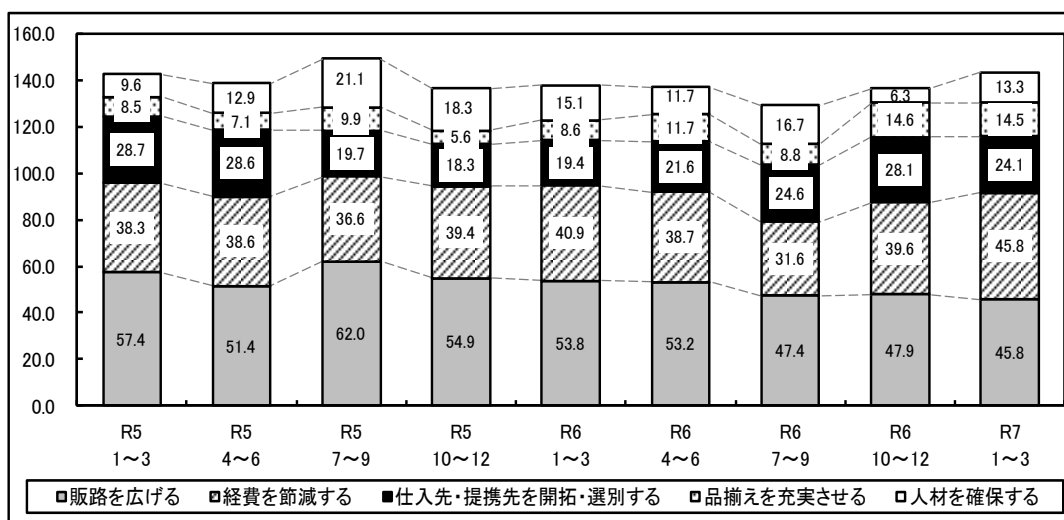
〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	売上停滞・減少	42.9 %	売上停滞・減少	50.0 %	売上停滞・減少	52.5 %	売上停滞・減少	54.9 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	33.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	33.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	36.6 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	28.6 %	仕入先からの値上げ要請	25.4 %	取引先の減少	28.3 %	取引先の減少	32.9 %
第4位	利幅の縮小	25.0 %	取引先の減少	23.7 %	利幅の縮小	27.3 %	仕入先からの値上げ要請	25.6 %
第5位	取引先の減少	20.5 %	利幅の縮小	21.1 %	仕入先からの値上げ要請	23.2 %	利幅の縮小	23.2 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が62.5%で最も多かった。

〈卸売業〉 重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	販路を広げる	53.2 %	販路を広げる	47.4 %	販路を広げる	47.9 %	販路を広げる 経費を節減する	45.8 %
第2位	経費を節減する	38.7 %	経費を節減する	31.6 %	経費を節減する	39.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	24.1 %
第3位	仕入先・提携先を開拓・選別する	21.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	24.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	28.1 %	品揃えを充実させる	14.5 %
第4位	情報力・宣伝・広報を強化する	14.4 %	人材を確保する	16.7 %	品揃えを充実させる	14.6 %	人材を確保する	13.3 %
第5位	品揃えを充実させる 人材を確保する	11.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する 新製品・技術を開発する 売れ筋商品を取扱う	10.5 %	情報力・宣伝・広報を強化する	13.5 %	売れ筋商品を取扱う	10.8 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「販路を広げる」は「5人以上10人未満」が61.5%、「経費を節減する」は「10人以上30人未満」が55.6%で最も多かった。

卸売業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 引き続き仕入価格は上昇していくと考えられるので、その価格を売値に反映できるかがポイント
2. 現状の為替でモノの価格を維持するのは難しく、物価の上昇を受け入れられるだけの下地が必要である
3. 原材料価格と流通運搬費の上昇が経営を圧迫している。商品の価格は、他社との競争がある為、上げられない
4. 特に旅費交通費に関する値上がりのため、経費が増えている
5. 円安傾向で仕入れコストが増加
6. 物流コスト面の上昇による経費増である
7. 原材料価格の上昇により、利益の縮小
8. 原材料費価格や経費の増加により収益が減少傾向にある
9. 仕入価格上昇

<受注・業況について>

10. 顧客の要望に応えることができおり、従業員は長期間にわたって勤務してくれていて、経営は安定していると思う
11. 納品の小口化が進み配送経費や残業が増えている
12. 販路拡大に伴う増収・増益が続いている
13. 取引先(顧客)が減少している
14. 需要が減少し減収、減益傾向である
15. 売上げの多いお客様の売上げが激減している。経済状況が原因ではないかと思っている
16. 3月までは公共工事に関連する資材の販売が好調であったが、年度が替わる来期以降かなりの落ち込みが予想される
17. 円安のため弊社の客先である日系企業の海外進出が極端に減っている。海外の多国籍企業への営業を積極的に進めている
18. 海外からのインバウンド販売が従来品では間に合わず、新商品、新企画での対応が急務と思われる。また、早急に新販売網も構築する必要がある
19. 物販における価格競争(利益縮小)に軸を置かず、付加価値営業(工事・特殊品)にシフトチェンジし好調である
20. 現状維持でいっぱい입니다
21. 売上げが上がったが、利益が減少している
22. 取引先の販売不振
23. 現状維持。変わらない
24. 需要は増え、売上げも伸びているが、仕入価格の高騰に販売価格の値上げが追いついていないので利益率はやや下がっている

25. 中国経済低迷により、販売先・取扱数が激減し、資金繰りが逼迫している
26. 売上額は上がっても仕入値も上がっているため収益は変わりません。年度末なので多少は忙しいのですが、注文から納品日までの余裕のない注文が多いです。全体的に材料(商品)の出る仕事は少ないかもしれません
27. 取引先が少ないため、売上げが増えていません。預かっている商品は単一となり、販路を広げることとはしていません
28. 今のところ販路が拡大しているので良好

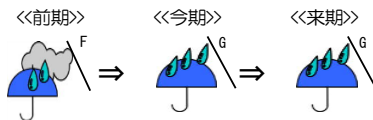
<人材について>

29. 今後予定されている定年退職によって新しい人材を確保できなければ自然減となってしまう。新しい人材を迎えても辞められる方も一定数いるため、社員を定着させていくのに苦慮している。すぐには困ってはいないが、長期的には慢性的な人材不足感がある
30. トラックの運転手が見つからずに苦労している

<その他>

31. 協力工場が高齢なため今までのような品物ができない。ユーザーに満足できる商品が納められない
32. 異業種の転売屋(在庫をしていない、かつ数万にも及ぶ色々な商品を販売)が横行し、通販サイトで販売価格が異様に高いにも関わらず数十ページに渡り独占。お客様が数社しかない安いお店にたどり着けない現状に困っている
33. 消費税にせよ(税理関係に手間がかかる)、労働者に手枷足枷をかけすぎ(細かい法律が多すぎる)。日本は働く環境に制限をかけ過ぎ。働く自由がない。税金取り過ぎ
34. 需要が増えており、事業拡大のため資金が必要ですが、金融機関からの借入は難しいし、国からの支援も少ない。審査も厳しい
35. 資金不足
36. 為替の影響が大きい
37. 市場開拓を更に強化する
38. 増税、金利上昇が問題。政府は日本経済が成長するような政策を立案し実行してほしい。官僚も政治家も自分たちのことしか考えていないのでは?
39. 客先の(仕入先も)倒産、廃業が多くなっている

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△39→△51)は大きく低調感が強まった。売上額(△11→△42)は極端に減少幅が拡大し、収益(△27→△46)は大きく減少幅が拡大した。東京都と比較した当区の業況は12ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(43→36)は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格(56→60)はやや上昇傾向が強まった。在庫(△5→△10)はやや不足感が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△33→△40)は大きく窮屈感が強まり、借入難易度(△21→△16)はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は23%で前期の21%から2ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

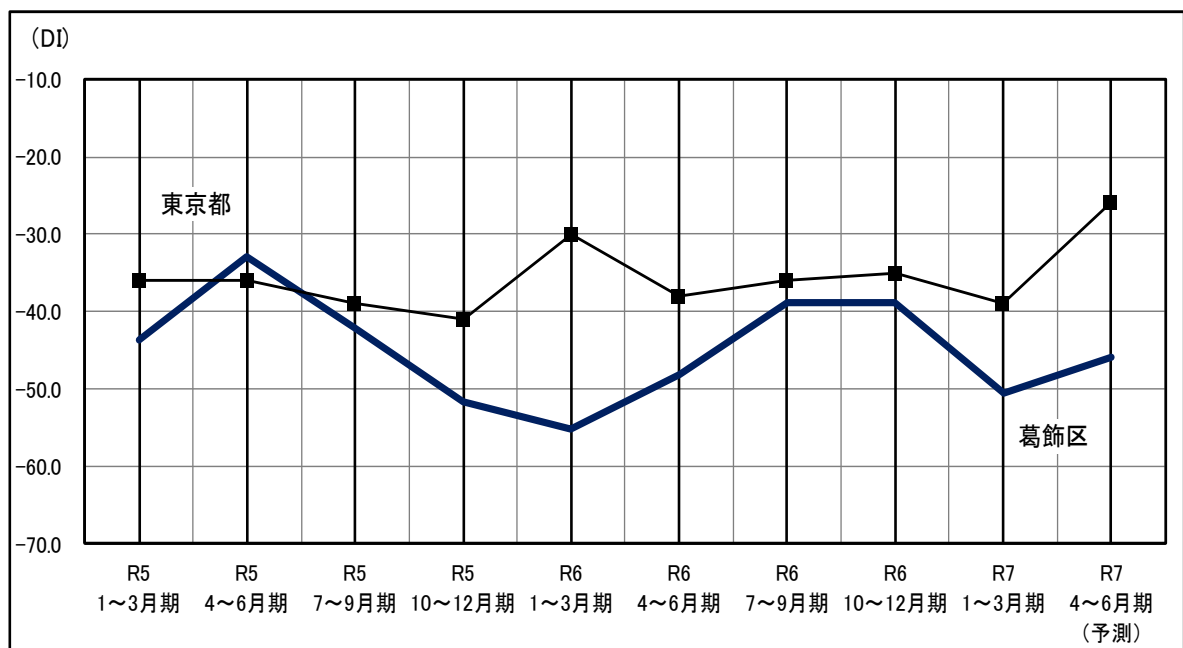
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が63%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が33%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が25%となり、上位2位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が46%、2位は「販路を広げる」が39%、3位は「品揃えを充実させる」が26%となり、「経費を節減する」が2位から1位と順位を上げた。

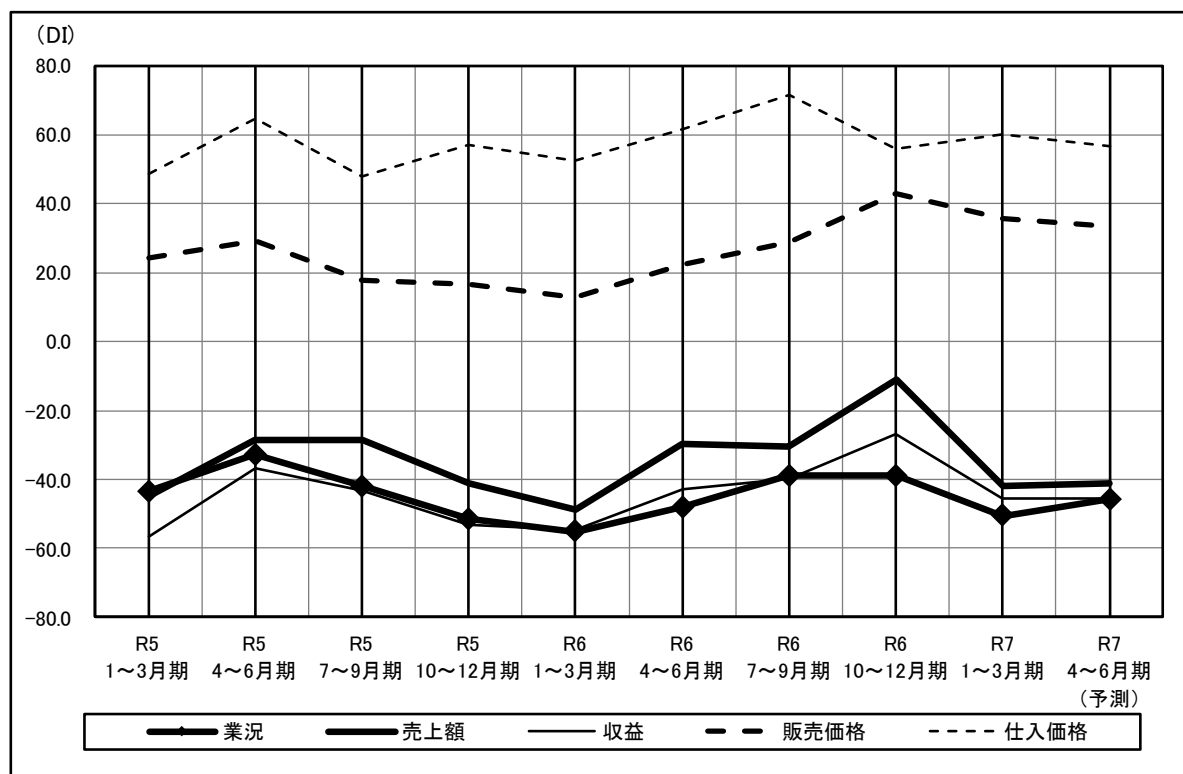
来期の見通し

業況(△51→△46)はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額(△42→△41)、収益(△46→△45)はともに今期同様に推移すると予想されている。

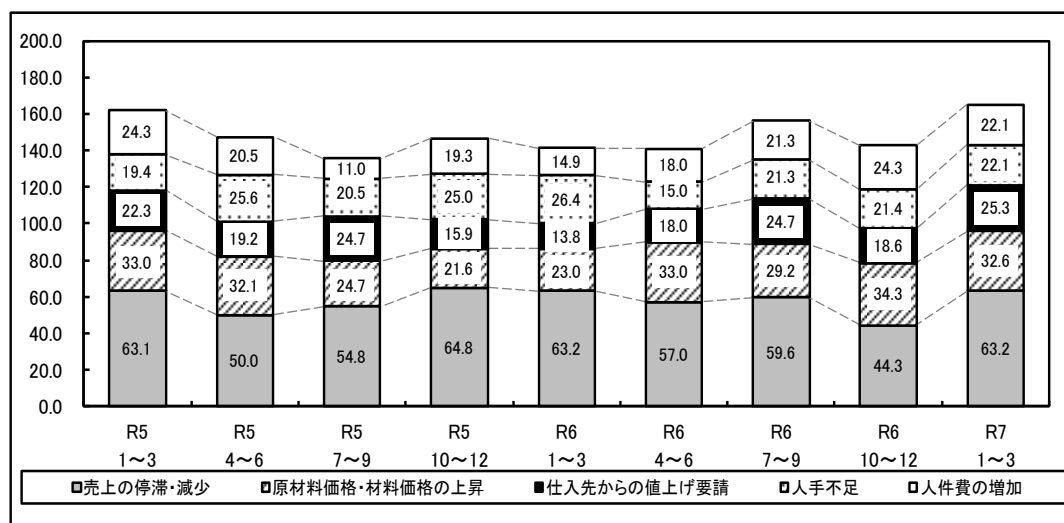
〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



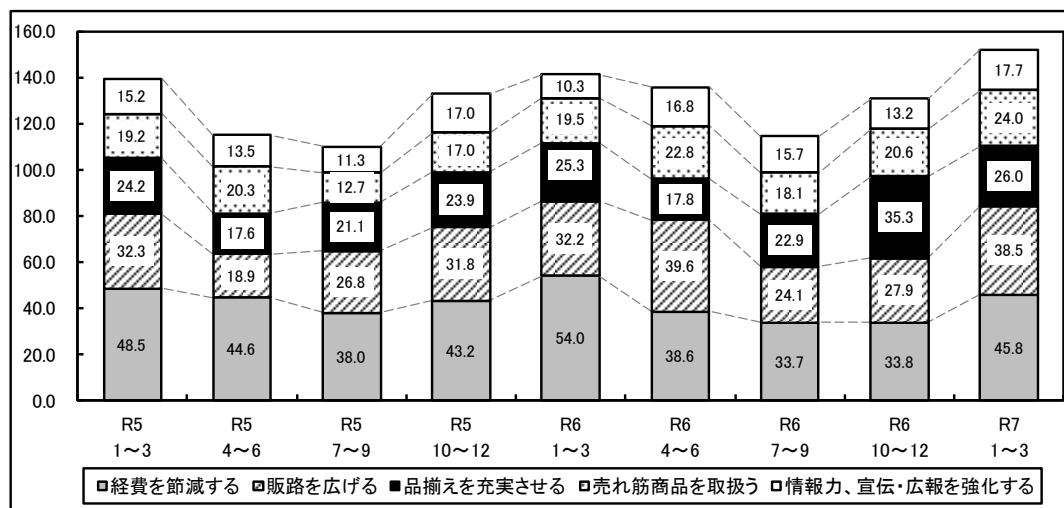
〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	57.0 %	売上の停滞・減少	59.6 %	売上の停滞・減少	44.3 %	売上の停滞・減少	63.2 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	33.0 %	利幅の縮小	30.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	34.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	32.6 %
第3位	利幅の縮小	25.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	29.2 %	利幅の縮小	25.7 %	仕入先からの値上げ要請	25.3 %
第4位	同業者間の競争の激化	19.0 %	仕入先からの値上げ要請	24.7 %	人件費の増加	24.3 %	人手不足 人件費の増加	22.1 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 人件費の増加	18.0 %	人手不足 人件費の増加	21.3 %	人手不足	21.4 %	利幅の縮小	18.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が76.9%で最も多かった。

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	販路を広げる	39.6 %	経費を節減する	33.7 %	品揃えを充実させる	35.3 %	経費を節減する	45.8 %
第2位	経費を節減する	38.6 %	販路を広げる	24.1 %	経費を節減する	33.8 %	販路を広げる	38.5 %
第3位	売れ筋商品を取扱う	22.8 %	品揃えを充実させる 人材を確保する	22.9 %	販路を広げる	27.9 %	品揃えを充実させる	26.0 %
第4位	品揃えを充実させる 人材を確保する	17.8 %	売れ筋商品を取扱う	18.1 %	売れ筋商品を取扱う	20.6 %	売れ筋商品を取扱う	24.0 %
第5位	情報力・宣伝・広報を強化する	16.8 %	情報力・宣伝・広報を強化する	15.7 %	人材を確保する	19.1 %	情報力・宣伝・広報を強化する 仕入先・提携先を開拓・選別する	17.7 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が60.0%で最も多かった。

小売業 業種別コメント

＜仕入・価格について＞

1. BtoC において個人の可処分所得が減少し、少しでも値上げすると売れなくなるため値上げしにくい
2. 昨今の物価上昇に伴い取扱商品の仕入価格の値上げ、公共料金といった消費者の身近な財・サービスにおいて、様々な企業で値上げが相次いでおります。こうした状況下で、仕入値コストの上昇を価格に転嫁するのは容易ではありません。利益を確保できなければ、金融機関などからの融資審査も厳しく、資金繰りの悪化を防ぐことが出来ず、事業の継続そのものが危ぶまれる状況です
3. 原材料・配送料が高騰し仕入価格の上昇が続いている。それに伴い、販売価格を上げざるを得ない状況だが、その度に販売数量の低下を招いており、結果として売上額の減少が続いている
4. 仕入価格の異常な上昇と品不足で今までにない危機感があります
5. 米価の高騰により仕入価格の上昇、販売価格の上昇の為、売上高は増加したが、利益が伴わない
6. 大手取引先がタクシー会社なので、公共交通機関として運賃改定しないと仕入価格転嫁に応じない傾向にある

＜受注・業況について＞

7. 観光地としての柴又の魅力が十分に発信できていないため、観光客の伸びが他地方（浅草など）に比べて低い。コロナ前の8割程度しか売上げが戻っていない。原材料等の仕入価格の上昇により商品の値上げを行ったため、催事での売上げが低下しデパートなどへの受注が減ってしまった
8. 今年は広報活動が積極的に行われて増収の流れが続いている。4 月以降社員が転職予定で人材不足になる予定
9. 書店の利益率の決定権が出版社にしかなく、20 年以上粗利改善を訴えているが、修正する意思がないため、利益を上げられない
10. 商品は売れているが、客数が激減している。高単価商品が売れる傾向にある。原材料の高騰・人件費の高騰・税金のトリプルパンチで経営難
11. 資材の値上げに伴い人件費も引き上げ。利益は確保しているが人材不足と更なる資材、経費の増加が見込まれるので零細企業にとっては先行き不安があります

12. プレミアム商品券など小企業しか使えない方がありがたい。大企業の進出により売上げは減少傾向である
13. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
14. 原材料費、人件費、光熱費等が上がる中、売上高が予想以上に減少している。コロナ以降、人の流れ、動きが変化したようで全然予測がつかない状況となっている。食品を取り扱っているの、食品廃棄のロスが出ないように大変神経を擦り減らしている。葛飾区の地域の収入増が物価高騰に追いついていないように思う。当社のみならず商店街全体の消費が冷え込んでいるように思う
15. 東京ゼロエミッション、葛飾区の防犯カメラ、TVドアホーンの助成金等のおかげで増収・増益が見込まれる予定
16. 特需がしばらく続いているので増収増益もしばらく続く

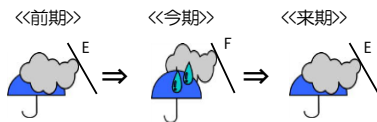
＜人材について＞

17. 人手不足ですが、資金的に雇用できる状況ではない。社長自ら休日出勤して穴埋めをする状態
18. 人員不足によって見込み客を逃すことにもなっていた→人員確保、配置の改善を進めた
19. 圧倒的に人手不足である
20. 社員の高齢化の為。新しい人材も難しく、先行が不透明

＜その他＞

21. 現在、新商品のネット販売に挑戦し、売上げを伸ばそうとしています。初期の生産にいくつか問題がありましたが、現在対応中です
22. 通販により商店の時代は終わった。商店街がどんどんシャッター通りになり、何をやっても集客がない
23. 駅前、大規模都市開発に伴い町に元気がない
24. 立石駅高架工事再開で飲食店の閉店、休業の影響が大きい。「せんべろ」目的の観光客も減った。今後も何年も続く事なので、店舗の変化、充実を考え中
25. 客層が高齢者、旅行者でない外国人が増え、最悪になっていく。廃業も視野に
26. 19時以降、人、車の流動がない

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△16→△30)は大きく低調感が強まった。売上額(△7→△27)は極端に減少幅が拡大し、収益(△20→△29)は大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は12ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格(14→7)は大きく上昇傾向が弱まり、材料価格(48→56)は大きく上昇傾向が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△22→△25)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(△18→△12)は大きく厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は30%で前期の26%から4ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

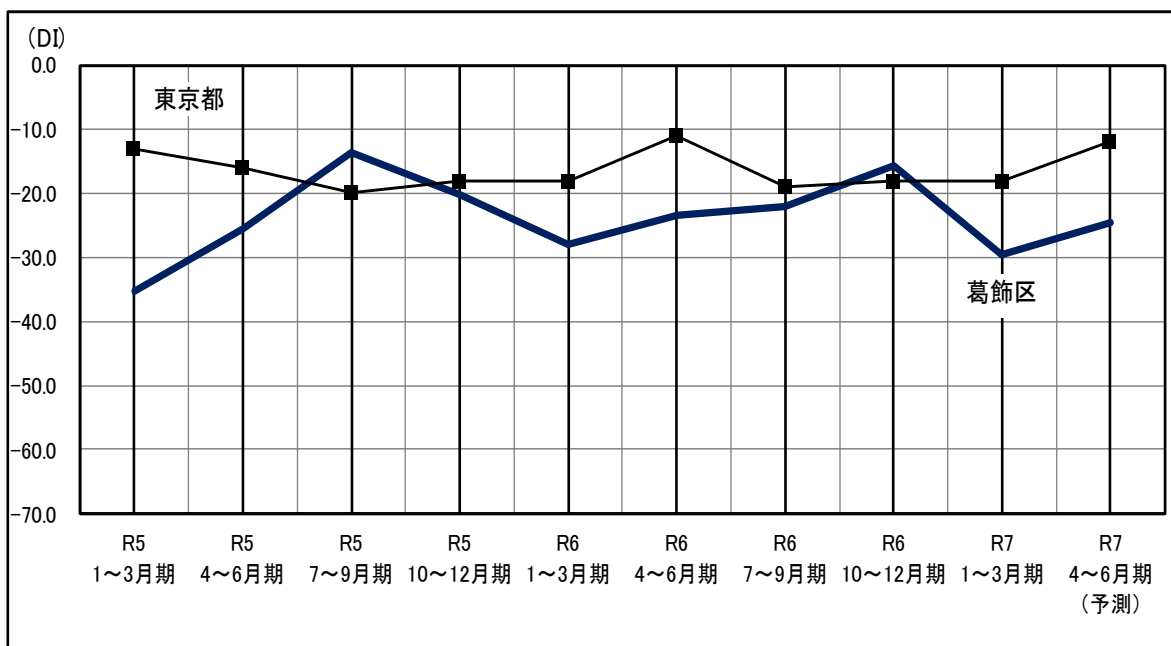
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が45%、2位は「人手不足」が31%、3位は「人件費の増加」が30%となり、上位5位まで前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が42%、2位は「人材を確保する」が30%、3位は「販路を広げる」が29%となり、上位3位は前期同様となった。

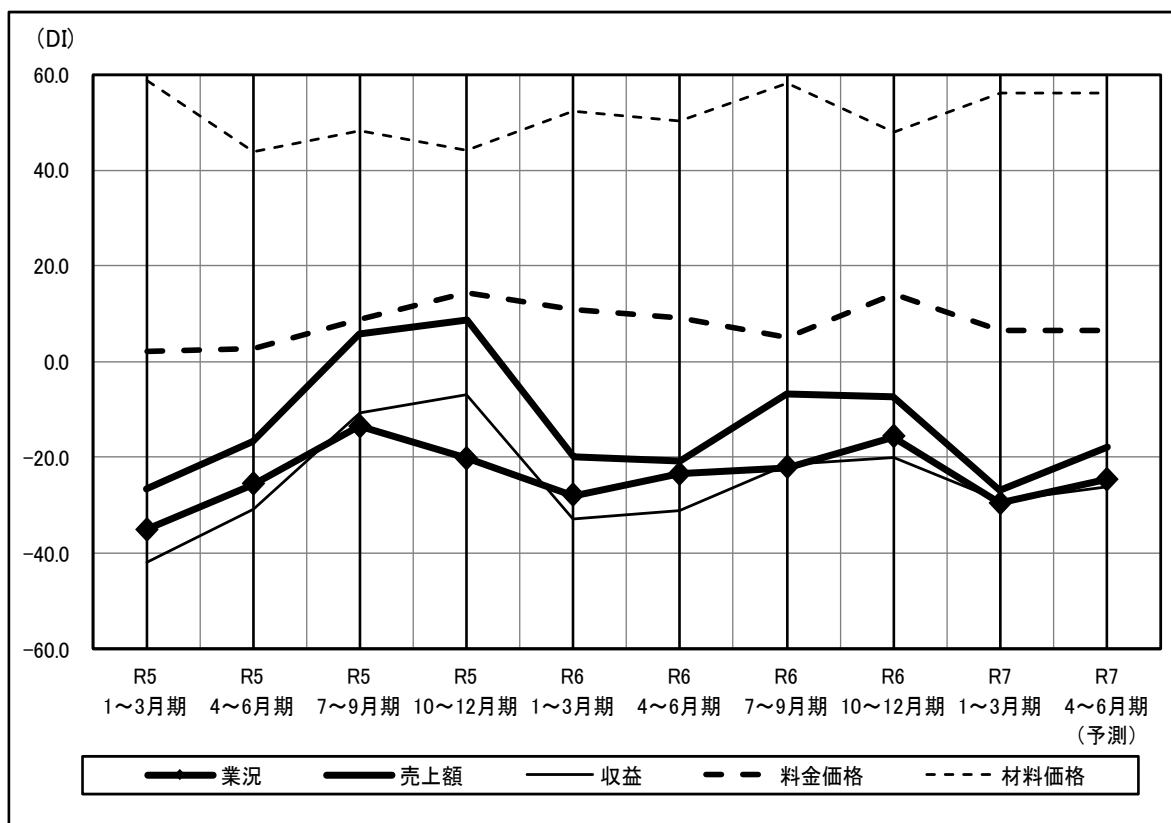
来期の見通し

業況(△30→△25)はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額(△27→△18)は大きく減少幅が縮小し、収益(△29→△26)はやや減少幅が縮小すると予想されている。

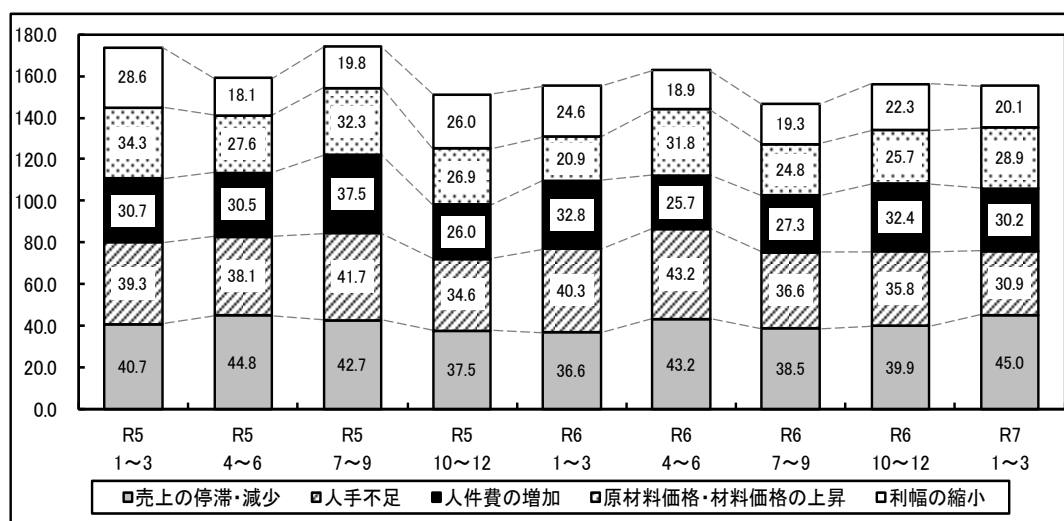
〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



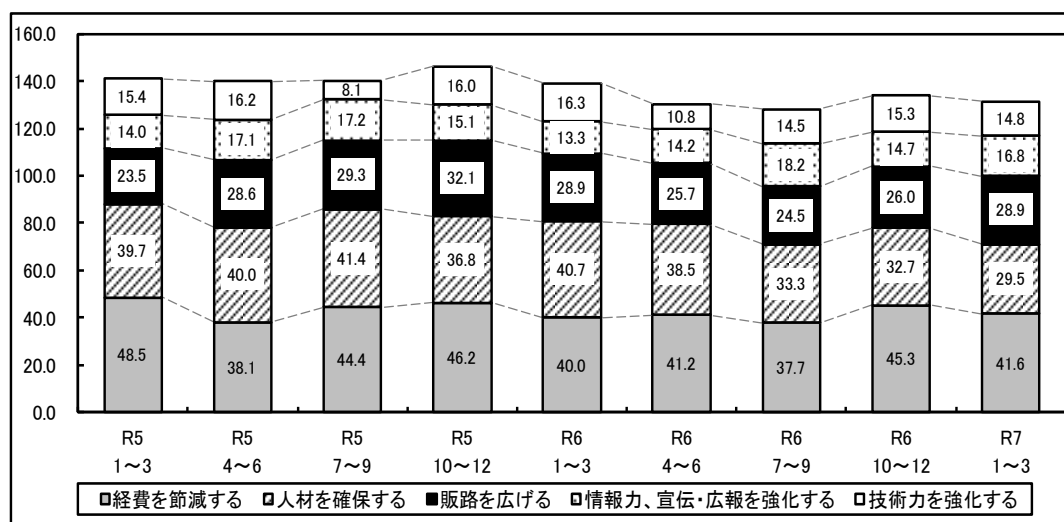
〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	売上停滞・減少 人手不足	43.2 %	売上停滞・減少	38.5 %	売上停滞・減少	39.9 %	売上停滞・減少	45.0 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	31.8 %	人手不足	36.6 %	人手不足	35.8 %	人手不足	30.9 %
第3位	人件費の増加	25.7 %	人件費の増加	27.3 %	人件費の増加	32.4 %	人件費の増加	30.2 %
第4位	利幅の縮小	18.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	24.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	25.7 %	原材料価格・材料価格の上昇	28.9 %
第5位	人件費以外の経費増加	16.9 %	利幅の縮小	19.3 %	利幅の縮小	22.3 %	利幅の縮小	20.1 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が51.1%で最も多かった。

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	45.3 %	経費を節減する	41.6 %
第2位	人材を確保する	38.5 %	人材を確保する	33.3 %	人材を確保する	32.7 %	人材を確保する	29.5 %
第3位	販路を広げる	25.7 %	販路を広げる	24.5 %	販路を広げる	26.0 %	販路を広げる	28.9 %
第4位	情報力・宣伝・広報を強化する	14.2 %	情報力・宣伝・広報を強化する	18.2 %	技術力を強化する	15.3 %	情報力・宣伝・広報を強化する	16.8 %
第5位	労働条件を改善する	12.8 %	技術力を強化する	14.5 %	情報力・宣伝・広報を強化する	14.7 %	技術力を強化する	14.8 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「30人以上100人未満」が62.5%で最も多かった。

サービス業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 荷主との運賃交渉が難航し、賃金が上げられない。協力会社開拓が難航（運賃で折り合いがつかない）
2. 原材料費をはじめとする物価高騰による利益の縮小は死活問題
3. 物価高で値上げした以上に豆と米が予想以上に高いので赤字になる。これ以上の値上げは客離れになるので大変苦戦しています
4. 全ての価格の上昇が利益を下げる原因の1つ。トラックの維持費が掛かりすぎている（軽油、修理代、部品等全て）
5. 建設コストの上昇により建築プロジェクトが減少しているため、新規の設計案件が減ってきている
6. 人件費・原材料費高騰により利益減
7. 物価高で利幅が減少している
8. 売上げが横ばいの中、水道光熱費や仕入原価が上昇
9. 売上げは停滞しているが、原材料費・人件費が高騰している
10. 物価高騰、仕入の値上げ、光熱費の値上げ

<受注・業況について>

11. 新車の納期がコロナ以前の水準に全く戻っていない。保険業務などデジタル化という名のもと営業の人員を削り、尚かつ手数料などを削る。ペーパーレスと言って必要なものはこちらに印刷させて郵送させる。全く手数料と合わないと思うが直接お客様と長年付き合い合っているためこちらのサービス形態は変えようがない
12. 周辺環境は変わらず同業他社の競争が激しいが、最近は新規依頼が安定して入ってきている
13. 福祉サービスで保険報酬なので、売上げに天井がある。しかし人件費は年々上げざるを得ないため収益は減少していく
14. コロナ渦から完全に脱し、増収・増益が続く傾向が見られてきた
15. コロナ以降、自治体や民間企業のイベント開催における予算が縮小されていると感じ、売上げが伸びない。年間通して、平均的な売上げになるよう考えなければならないが、同業他社との取り合いになり、なかなかうまくいかない
16. 昨年に比べ減収減益となりそうだが、一昨年とくらべると増収増益。競合が激しく、新規取引先の開拓や、外注先の多様化が課題
17. 需要は増えてきている。増収、増益を目指す

18. 同業者が多く利益が減少している
19. 国保連からの介護報酬が少ないため、支払いをすると手元に残らない。人件費や物価が上がっても、介護報酬が上がらないため、毎月苦しい
20. 前年度から商流が上になったので売上げも利益率も向上が予想される。大型の案件を受注したので目先の1～3月期の売上げは落ちるが、4～6月期には売上げは元通りになると予想される。新規事業も開始して時間や労働力こそ足りないものの、まだ立ち上げたてで人に委ねられるほど確立していないため、人手不足というよりは業務効率の改善が先になる

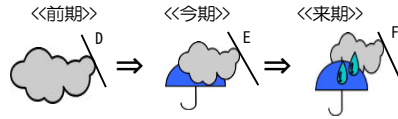
<人材について>

21. ライドシェア対策で業界としても人材採用に力を入れているので、業界内で競争が高まり、人材確保の難易度が上がってきている。定期的に定年や引退で人は減るので人手不足で売上げが下がってくる
22. 需要が増える中、業務を行える人材の確保に悪戦苦闘している
23. 受注増と共に、同業種さんと競争が激しい中、採用ができずに人手不足になっている
24. 商品の需要が増えているが、人材が数名程度不足しているため仕事を請け負えない。人材がいなくても必ず売上げにつながるわけではないため判断に苦悩している
25. 採用ができず、人手不足になっている。地域求人の時給が上がってしまい、高時給での求人を余儀なく実施するが、利幅の縮小もあり、提示できる時給にも限界を迎えている
26. 適正能力の高い人材を確保できないため、事業拡大が困難
27. 慢性的な人手不足である（タクシー乗務員）

<その他>

28. できもしない価格のチラシ広告により顧客がそちらに行き、仕事が減少
29. ”全く変化なし”は、私の施術に対して、一定の評価をいただいているものと受けとっています。世の中の物価高にもかかわらず、東京都と葛飾区の補助金が効果的なことも要因の一つ
30. 資金繰りが難しい
31. サービス商品（能力）の少なさによる。販路の限定をクリアさせるため、ホームページを作成中です

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△5→△11)は大きく低調感が強まった。売上額(△4→△13)、施工高(△2→△13)、収益(△7→△23)はいずれも大きく減少幅が拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(8→△6)は上昇から下降に転じ、材料価格(62→57)はやや上昇傾向が弱まった。在庫(△1→△6)はやや不足感が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△18→△22)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(△2→△3)は前期並となった。今期借入をした企業は39%で前期の34%から5ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

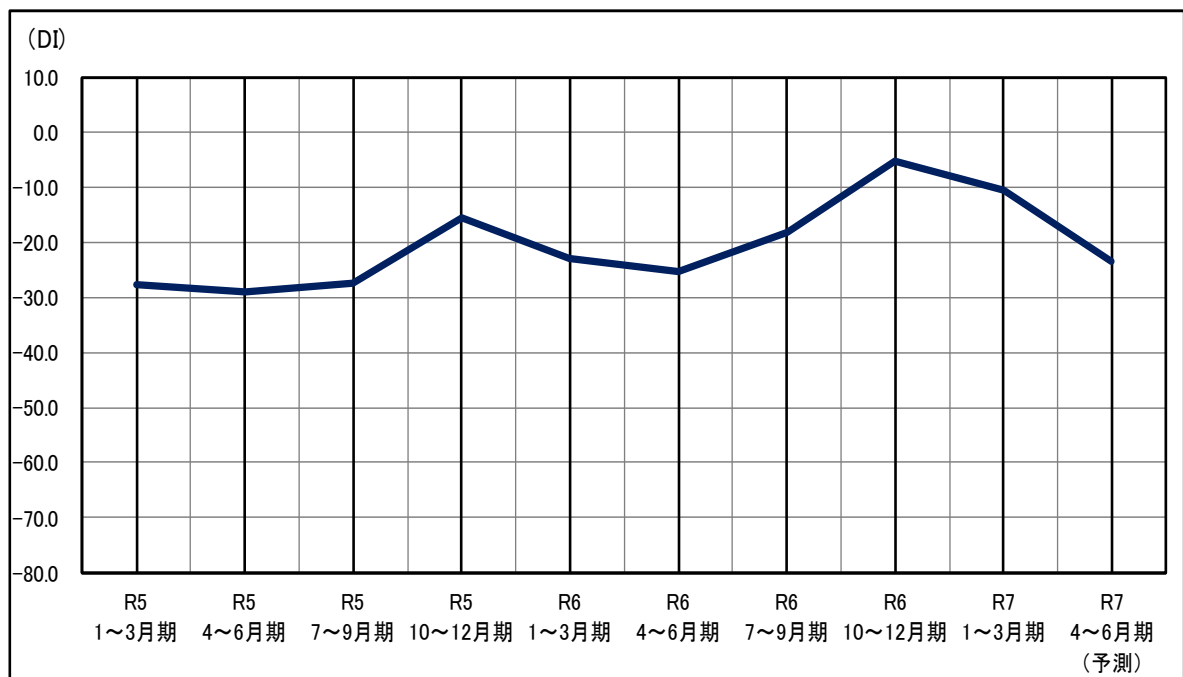
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が57%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が42%、3位は「売上の停滞・減少」が33%となり、「売上の停滞・減少」が4位から3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が55%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「技術力を強化する」が26%となり、上位5位まで前期同様となった。

来期の見通し

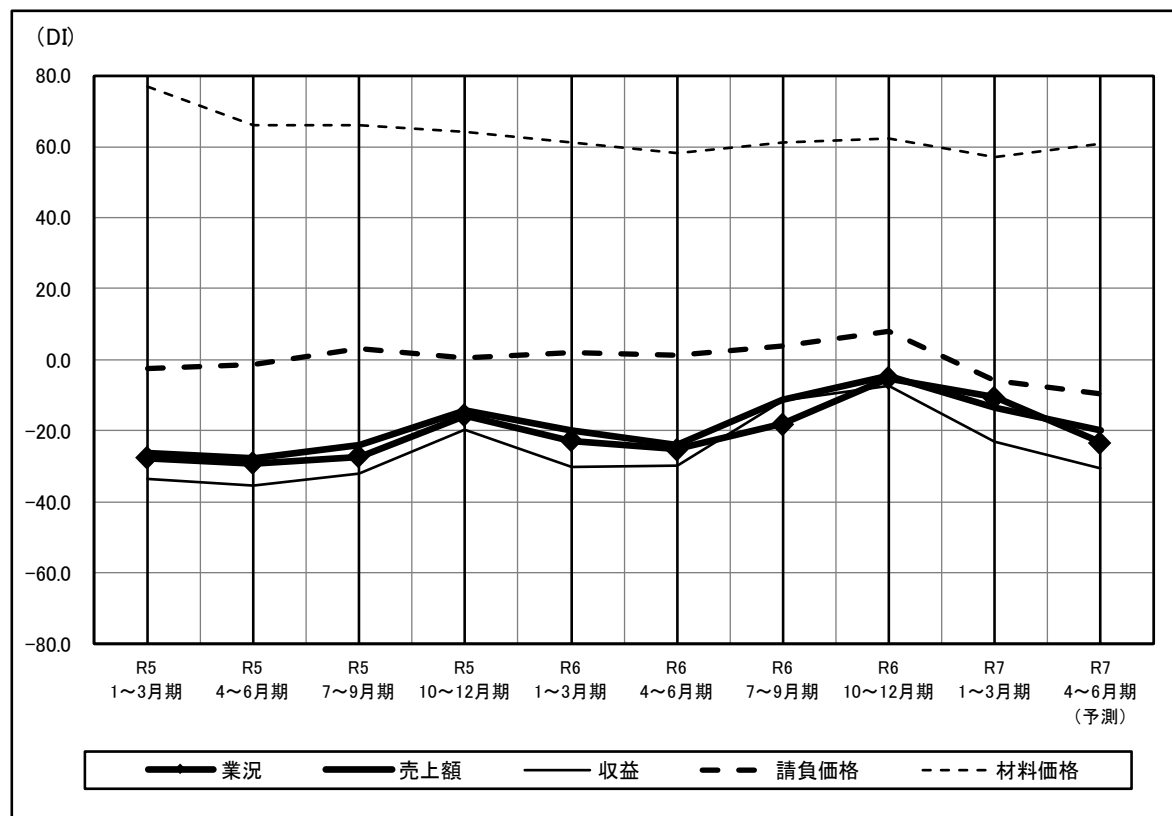
業況(△11→△23)は大きく低調感が強まる見込み。売上額(△13→△20)、収益(△23→△31)はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

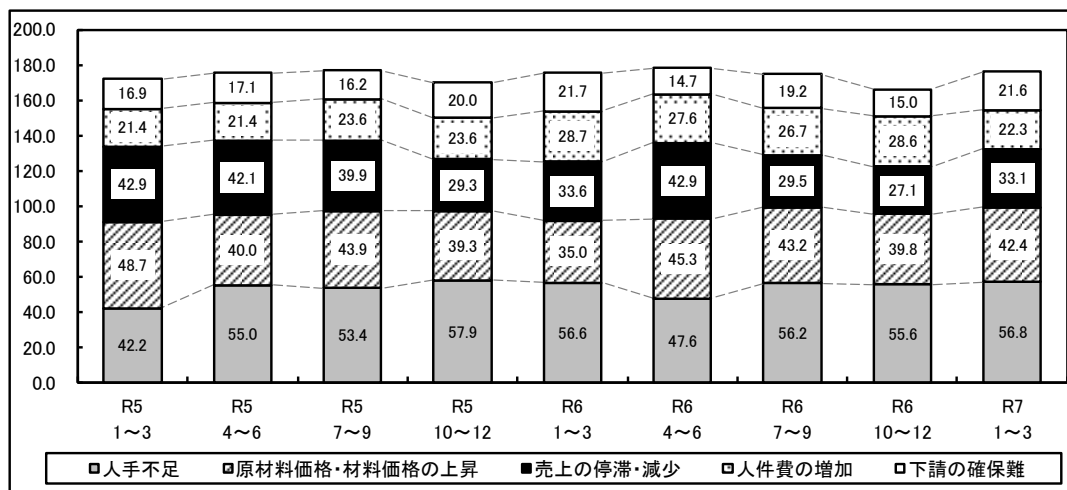


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



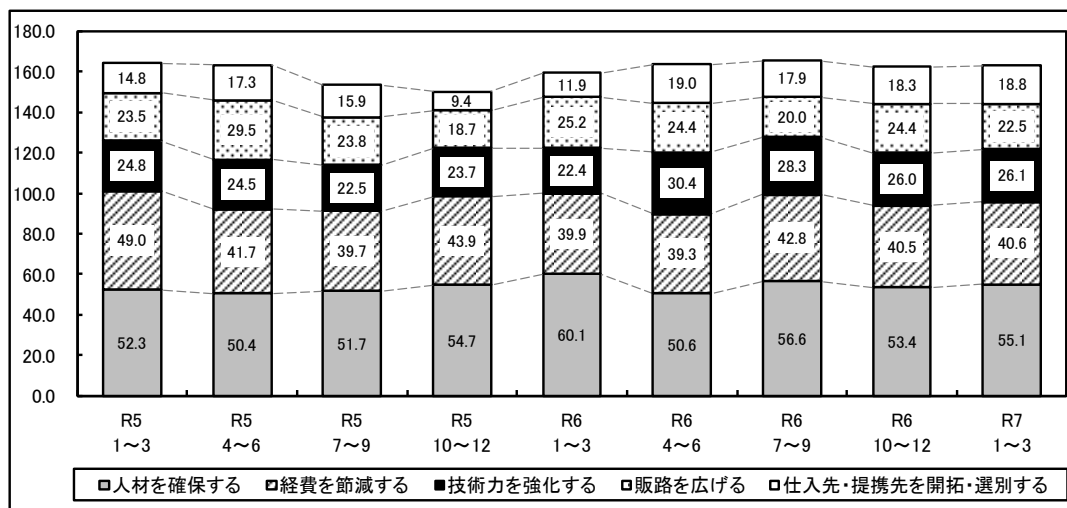
〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	人手不足	47.6 %	人手不足	56.2 %	人手不足	55.6 %	人手不足	56.8 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	45.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	43.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	42.4 %
第3位	売上の停滞・減少	42.9 %	売上の停滞・減少	29.5 %	人件費の増加	28.6 %	売上の停滞・減少	33.1 %
第4位	人件費の増加	27.6 %	人件費の増加	26.7 %	売上の停滞・減少	27.1 %	人件費の増加	22.3 %
第5位	利幅の縮小	18.8 %	利幅の縮小	21.9 %	利幅の縮小	18.8 %	下請の確保難	21.6 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が72.0%で最も多かった。

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	人材を確保する	50.6 %	人材を確保する	56.6 %	人材を確保する	53.4 %	人材を確保する	55.1 %
第2位	経費を節減する	39.3 %	経費を節減する	42.8 %	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	40.6 %
第3位	技術力を強化する	30.4 %	技術力を強化する	28.3 %	技術力を強化する	26.0 %	技術力を強化する	26.1 %
第4位	販路を広げる	24.4 %	販路を広げる	20.0 %	販路を広げる	24.4 %	販路を広げる	22.5 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	17.9 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.8 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が76.9%で最も多かった。

建設業 業種別コメント

＜仕入・価格について＞

1. 材料費、ガソリン、運送費、人件費など全てにおいて値上がりしているため、見積りも高くなり受注が難しくなる
2. 原材料価格・材料価格の上昇により、利幅が縮小している
3. 受注数は安定しているが、材料の値上げは止まらない。安易な販売価格の値上げはできないので、利益が上がらない
4. 原材料、価格の上昇で、職員の手間賃は上げられず、施工の方の価格も上げることができない状況です
5. 原材料価格の上昇、人手不足、人件費の増加、仕事先からの事実上の値段据え置き要請、競争の激化により厳しい状況
6. ガソリン・資材等が高騰しており、売上げは上がったかもしれないが、利益につながらない

＜受注・業況について＞

7. 仕入の金額が上がっているが、請負金額に全ては反映されていない。トラックの運転手不足が、地味に影響されている。現在は建築基準法の改正に伴い駆け込み需要があるが、今年の後半は受注数が減るかもしれないと、噂されているので心配要素
8. 仕事量は増えたが、単価が上がらない
9. 受注が増えそうではあるが、人手や利幅を増やすのが難しい状況である
10. 公共事業が安定して受注できれば経営も安定するが、官公庁積算価格と実勢価格の差が激しい。物価スライド制を実施していると思うが、それもち離していて常に資金不足である
11. 受注は変わらないが、仕入単価は値上がりしている。自社努力により一層の販管費減、一人当たりの労働力 UP を全社員で協力しているため昨年と変わらず維持できている。人手不足の問題はここ何年も悩みどころですが、お金を掛けずに見直せることを一つずつ実行している
12. 顧客も資金に余裕がない為、工事内容が簡素になり受注金額も減少している
13. 受注増時、雇用人材（職人）の不足対策として外注業者の協力を要請した場合、外注経費がかさみ収益が減少する。繁忙期と閑散期の差が大きい
14. 競合他社との競争が時期もあり、安値受注の状況にある

15. 公共工事と少数の取引先からの受注が主であるが、受注単価はこれから上昇の余地があるように思える。ただし、単純な値上げではなく、新たな付加価値の提供がなければ発注側も納得しない現状があり、また高額であれば顧客を逃がす結果が見えている。基本的に案件は多くあるが、採算の取れる物、リスクリターンの見合っている物ばかりとは限らない。繁忙期は純粋に労働力が足りないため断っているものもある。今期は幸い利益が増加したが、世界的にイノベーションが盛んであり、機械に代替される業務も多いという声も多いため、先行きは不明である。特に AI の進出は業界界にも読めず、少し前は「イラスト、文章などの創作的な分野は人間にしかできない」と言われていたが、それが生成 AI に真っ先に脅かされる結果となっている。建築においては「技術で行う職人は問題ない」という意見も聞くが、個人的にはとても樂觀できないだろうと考える

＜人材について＞

16. 受注は順調だが人手不足のために断らざるを得ない状況もあり、早急な人材確保(中途採用の即戦力)及び、将来を鑑み新卒採用も積極的に動いているが人材確保が難しい
17. 人材募集はしているが、採用までには至らず人手不足である
18. 人材が足りないため、受注する仕事をセーブしている。こちらの工事を行うために必要な電力会社側の工事が、4 か月以上先でないと日程が取れない為、受注した工事が先延ばしになり、困っている（以前は 2 か月以内にはできていた）
19. 受注が横ばいの中、原材料費が上昇。人材の定着率が良くなく、社員教育、資格取得支援するも支援経費ばかり掛かり、苦慮しています
20. 建設業の中でも技術力が必要なので人材の確保が難しい

＜その他＞

21. 物価高に不安が残るため新しく事業化できる部門作りを考えたい
22. 当社の現在の状況は元請会社がほぼ 1 社依存のため、元請会社を増やす努力をしている
23. 上位企業の働き方改革のしわ寄せが、下請企業の負担になっている
24. 請求業務が複雑なため、手間が掛かり、入金が遅れがちである

不動産業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△8→△10)はやや低調感が強まった。売上額(△6→△5)は前期並となり、収益(△14→△19)はやや減少幅が拡大した。

価格・在庫動向

販売価格(6→△1)は上昇から下降に転じ、仕入価格(32→28)はやや上昇傾向が弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△13→△12)、借入難易度(△14→△13)はともに前期並となった。今期借入をした企業は19%で前期の15%から4ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

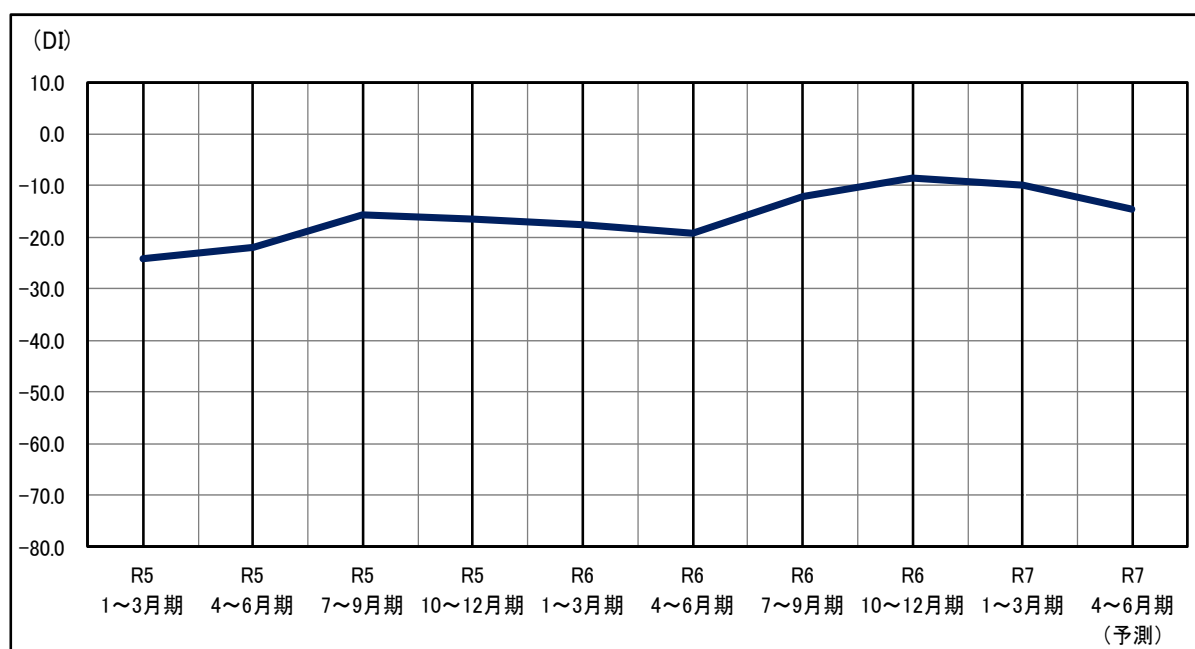
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が26%、2位は「利幅の縮小」が23%、3位は「原材料価格・材料価格の上昇」が22%となり、「売上の停滞・減少」が2位から1位となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が37%、2位は「不動産の有効活用を図る」が31%、3位は「店舗・設備を改装する」が12%となり、上位2位は前期同様となった。

来期の見通し

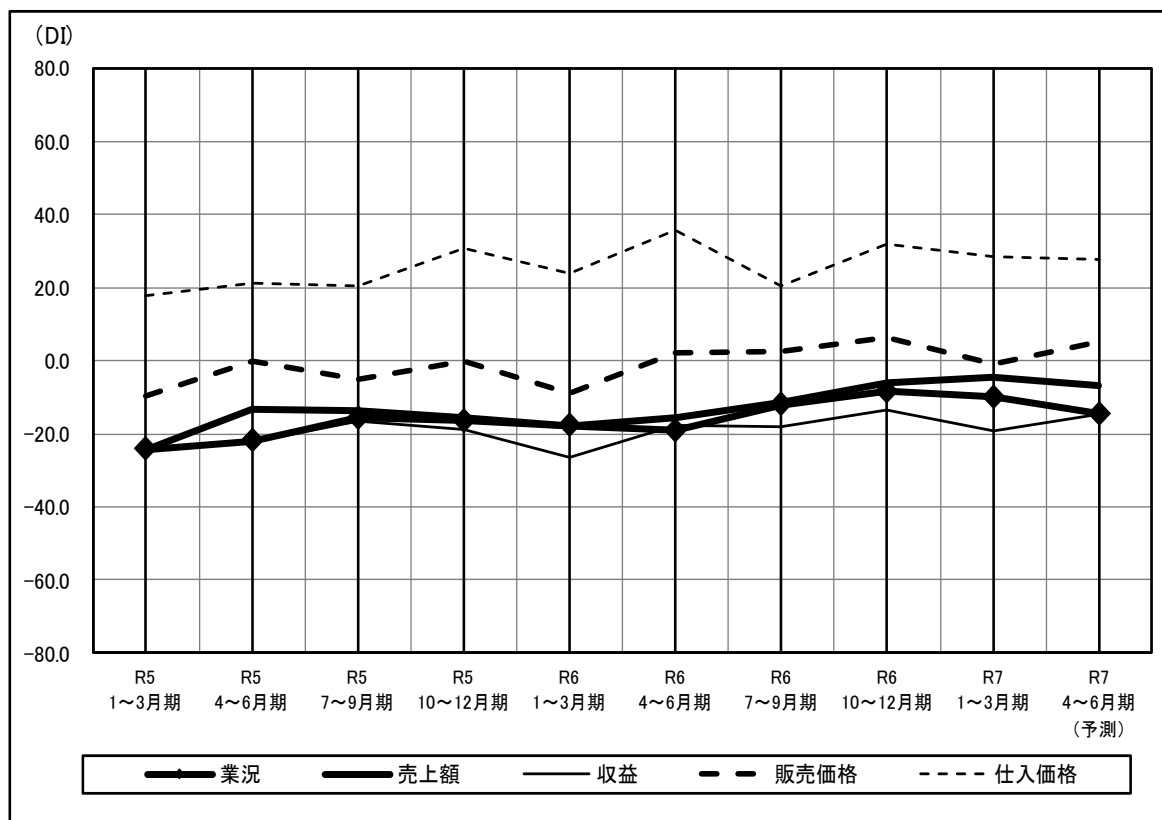
業況(△10→△15)はやや低調感が強まる見込み。売上額(△5→△7)はやや減少幅が拡大し、収益(△19→△15)はやや減少幅が縮小すると予想されている。

〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

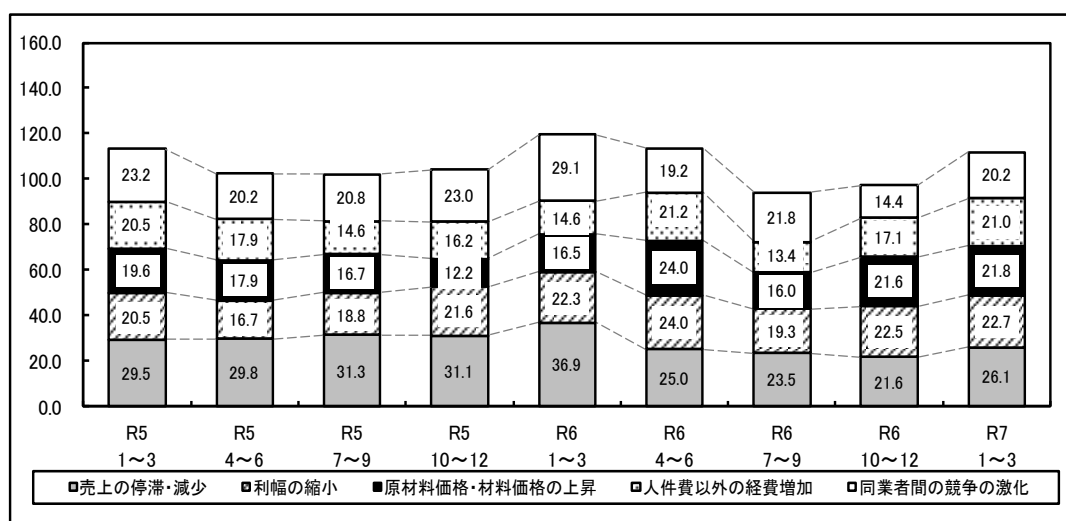


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



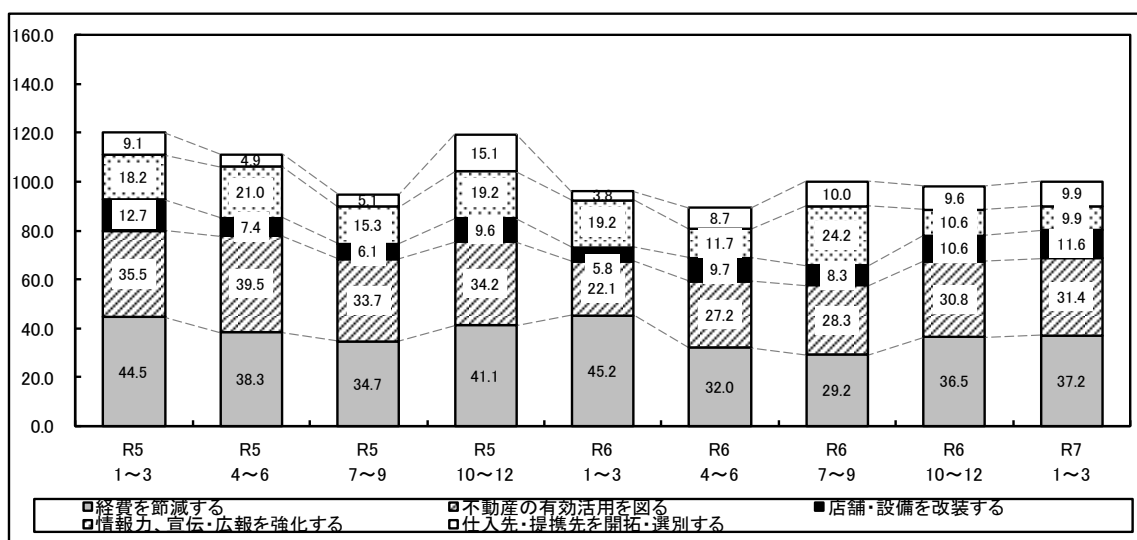
〈不動産業〉経営上の問題点（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	25.0 %	売上の停滞・減少	23.5 %	利幅の縮小	22.5 %	売上の停滞・減少	26.1 %
第2位	利幅の縮小	24.0 %	同業者間の競争の激化	21.8 %	売上の停滞・減少	21.6 %	利幅の縮小	22.7 %
	原材料価格・材料価格の上昇				原材料価格・材料価格の上昇			
第3位	人件費以外の経費増加	21.2 %	利幅の縮小	19.3 %	人件費以外の経費増加	17.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	21.8 %
第4位	同業者間の競争の激化	19.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	16.0 %	同業者間の競争の激化	14.4 %	人件費以外の経費増加	21.0 %
第5位	販売商品の不足	6.7 %	人件費以外の経費増加	13.4 %	仕入先からの値上げ要請 工場・店舗の狭小・老朽化	7.2 %	同業者間の競争の激化	20.2 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が27.7%で最も多かった。（問題なしを除く）

〈不動産業〉重点経営施策（％）



	R6.4～6月期		R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期	
第1位	経費を節減する	32.0 %	経費を節減する	29.2 %	経費を節減する	36.5 %	経費を節減する	37.2 %
第2位	不動産の有効活用を図る	27.2 %	不動産の有効活用を図る	28.3 %	不動産の有効活用を図る	30.8 %	不動産の有効活用を図る	31.4 %
第3位	販路を広げる	15.5 %	情報力・宣伝・広報を強化する	24.2 %	販路を広げる	15.4 %	店舗・設備を改装する	11.6 %
第4位	情報力・宣伝・広報を強化する	11.7 %	販路を広げる	16.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する	10.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.9 %
第5位	店舗・設備を改装する	9.7 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	10.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.6 %	販路を広げる 新しい事業を始める	9.1 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が38.6%で最も多かった。（n数5以下を除く）

不動産業 業種別コメント

<仕入・価格について>

1. 物価の上昇が止まらないため、材料・人件費といった修繕費が上昇し、売上げが変化しないので、利益率が低くなってしまっている。又、社会保険の上昇など、会社負担分の増加が問題になっている
2. 光熱費がたくさん上がっています。人件費と仕込み金額も上がっています。売上げは変わりません。人件費だけ抑えられるので、AIを導入します
3. 不動産価格の上昇傾向と、建築関係資材の高騰の影響により、土地の仕入れ、媒介先の確保が非常に厳しい状況は変わりません
4. 通信費、光熱費等値上がりの負担が大きい
5. 不動産売買の価格・賃料の上昇スピードが速過ぎることに加え、在庫不足が著しいので、仕入れが難しく、現状維持が精一杯
6. 原材料価格上昇に際し、自社の販価に反映することが難しい
7. 仕入価格の上昇の為、利幅の縮小
8. 値上げができず苦しい。仕入価格の上昇が続いている
9. 光熱費、ガソリン代が高くなり、利益が減少している
10. 原材料の上昇
11. 長期プライムレートの上昇により、月々の返済額増加、利益の縮小。家賃の増額できる物件→家賃の値上げ
12. 金利上昇の気運で融資金利が上がる不安があり、心配である

<受注・業況について>

13. 大手仲介会社によるお客様の囲い込み営業（オークション営業等）の影響が売上減少の要因の一つである
14. テナントが同じなので変わらない
15. この先の見通しが立たないのでじっと我慢をしている
16. 売上げは安定しているが、建物の老朽化によりリフォームが必要なため利益は減少
17. 金融機関とのトラブルがあり、先が見えない状況です
18. 金利と固定資産税、物価の上昇に対し、収入が同程度上げられないから景況は悪い

19. 市場価格が厳しく売上げの増収が見込めない。設備改修費の高騰で収益維持が困難
20. アパート経営なので特に変化なし。現在空室なし
21. 入居者が減少気味です
22. 新年度はR6、10月から始まり10月～12月の四半期は好調で150%の前年比であった。空き家等にビジネスチャンスがある→これらのスキームを拡大する方向
23. 物価高騰により設備のメンテナンスにコストが掛かり、若干減収傾向にある
24. 売上げの停滞が続いているが、なんとか売上げを確保している（本当にお客様のお陰）
25. 自社ビルをリース・テナントとして営業しており、収益に増減なし
26. 金利上昇により新規融資が受けにくく、既存借入金利の上昇で利益が下がる

<人材について>

27. パート採用ができず人手不足になっている

<その他>

28. 建物の老朽化。新築の物件との競合にいかに対応するか
29. 物件の老朽化に伴う修繕費用
30. 現状は変化をしないようにしているが、物件によっては投資をする可能性がある
31. 不動産業とは別に通販も営業しています。仕入価格が上昇していますが、販売価格に反映できなく販売する商品が減少しています
32. 同業種間の競争の激化。利幅の縮小。色々な情報が一般人でも知ることができ、不動産物件を安く仕入れる事が難しくなっている
33. 問題ない
34. 税金等の支払いで会社を継続していくのが苦しい
35. 施設の老朽化

日金矢豆観

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2025 年 3 月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,735社	5,236社	8,971社	99.0%
うち大企業	914社	812社	1,726社	98.7%
中堅企業	1,047社	1,515社	2,562社	99.3%
中小企業	1,774社	2,909社	4,683社	98.9%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2024年度			2025年度		
			上期	下期		上期	下期
円/	2024年12月調査	146.88	147.61	146.15	—	—	—
ドル	2025年3月調査	147.94	148.16	147.72	147.06	147.17	146.95
円/	2024年12月調査	159.03	160.17	157.90	—	—	—
ユーロ	2025年3月調査	159.43	160.47	158.39	157.45	157.57	157.33

[業況判断]

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	2024年12月調査		2025年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	14	13	12	-2	12	0
非製造業	33	28	35	2	28	-7
全産業	23	20	23	0	20	-3
中堅企業						
製造業	11	8	11	0	4	-7
非製造業	22	15	25	3	18	-7
全産業	18	13	19	1	12	-7
中小企業						
製造業	1	0	2	1	-1	-3
非製造業	16	8	16	0	9	-7
全産業	10	6	10	0	5	-5
全規模合計						
製造業	8	5	7	-1	4	-3
非製造業	20	14	21	1	15	-6
全産業	15	10	15	0	10	-5

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2024年度		2025年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	2.8	0.1	1.0	—
	国内	2.1	0.1	1.3	—
	輸出	4.2	0.2	0.6	—
	非製造業	3.6	0.3	0.8	—
		全産業	0.2	0.9	—
中堅企業	製造業	3.5	0.0	1.6	—
	非製造業	4.1	1.1	1.5	—
	全産業	3.9	0.8	1.5	—
中小企業	製造業	3.0	0.5	0.7	—
	非製造業	2.8	1.0	-0.1	—
	全産業	2.8	0.9	0.1	—
全規模合計	製造業	3.0	0.2	1.1	—
	非製造業	3.5	0.7	0.7	—
	全産業	3.3	0.5	0.8	—

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2024年12月調査		2025年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 ('需要超過'-'供給超過')	製造業	-20	-19	-19	1	-19	0
	うち素材業種	-25	-24	-22	3	-23	-1
	加工業種	-16	-16	-17	-1	-17	0
	非製造業	-8	-9	-8	0	-9	-1
海外での製商品需給判断 ('需要超過'-'供給超過')	製造業	-18	-17	-16	2	-16	0
	うち素材業種	-26	-25	-23	3	-23	0
	加工業種	-13	-12	-12	1	-11	1
製商品在庫水準判断 ('過大'-'不足')	製造業	17		13	-4		
	うち素材業種	17		14	-3		
	加工業種	15		13	-2		
製商品流通在庫水準判断 ('過大'-'不足')	製造業	17		16	-1		
	うち素材業種	22		19	-3		
	加工業種	14		14	0		
販売価格判断 ('上昇'-'下落')	製造業	29	34	27	-2	37	10
	うち素材業種	26	31	25	-1	36	11
	加工業種	31	36	28	-3	39	11
	非製造業	27	31	30	3	37	7
仕入価格判断 ('上昇'-'下落')	製造業	58	58	57	-1	62	5
	うち素材業種	50	51	50	0	57	7
	加工業種	63	63	62	-1	66	4
	非製造業	53	56	57	4	61	4

東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株) 東京商工リサーチ

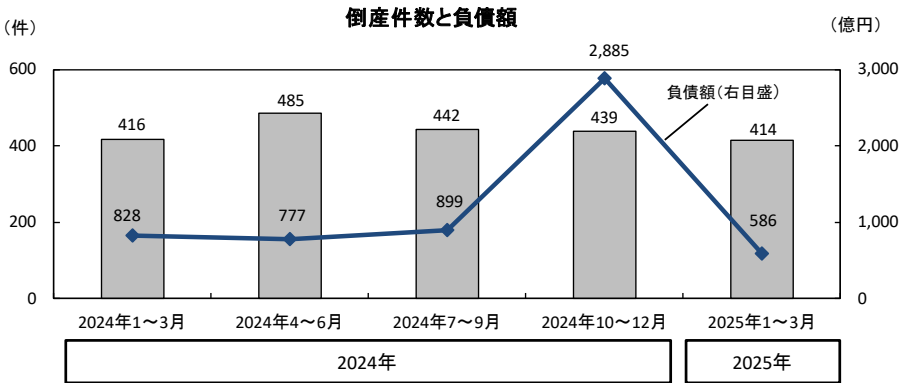
「東京都」の企業倒産動向について（2025年1～3月）

1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が414件、負債額は586億8,200万円となった。件数は前期比5.7%減、前年同期比0.5%減となった。負債額は前期比79.7%減、前年同期比29.2%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	416	439	414	-5.7%	-0.5%
負債額(単位:百万円)	82,831	288,513	58,682	-79.7%	-29.2%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	20	26	19	-26.9%	-5.0%
卸売業	63	68	66	-2.9%	4.8%
小売業	45	51	32	-37.3%	-28.9%
サービス業	99	109	90	-17.4%	-9.1%
建設業	49	42	45	7.1%	-8.2%
不動産業	30	15	22	46.7%	-26.7%
情報通信業・運輸業	47	61	71	16.4%	51.1%
宿泊業・飲食サービス業	32	36	44	22.2%	37.5%
その他	31	31	25	-19.4%	-19.4%
合計	416	439	414	-5.7%	-0.5%
負債額 (単位:百万円)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	5,766	3,188	10,443	227.6%	81.1%
卸売業	16,323	18,320	14,222	-22.4%	-12.9%
小売業	5,237	88,348	2,142	-97.6%	-59.1%
サービス業	10,859	36,214	11,669	-67.8%	7.5%
建設業	4,499	3,097	4,514	45.8%	0.3%
不動産業	19,183	7,549	3,006	-60.2%	-84.3%
情報通信業・運輸業	14,054	7,909	4,998	-36.8%	-64.4%
宿泊業・飲食サービス業	2,695	5,676	2,158	-62.0%	-19.9%
その他	4,215	118,212	5,530	-95.3%	31.2%
合計	82,831	288,513	58,682	-79.7%	-29.2%

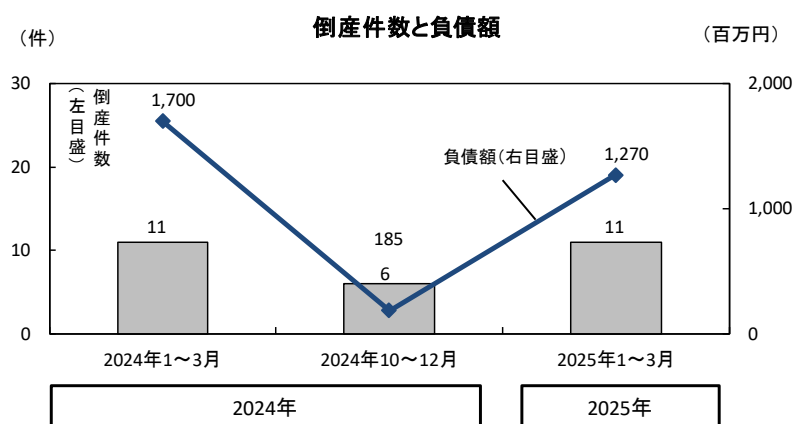
「葛飾区」の企業倒産動向について（2025年1～3月）

1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が11件、負債額は12億7,000万円となった。件数は前期比83.3%増、前年同期比0.0%で増減なしとなった。負債額は前期比586.5%増、前年同期比25.3%減となった。業種別の件数では、製造業が2件と前年同期と比べて増加した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	11	6	11	83.3%	0.0%
負債額(単位:百万円)	1,700	185	1,270	586.5%	-25.3%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	0	0	2	-	-
卸売業	1	2	0	-100.0%	-100.0%
小売業	1	0	1	-	0.0%
サービス業	4	1	4	300.0%	0.0%
建設業	4	2	1	-50.0%	-75.0%
不動産業	0	0	0	-	-
情報通信業・運輸業	0	0	0	-	-
宿泊業・飲食サービス業	0	0	1	-	-
その他	1	1	2	100.0%	100.0%
合計	11	6	11	83.3%	0.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	0	0	822	-	-
卸売業	891	85	0	-100.0%	-100.0%
小売業	20	0	10	-	-50.0%
サービス業	452	20	170	750.0%	-62.4%
建設業	144	60	52	-13.3%	-63.9%
不動産業	0	0	0	-	-
情報通信業・運輸業	0	0	0	-	-
宿泊業・飲食サービス業	0	0	130	-	-
その他	193	20	86	330.0%	-55.4%
合計	1,700	185	1,270	586.5%	-25.3%

3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	1	0	0	-	-100.0%
奥戸	0	0	0	-	-
お花茶屋	0	0	1	-	-
金町	0	1	0	-100.0%	-
鎌倉	1	0	0	-	-100.0%
亀有	0	1	0	-100.0%	-
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	1	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	1	1	0.0%	-
高砂	0	1	0	-100.0%	-
宝町	0	1	1	0.0%	-
立石	1	0	0	-	-100.0%
新宿	1	0	1	-	0.0%
西亀有	1	0	0	-	-100.0%
西新小岩	1	1	1	0.0%	0.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	1	0	2	-	100.0%
東新小岩	0	0	1	-	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	1	0	0	-	-100.0%
堀切	2	0	0	-	-100.0%
水元	0	0	1	-	-
南水元	1	0	0	-	-100.0%
四つ木	0	0	1	-	-
合計	11	6	11	83.3%	0.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期 2024年1～3月	前期 2024年10～12月	当期 2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	193	0	0	-	-100.0%
奥戸	0	0	0	-	-
お花茶屋	0	0	52	-	-
金町	0	30	0	-100.0%	-
鎌倉	10	0	0	-	-100.0%
亀有	0	55	0	-100.0%	-
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	10	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	20	120	500.0%	-
高砂	0	20	0	-100.0%	-
宝町	0	40	46	15.0%	-
立石	891	0	0	-	-100.0%
新宿	402	0	20	-	-95.0%
西亀有	80	0	0	-	-100.0%
西新小岩	10	20	249	1145.0%	2390.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	44	0	170	-	286.4%
東新小岩	0	0	573	-	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	10	0	0	-	-100.0%
堀切	30	0	0	-	-100.0%
水元	0	0	20	-	-
南水元	30	0	0	-	-100.0%
四つ木	0	0	10	-	-
合計	1,700	185	1,270	586.5%	-25.3%

東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により 1 四半期前の情報を掲載

「東京都」の新設法人について（2024 年 10～12 月）

1. 概況

2024 年 10～12 月の東京都内の新設法人数は 11,653 件で、前期比 1.7%減、前年同期比 2.2%減となった。業種別では、不動産業で前期比・前年同期比ともに増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件数)	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	698	620	629	1.5%	-9.9%
卸売業	554	616	578	-6.2%	4.3%
小売業	858	809	839	3.7%	-2.2%
サービス業	3,910	3,949	3,891	-1.5%	-0.5%
建設業	584	410	412	0.5%	-29.5%
不動産業	1,284	1,274	1,329	4.3%	3.5%
情報通信業・運輸業	2,040	1,934	1,820	-5.9%	-10.8%
宿泊業・飲食サービス業	811	833	820	-1.6%	1.1%
その他	1,182	1,404	1,335	-4.9%	12.9%
合計	11,921	11,849	11,653	-1.7%	-2.2%

「葛飾区」の新設法人について（2024 年 10～12 月）

1. 概況

2024 年 10～12 月の葛飾区内の新設法人数は 165 件で前期比 7.8%減、前年同期比 11.3%減となった。業種別では、卸売業、小売業が前期比・前年同期比ともに増となった。地域別では、お花茶屋、柴又、新宿、東金町、水元で前期比・前年同期比ともに増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	18	11	13	18.2%	-27.8%
卸売業	16	13	20	53.8%	25.0%
小売業	19	17	22	29.4%	15.8%
サービス業	48	42	47	11.9%	-2.1%
建設業	25	18	16	-11.1%	-36.0%
不動産業	15	19	11	-42.1%	-26.7%
情報通信業・運輸業	22	21	10	-52.4%	-54.5%
宿泊業・飲食サービス業	14	20	13	-35.0%	-7.1%
その他	9	18	13	-27.8%	44.4%
合計	186	179	165	-7.8%	-11.3%

3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	7	12	12	0.0%	71.4%
奥戸	4	9	5	-44.4%	25.0%
お花茶屋	2	1	4	300.0%	100.0%
金町	9	6	8	33.3%	-11.1%
鎌倉	4	6	4	-33.3%	0.0%
亀有	14	12	9	-25.0%	-35.7%
小菅	8	2	2	0.0%	-75.0%
柴又	3	7	15	114.3%	400.0%
白鳥	1	4	1	-75.0%	0.0%
新小岩	19	11	13	18.2%	-31.6%
高砂	10	4	4	0.0%	-60.0%
宝町	1	3	1	-66.7%	0.0%
立石	6	9	7	-22.2%	16.7%
新宿	4	7	8	14.3%	100.0%
西亀有	6	6	5	-16.7%	-16.7%
西新小岩	10	12	6	-50.0%	-40.0%
西水元	7	3	0	-100.0%	-100.0%
東金町	12	10	14	40.0%	16.7%
東新小岩	11	8	8	0.0%	-27.3%
東立石	6	3	2	-33.3%	-66.7%
東堀切	4	1	3	200.0%	-25.0%
東水元	5	3	1	-66.7%	-80.0%
東四つ木	5	4	4	0.0%	-20.0%
細田	3	3	2	-33.3%	-33.3%
堀切	10	19	8	-57.9%	-20.0%
水元	4	3	8	166.7%	100.0%
南水元	4	3	3	0.0%	-25.0%
四つ木	7	8	8	0.0%	14.3%
合計	186	179	165	-7.8%	-11.3%

4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	158	150	138	-8.0%	-12.7%
女性	28	28	27	-3.6%	-3.6%
法人	0	1	0	-100.0%	-
不明	0	0	0	-	-
合計	186	179	165	-7.8%	-11.3%

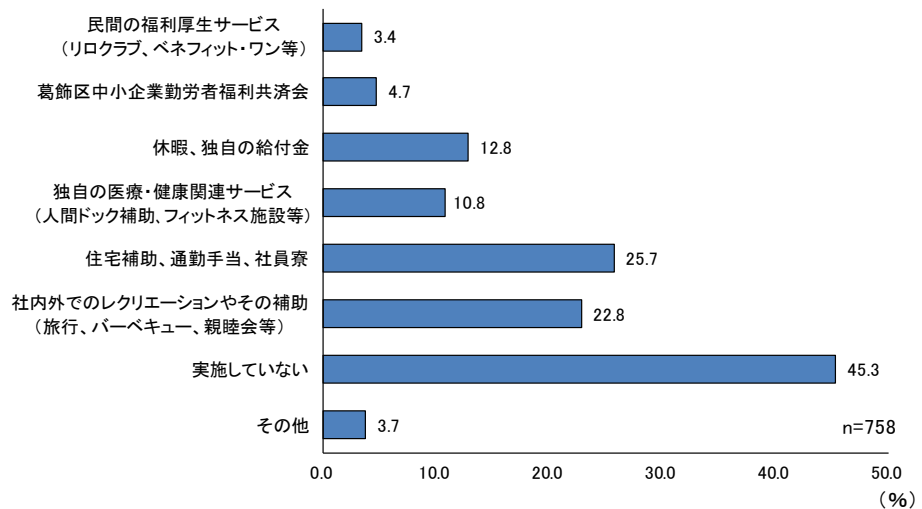
特別調査「法定外福利厚生について」

- ① 法定外の福利厚生については、「実施していない」が45.3%で最多。
- ② 福利厚生事業を実施していない理由については、「費用負担があるため」が37.9%で最多。
- ③ 福利厚生事業の必要性や効果については、「職場環境・モチベーション向上に重要」が69.9%で最多。
- ④ よく利用されているサービス、利用してみたいサービスについては、「レジャー（映画、観劇、遊園地等）」が48.2%で最多。
- ⑤ 共済会事業で改善してもらいたいものについては、「チケット購入、各種手続き方法を便利にする」が52.8%で最多。

問1. 法定外の福利厚生としてどのようなことをされていますか（〇はいくつでも）

法定外の福利厚生については、全体では「実施していない」が45.3%で最も高く、次いで「住宅補助、通勤手当、社員寮」が25.7%、「社内外でのレクリエーションやその補助（旅行、バーベキュー、親睦会等）」が22.8%となった。

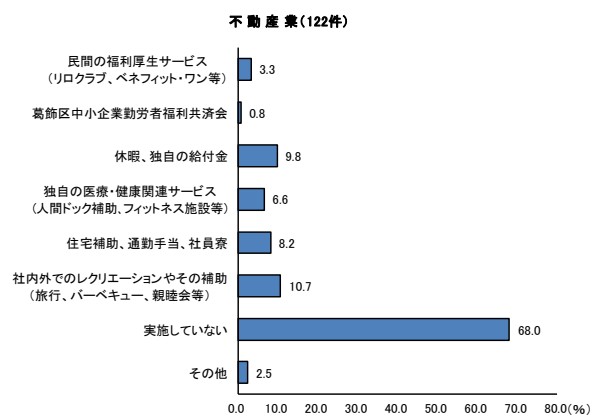
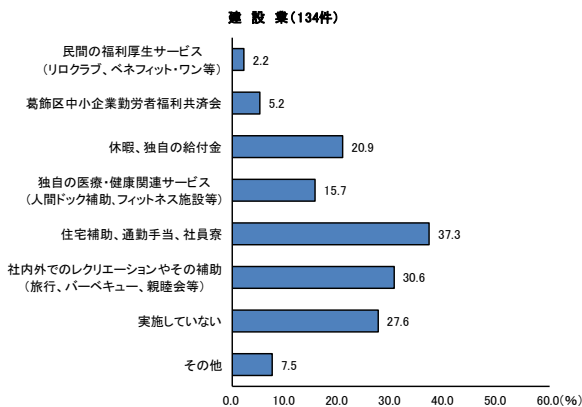
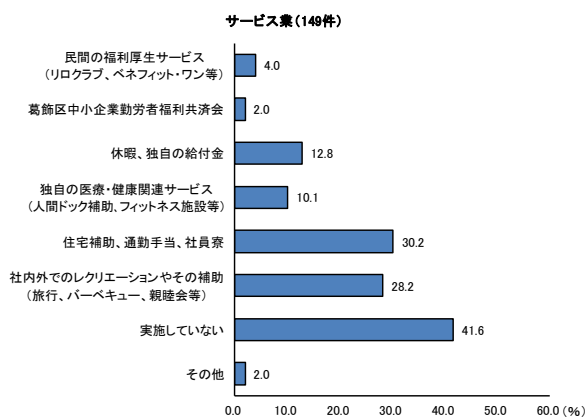
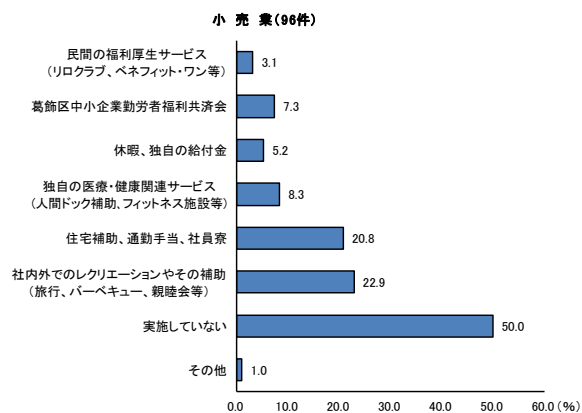
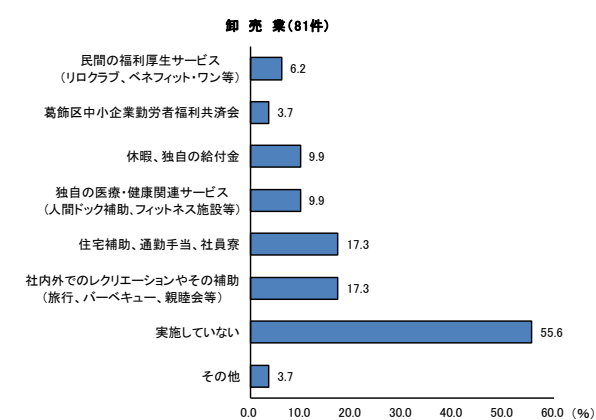
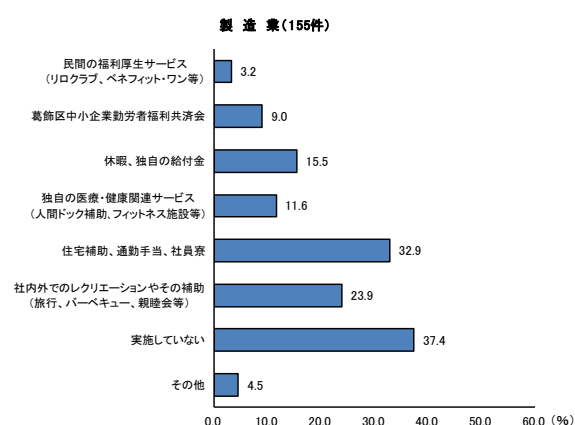
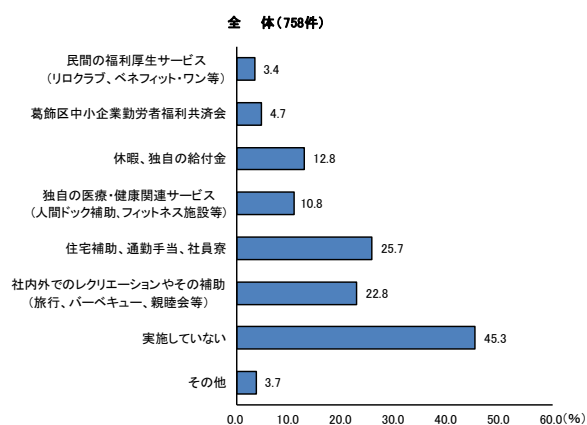
業種別にみると、建設業では「住宅補助、通勤手当、社員寮」が最も高く、その他の業種では「実施していない」が最も高くなっている。



【その他の意見】

- 個人の都合と仕事の進捗に合わせて休みを適宜取れる(製造業)
- 茶、菓子を出す(製造業)
- 永年勤続表彰金(製造業)
- 昼食代一部負担(製造業)
- あんしん財団(製造業)
- 家内製造業には特になし(製造業)
- 共済等の割引サービス(製造業)
- 法人保険への加入(卸売業)
- 定期的に食事(卸売業)
- コーヒーマシン設置(卸売業)
- 東京商工会議所(小売業)
- 各種共済への加入(サービス業)
- 昼食(サービス業)
- 健康診断の補助(建設業)
- 駐車場の利用負担(建設業)
- 野球観戦・高級ホテル無料宿泊(建設業)
- 社員無しのため(建設業)
- 中退共(建設業)
- 退職金積立て(建設業)
- 新年会等(建設業)
- C C I (建設業)
- 会員制リゾートの利用権(不動産業)
- 情報の提供(不動産業)
- 弊社に当てはまる項目がない。有休ぐらい(不明)

【業種別】

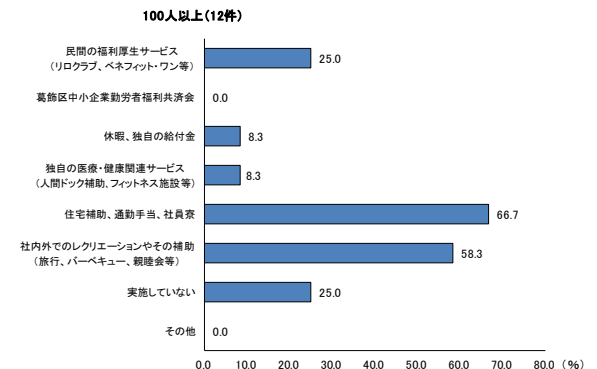
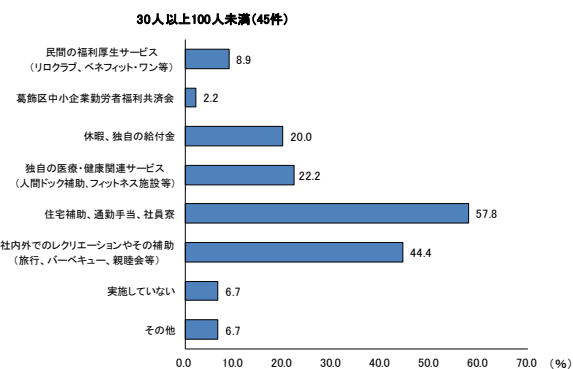
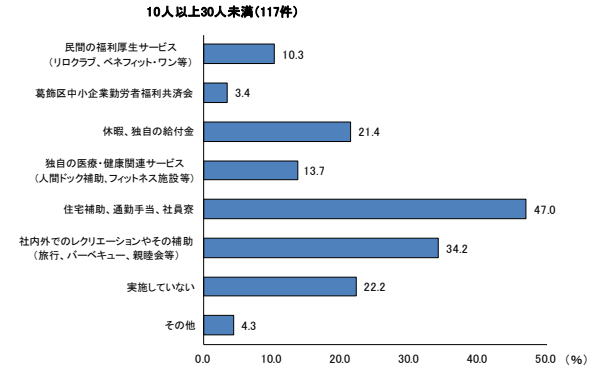
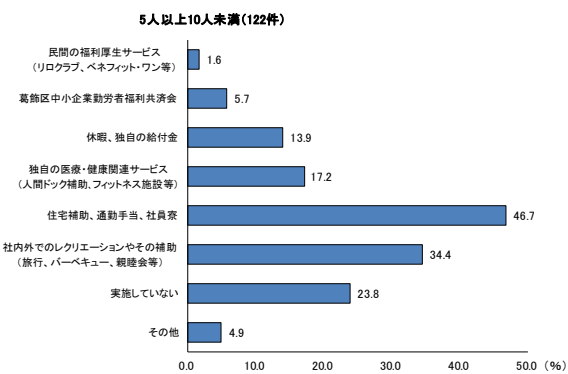
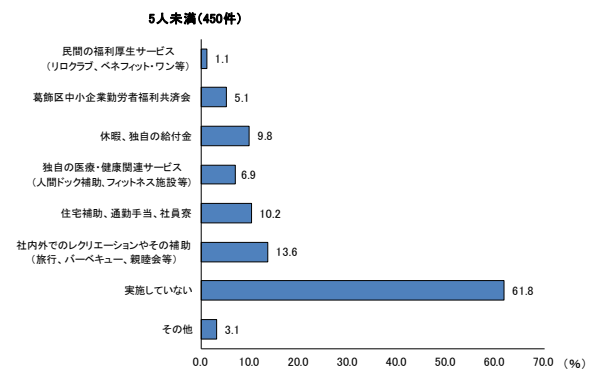
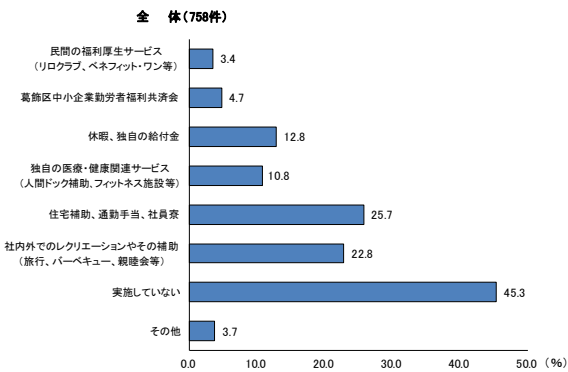


【従業員規模別】

法定外の福利厚生としてどのようなことをされていますか

(上段: 件、下段: %)

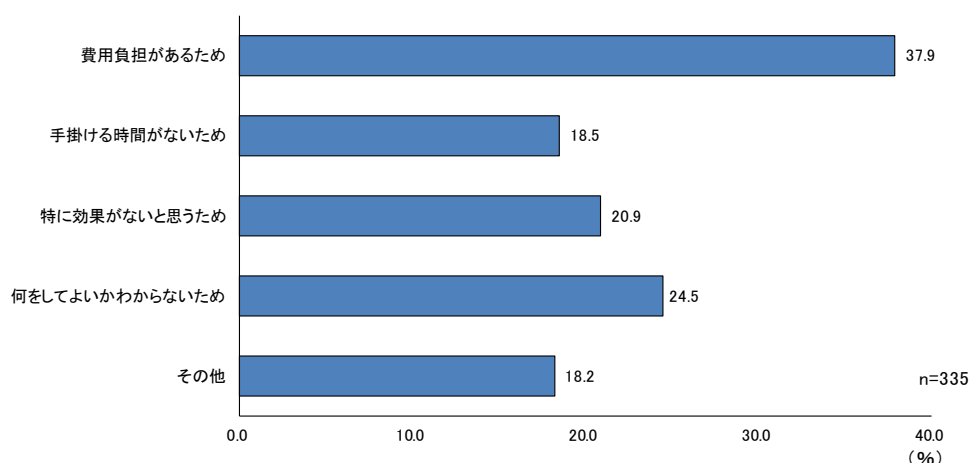
		全 体	民間の福利厚生サービス (リロクラブ、ベネフィット・ワン等)	葛飾区中小企業勤労者福利共済会	休暇、独自の給付金	独自の医療・健康関連サービス (人間ドック補助、フィットネス施設等)	住宅補助、通勤手当、社員寮	社内外でのレクリエーションやその補助 (旅行、バーベキュー、親睦会等)	実施していない	その他
全 体		758 -	26 3.4	36 4.7	97 12.8	82 10.8	195 25.7	173 22.8	343 45.3	28 3.7
従業員数	5人未満	450 -	5 1.1	23 5.1	44 9.8	31 6.9	46 10.2	61 13.6	278 61.8	14 3.1
	5人以上10人未満	122 -	2 1.6	7 5.7	17 13.9	21 17.2	57 46.7	42 34.4	29 23.8	6 4.9
	10人以上30人未満	117 -	12 10.3	4 3.4	25 21.4	16 13.7	55 47.0	40 34.2	26 22.2	5 4.3
	30人以上100人未満	45 -	4 8.9	1 2.2	9 20.0	10 22.2	26 57.8	20 44.4	3 6.7	3 6.7
	100人以上	12 -	3 25.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	8 66.7	7 58.3	3 25.0	0 0.0



問2. 福利厚生事業を実施していない理由はなんですか（〇はいくつでも）

福利厚生事業を実施していない理由について、全体では「費用負担があるため」が37.9%で最も高く、次いで「何をしてもよいかかわからないため」が24.5%、「特に効果がないと思うため」が20.9%となった。

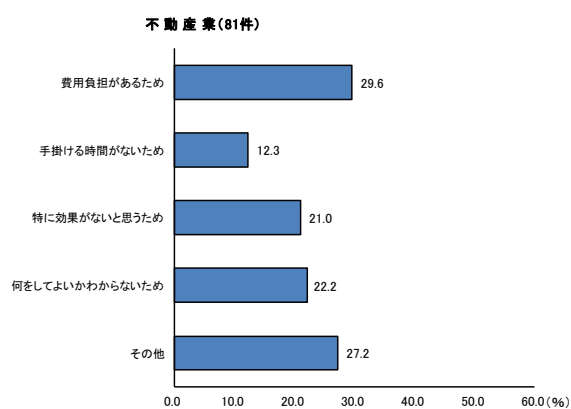
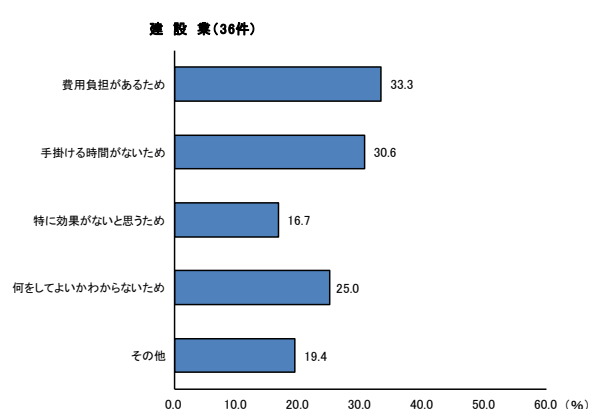
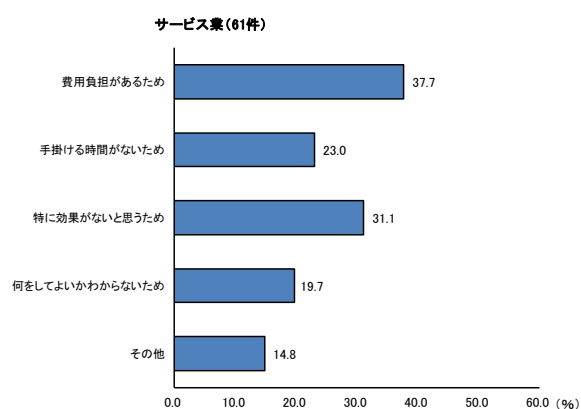
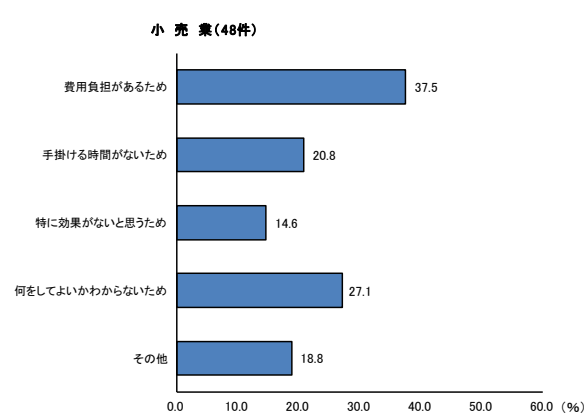
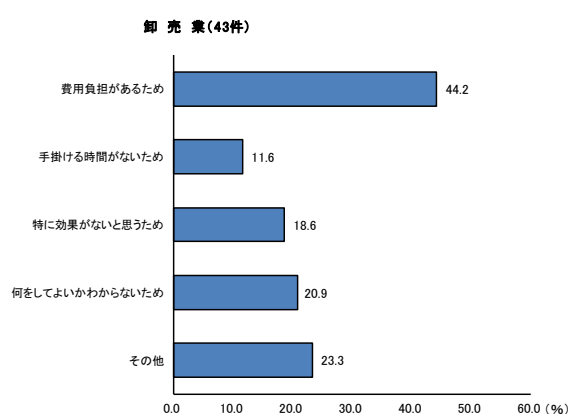
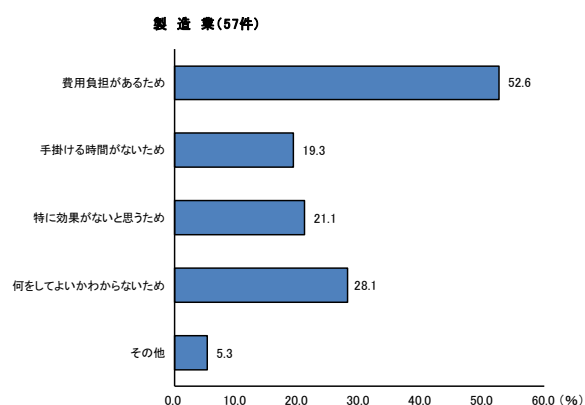
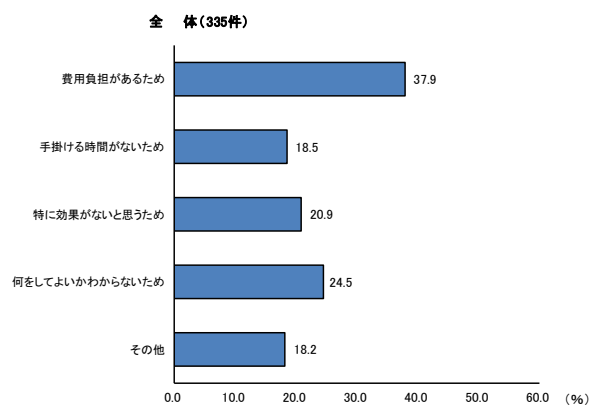
業種別にみると、全ての業種で「費用負担があるため」が最も高く、製造業では5割を超えている。建設業では「手掛ける時間がないため」が3割台と他の業種よりも高くなっている。



【その他の意見】

- 自営業のため特に実施していない(製造業)
- 賃金上げを行ったため(製造業)
- 従業員がいないから(製造業)
- 家族経営のため(卸売業)
- 社員がいないから(卸売業) 他 1 件
- 社長（中国人）の理解度が乏しい。また、会社に余裕がない。`何のため` など、説明しても理解されないと思う(卸売業)
- 必要ないため(卸売業)
- 正社員がいないため(卸売業)
- 家族経営のため(卸売業)
- 従業員を雇い入れていない(小売業)
- 一人で仕事をしているので(小売業)
- 家族経営(小売業) 他 2 件
- 従業員なし(小売業)
- 会社が赤字のため(小売業)
- 余裕がない(小売業)
- 従業員が法人代表者の家族のみであるため(サービス業)
- 従業員が望まない(サービス業)
- 1 人社長のため(サービス業)
- 従業員が家族のみのため(サービス業)
- 社員より不要とのこと(サービス業)
- 誰もいないから(サービス業)
- 従業員なし(サービス業)
- 家族経営のため必要性がない(サービス業)
- 他人を使用していない(サービス業)
- 家族経営のため(建設業)
- 検討中(建設業)
- 1 人なので(建設業)
- 仕事がないため人を雇えないから(建設業)
- 従業員の都合にてフリーにしている(建設業)
- 必要なし(建設業)
- 必要なし(不動産業)
- 社員は役員だけのため(不動産業)
- 社員不在(不動産業)
- 身内以外に従業員がいない(不動産業)
- 従業員なし、役員 2 名のみの会社のため不要(不動産業)
- 役員のためのため(不動産業)
- 個人会社のため(不動産業)
- 従業員がいないため(不動産業)
- 必要なし(不動産業) 他 3 件
- 家族経営(不動産業) 他 3 件
- 社員なし(不動産業)
- 役員のための法人であるため(不動産業)
- 役員 3 名だが事業に携わっている人数→1 人ゆえ(不動産業)

【業種別】

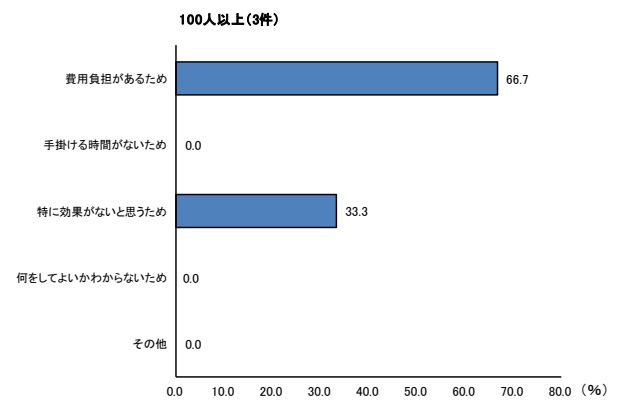
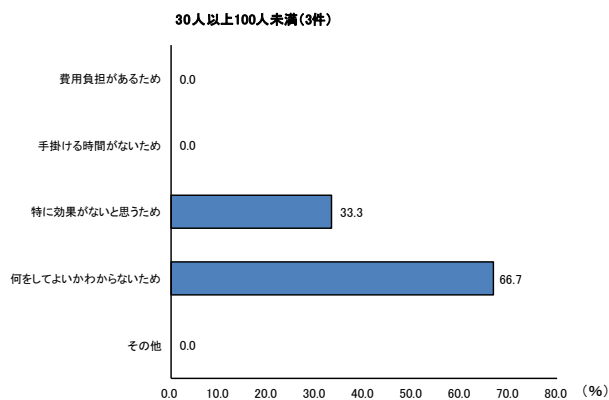
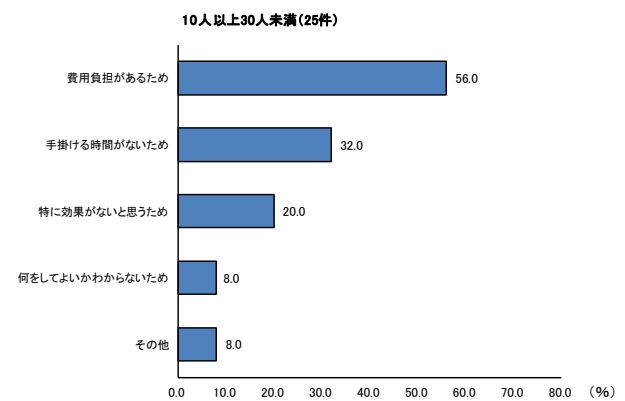
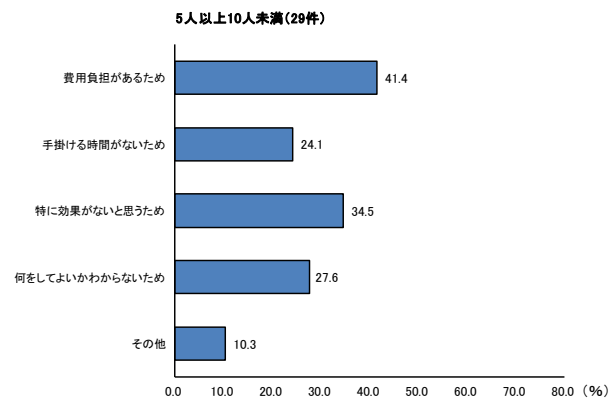
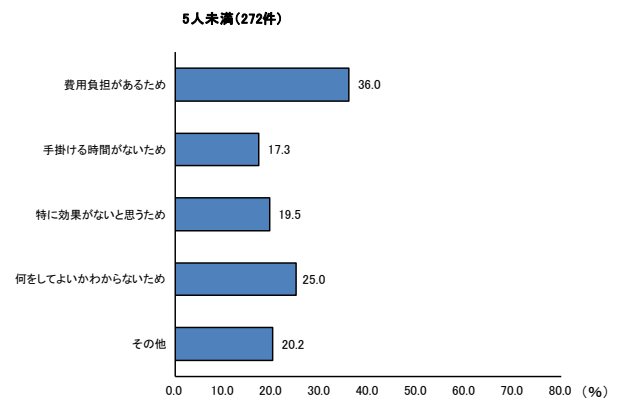
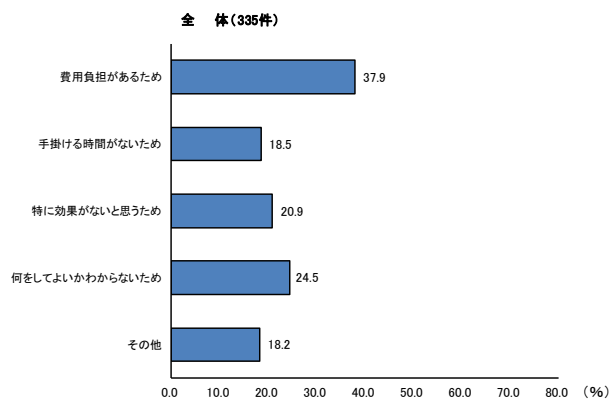


【従業員規模別】

福利厚生事業を実施していない理由はなんですか

(上段:件、下段:%)

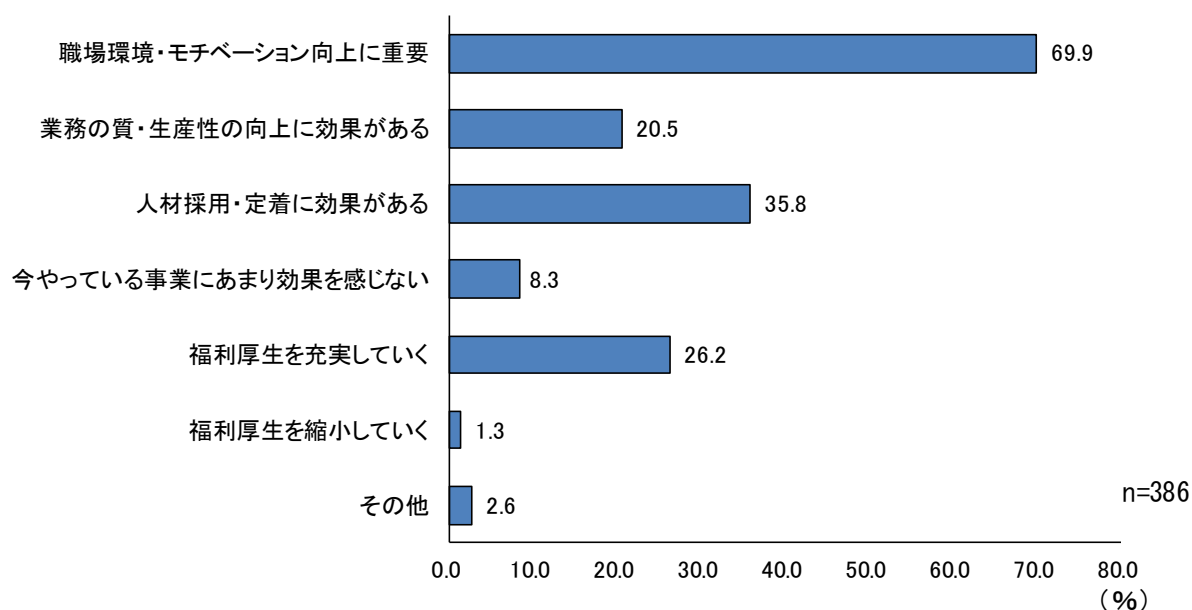
		全 体	費用負担があるため	手掛ける時間がないため	特に効果がないと思うため	何をしてもいいかわからないため	その他
全 体		335 —	127 37.9	62 18.5	70 20.9	82 24.5	61 18.2
従業員数	5人未満	272 —	98 36.0	47 17.3	53 19.5	68 25.0	55 20.2
	5人以上10人未満	29 —	12 41.4	7 24.1	10 34.5	8 27.6	3 10.3
	10人以上30人未満	25 —	14 56.0	8 32.0	5 20.0	2 8.0	2 8.0
	30人以上100人未満	3 —	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	100人以上	3 —	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0



問3. 福利厚生事業の必要性や効果についてどうお考えですか（〇はいくつでも）

福利厚生事業の必要性や効果については、全体では「職場環境・モチベーション向上に重要」が69.9%と最も高く、次いで「人材採用・定着に効果がある」が35.8%、「福利厚生を充実していく」が26.2%となった。

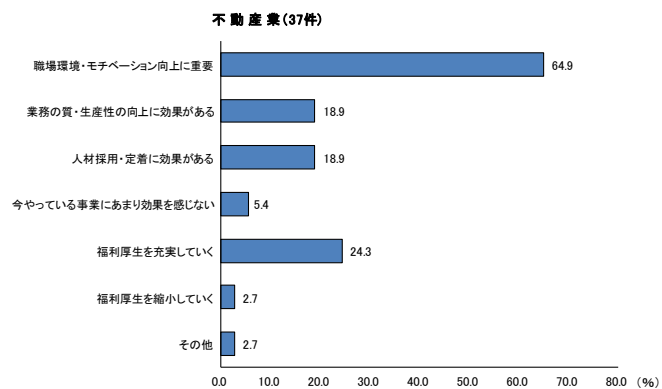
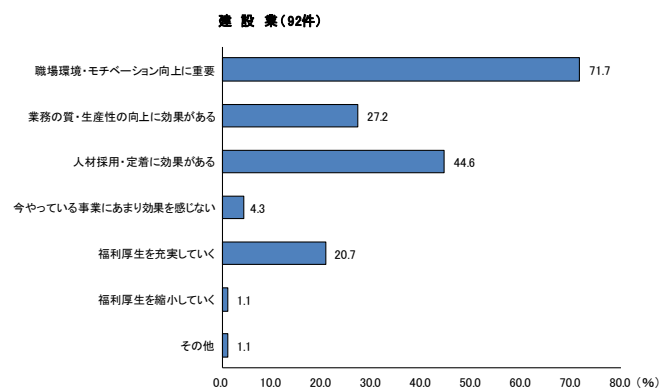
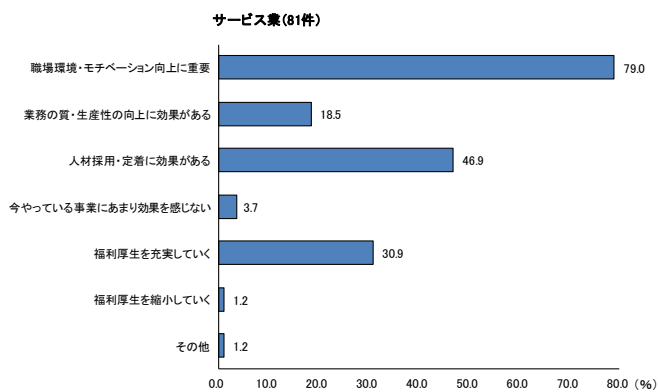
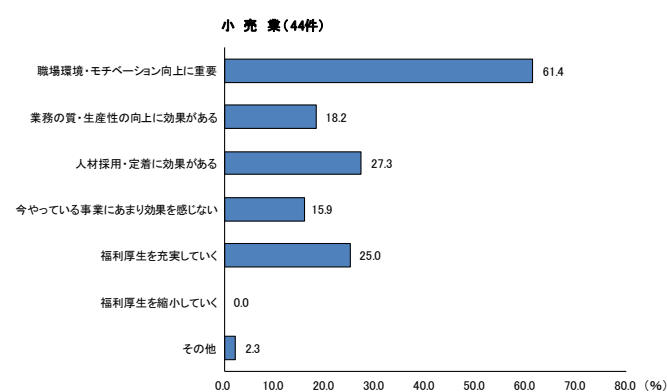
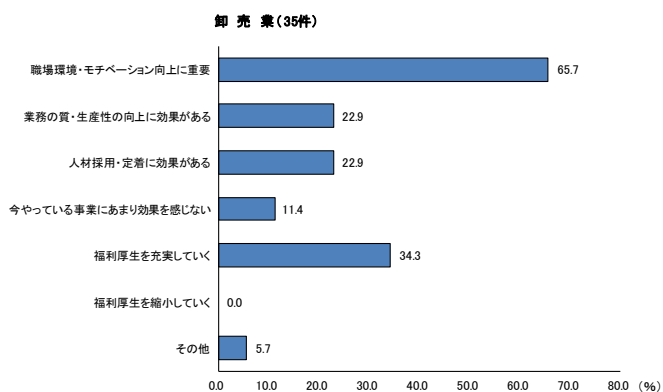
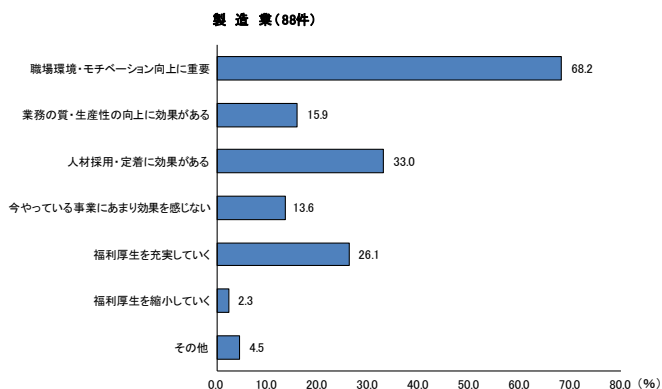
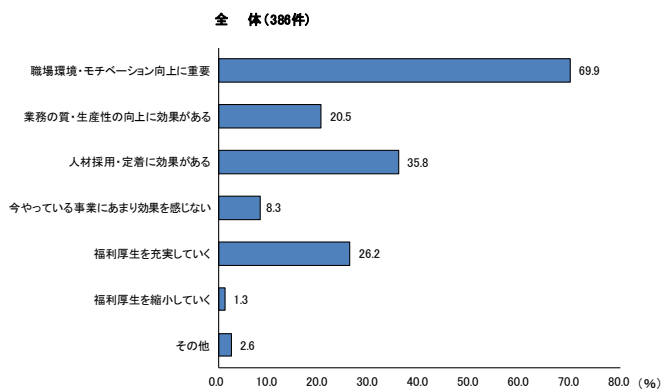
業種別にみると、全ての業種で「職場環境・モチベーション向上に重要」が最も高くなっている。またサービス業・建設業では「人材採用・定着に効果がある」が4割を超えており、他の業種よりも高くなっている。



【その他の意見】

- 現在と変わらない程度でやっていく(製造業)
- 考えたことがない(製造業)
- 必要と思われることを実施(製造業)
- 現状維持(卸売業)
- 特になし(卸売業)
- みんなで仲良くしていきたい(小売業)
- 充実したいが賃金UPが先(サービス業)

【業種別】

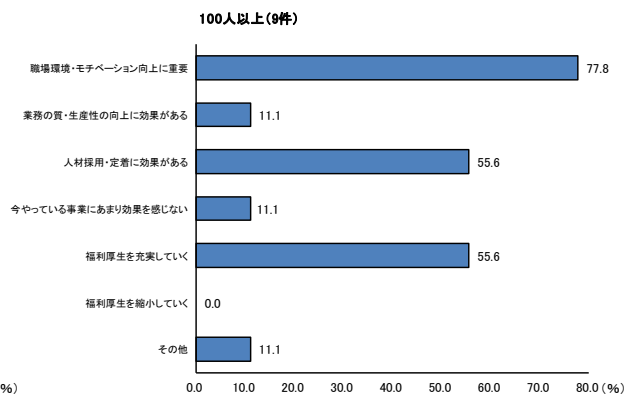
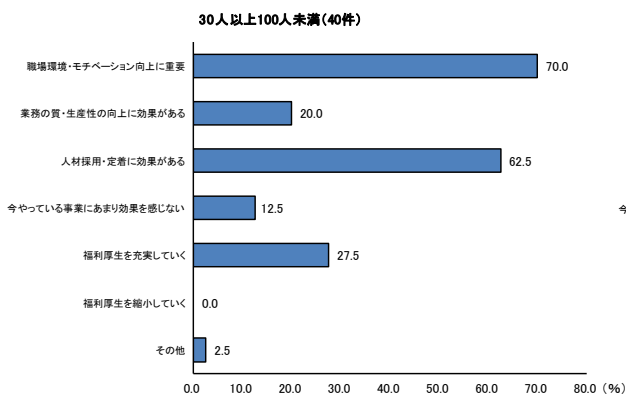
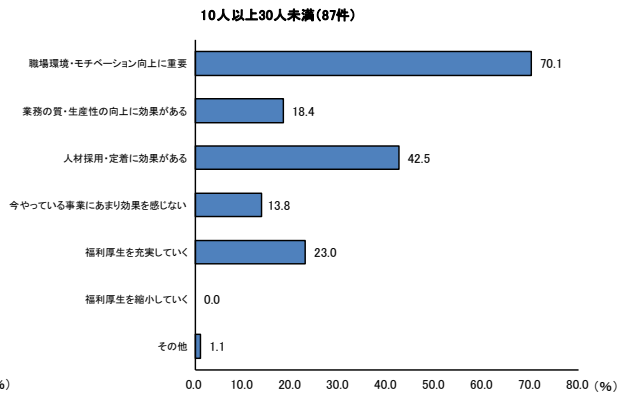
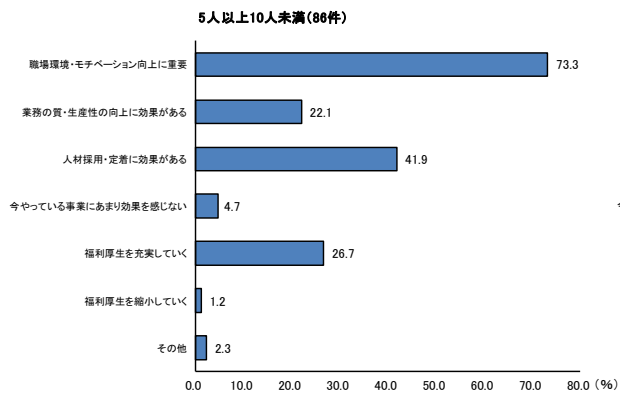
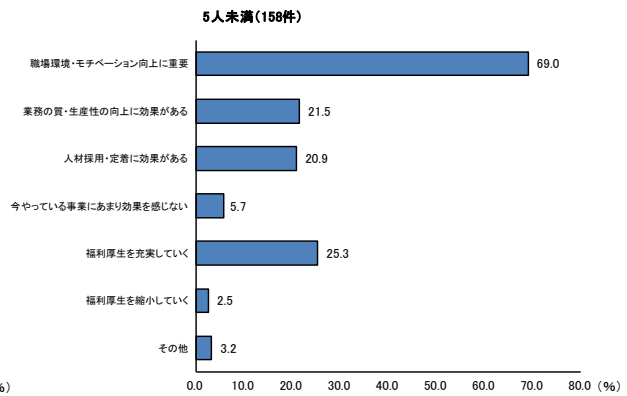
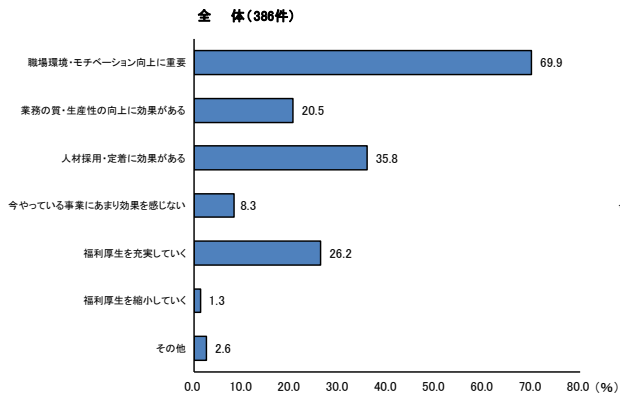


【従業員規模別】

福利厚生事業の必要性や効果についてどうお考えですか

(上段:件、下段:%)

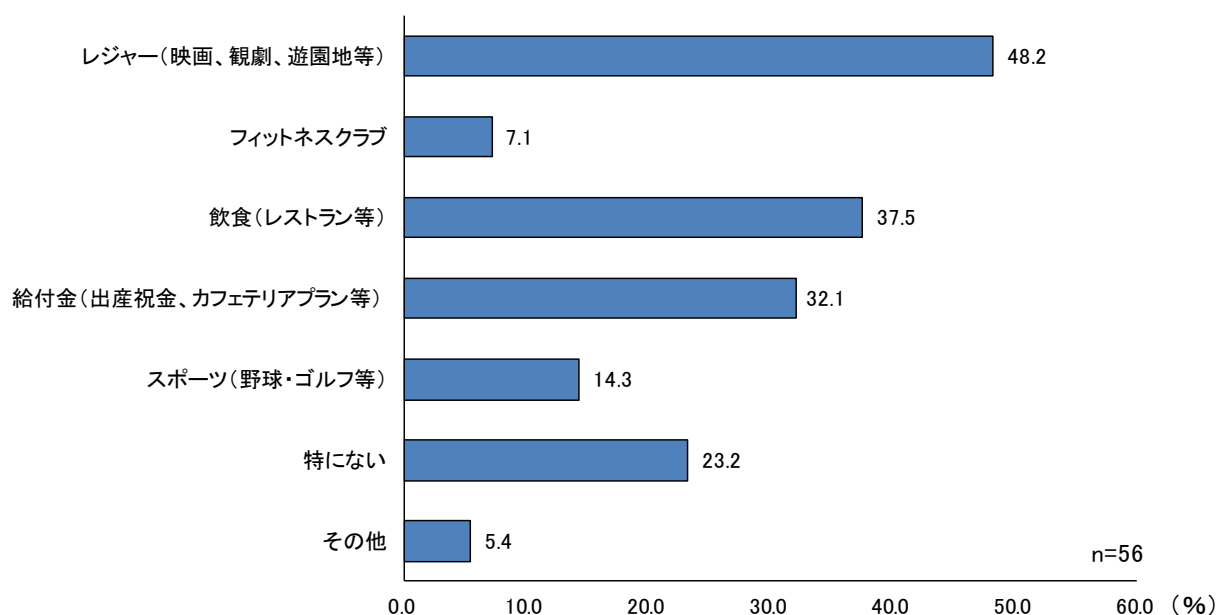
		全 体	職場環境・モチベーション向上に重要	業務の質・生産性の向上に効果がある	人材採用・定着に効果がある	今やっている事業にあまり効果を感じない	福利厚生を充実していく	福利厚生を縮小していく	その他
全 体		386 —	270 69.9	79 20.5	138 35.8	32 8.3	101 26.2	5 1.3	10 2.6
従業員数	5人未満	158 —	109 69.0	34 21.5	33 20.9	9 5.7	40 25.3	4 2.5	5 3.2
	5人以上10人未満	86 —	63 73.3	19 22.1	36 41.9	4 4.7	23 26.7	1 1.2	2 2.3
	10人以上30人未満	87 —	61 70.1	16 18.4	37 42.5	12 13.8	20 23.0	0 0.0	1 1.1
	30人以上100人未満	40 —	28 70.0	8 20.0	25 62.5	5 12.5	11 27.5	0 0.0	1 2.5
	100人以上	9 —	7 77.8	1 11.1	5 55.6	1 11.1	5 55.6	0 0.0	1 11.1



問 4. よく利用されているサービス、利用してみたいサービスはありますか（〇はいくつでも）

よく利用されているサービス、利用してみたいサービスについては、全体では「レジャー（映画、観劇、遊園地等）」が48.2%と最も高く、次いで「飲食（レストラン等）」が37.5%、「給付金（出産祝金、カフェテリアプラン等）」が32.1%となった。

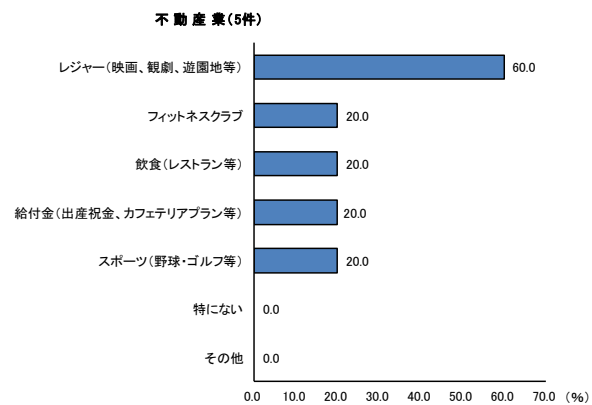
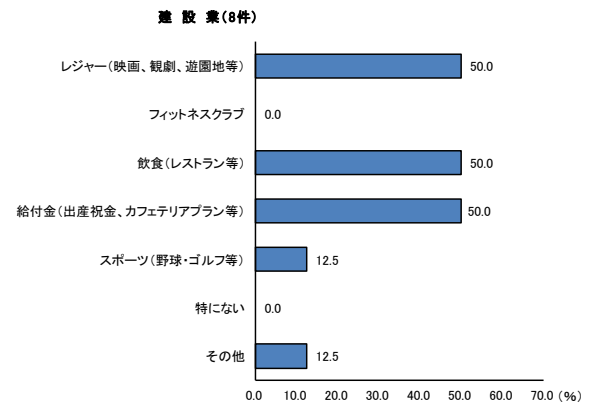
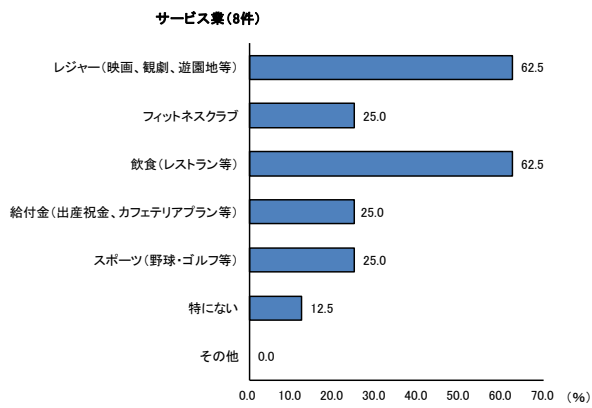
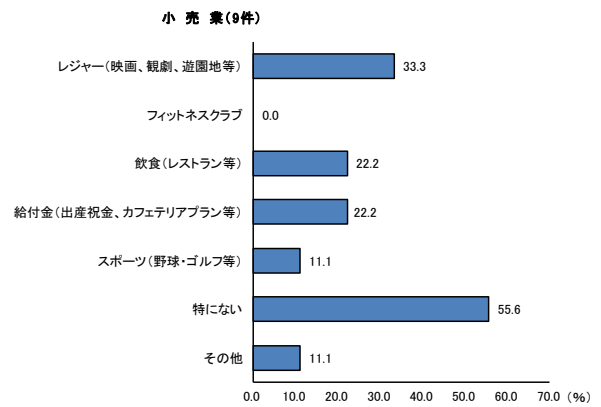
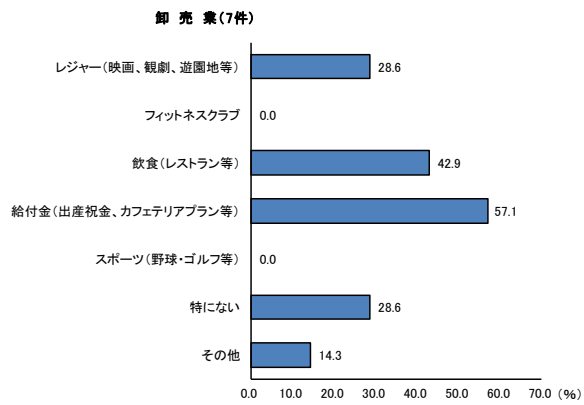
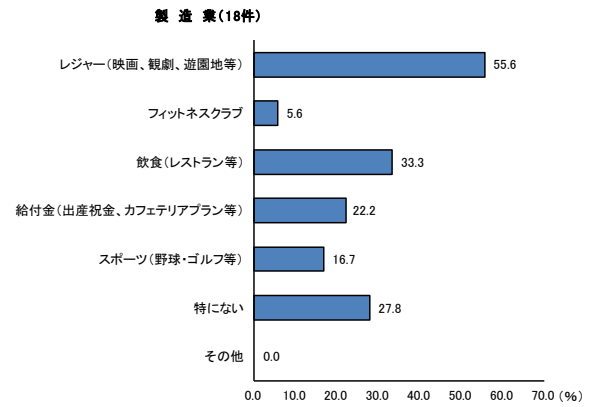
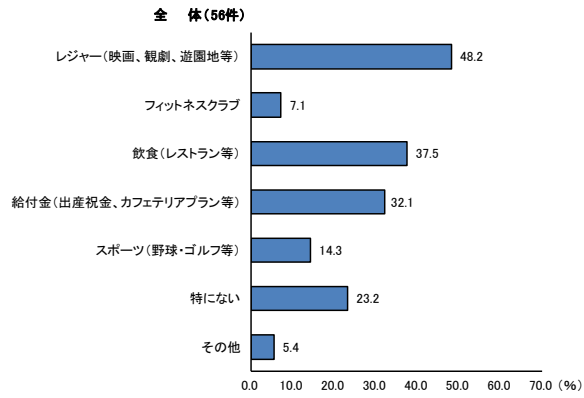
業種別にみると、製造業・不動産業では「レジャー（映画、観劇、遊園地等）」が最も高く、卸売業では「給付金（出産祝金、カフェテリアプラン等）」が、小売業では「特にない」がそれぞれ最も高くなっている。



【その他の意見】

- バスハイク(卸売業)
- 日帰り温泉施設等利用補助券(小売業)
- ショッピングの割引(建設業)

【業種別】



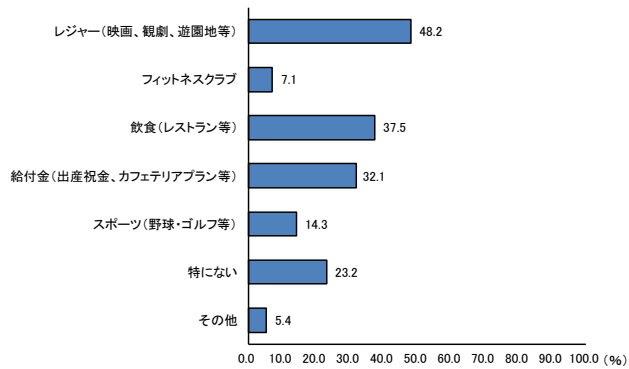
【従業員規模別】

よく利用されているサービス、利用してみたいサービスはありますか

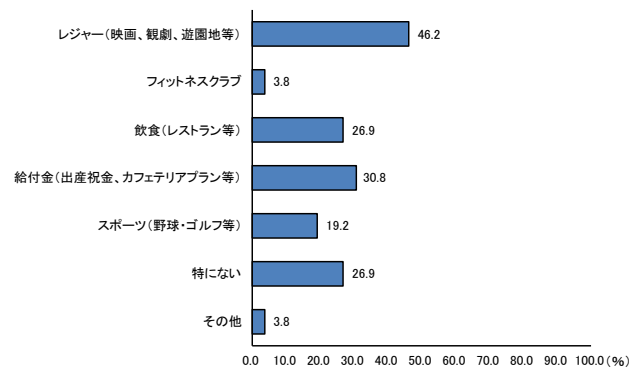
(上段:件、下段:%)

		全 体	レジャー(映画、観劇、遊園地等)	フィットネスクラブ	飲食(レストラン等)	給付金(出産祝金、カフェテリアプラン等)	スポーツ(野球・ゴルフ等)	特にない	その他
全 体		56 —	27 48.2	4 7.1	21 37.5	18 32.1	8 14.3	13 23.2	3 5.4
従業員数	5人未満	26 —	12 46.2	1 3.8	7 26.9	8 30.8	5 19.2	7 26.9	1 3.8
	5人以上10人未満	8 —	7 87.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5
	10人以上30人未満	15 —	5 33.3	1 6.7	7 46.7	5 33.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7
	30人以上100人未満	3 —	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	100人以上	3 —	2 66.7	1 33.3	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

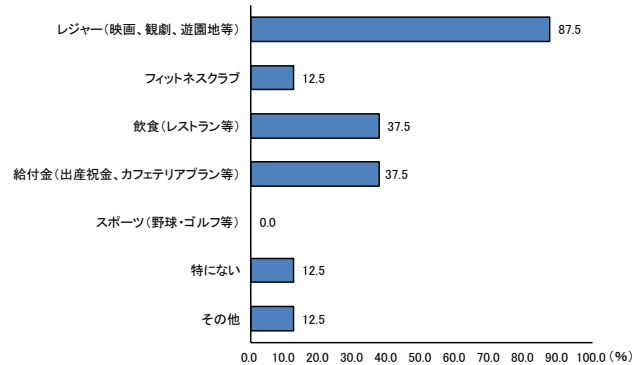
全 体(56件)



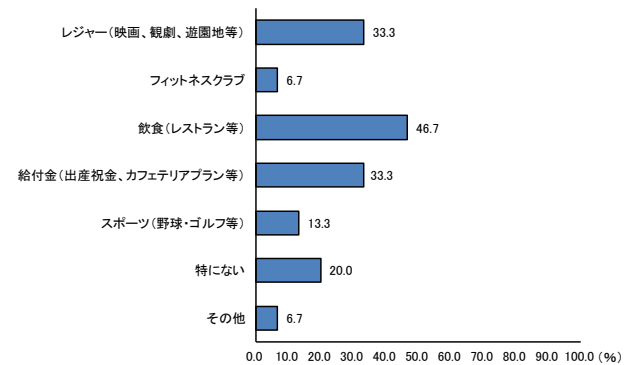
5人未満(26件)



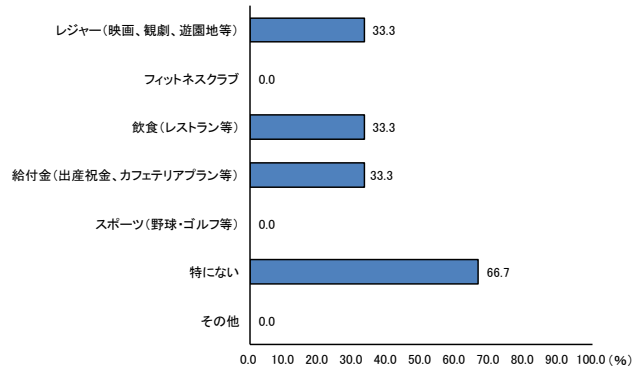
5人以上10人未満(8件)



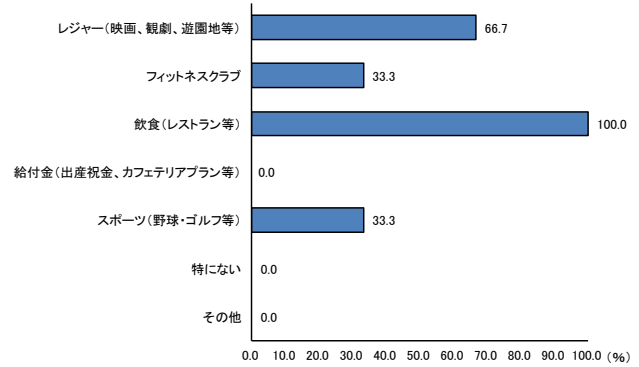
10人以上30人未満(15件)



30人以上100人未満(3件)



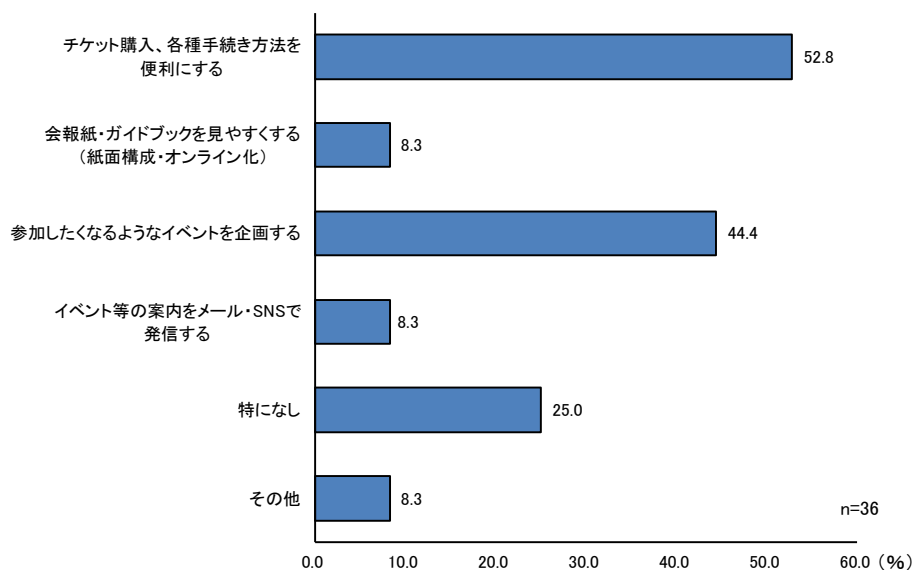
100人以上(3件)



問 5. 共済会事業で改善してもらいたいものはありますか（〇はいくつでも）

共済会事業で改善してもらいたいものについては、全体では「チケット購入、各種手続き方法を便利にする」が52.8%と最も高く、次いで「参加したくなるようなイベントを企画する」が44.4%、「特になし」が25.0%となった。

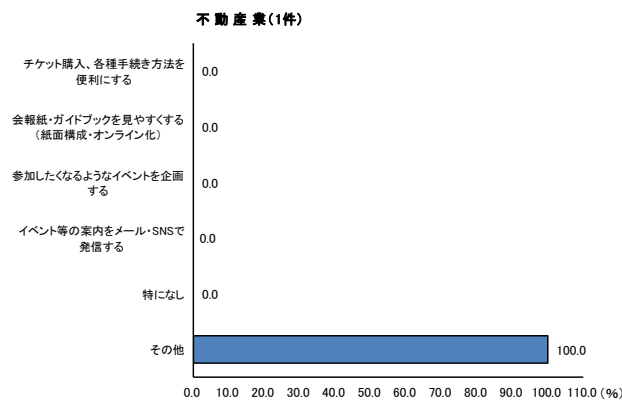
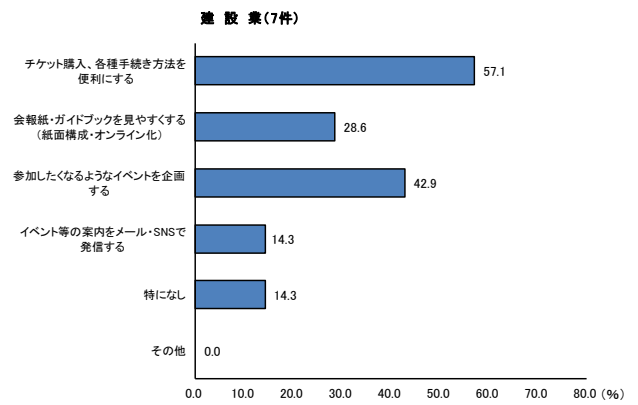
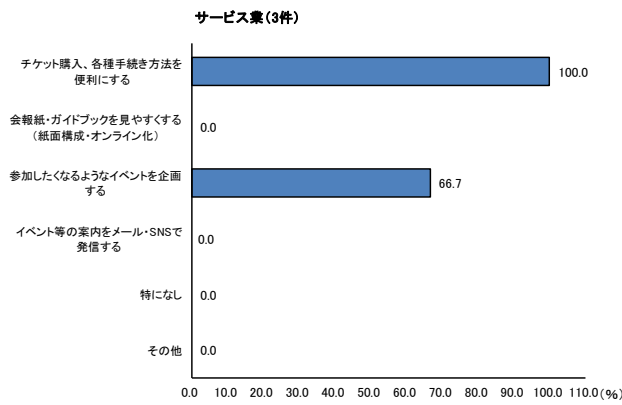
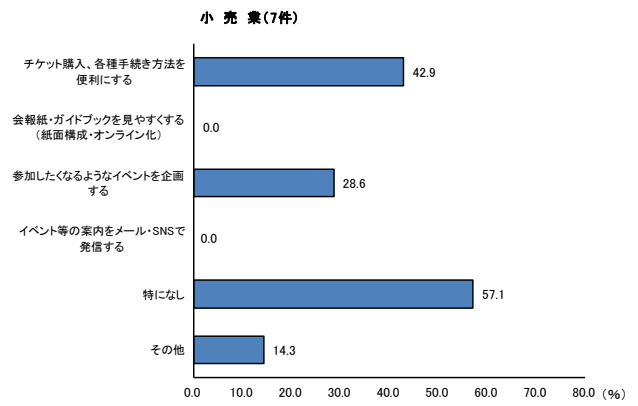
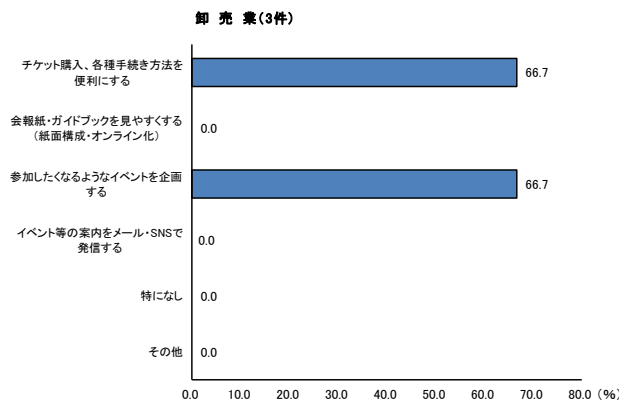
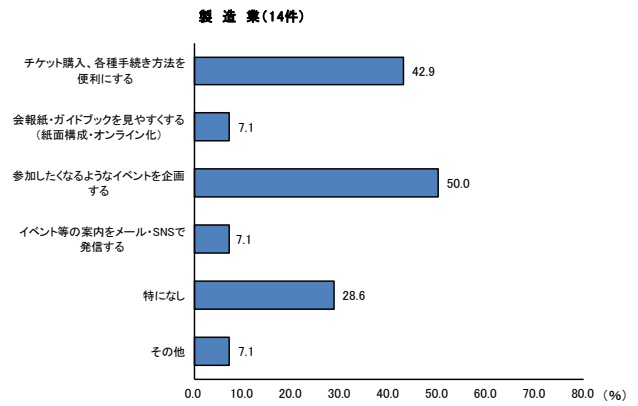
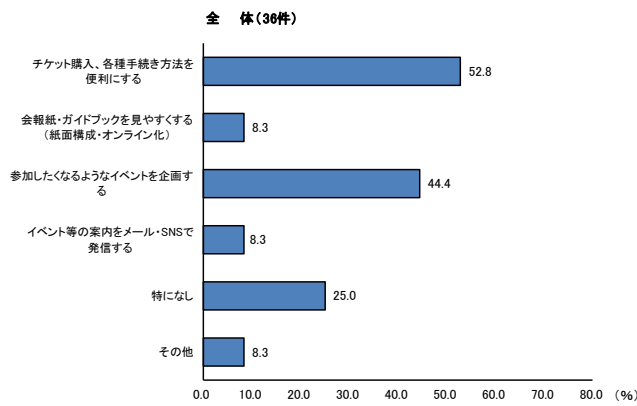
業種別にみると、製造業では「参加したくなるようなイベントを企画する」が、建設業では「チケット購入、各種手続き方法を便利にする」がそれぞれ5割以上で最も高くなっている。



【その他の意見】

- 観劇や映画等のチケットの種類が少なくなっている様に感じた。個人的に美術観賞の前売りは、次々と出してもらいたい(製造業)
- 買物情報、情報(小売業)
- 手続き期間が半年と短すぎる(不動産業)

【業種別】

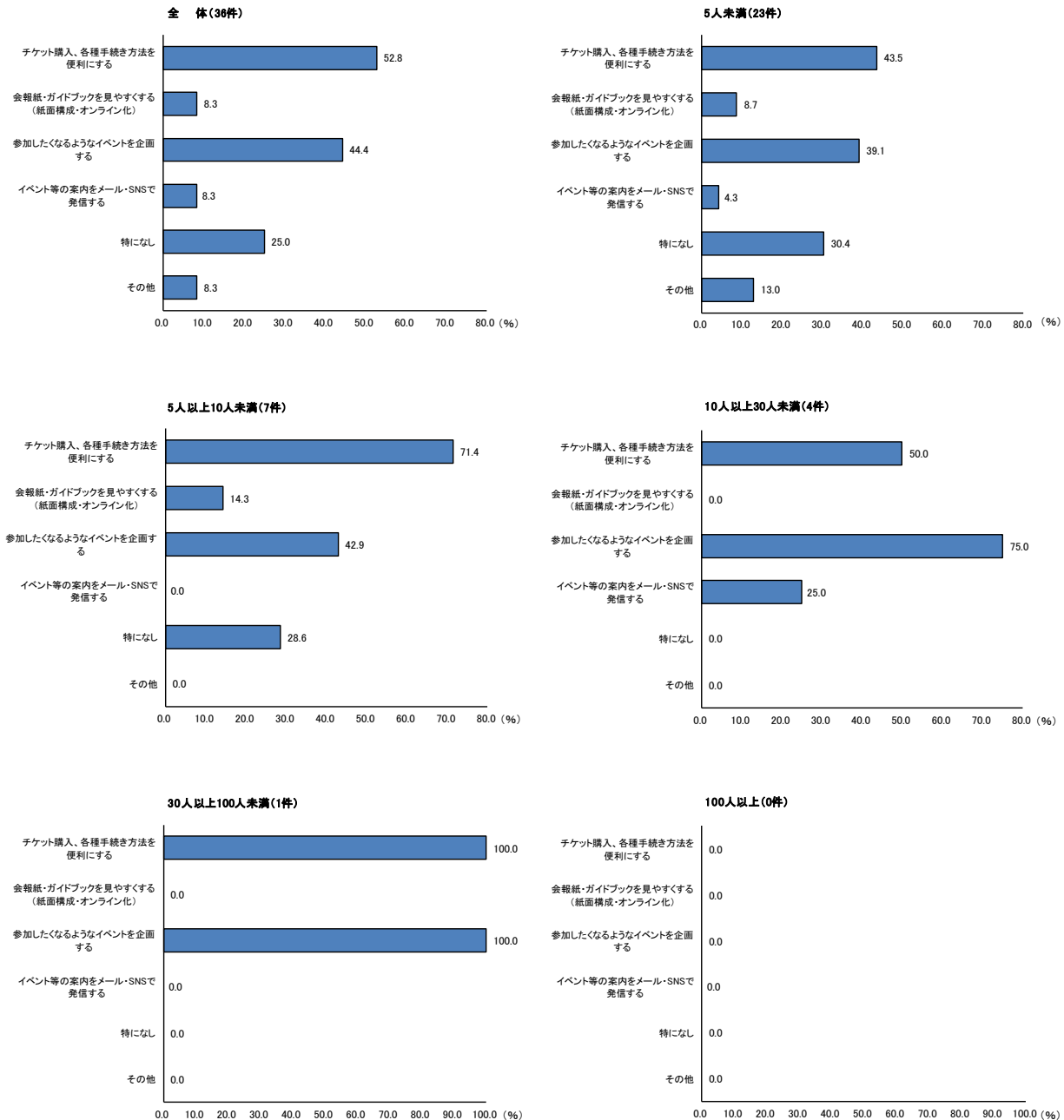


【従業員規模別】

共済会事業で改善してもらいたいものはありますか

(上段: 件、下段: %)

		全 体	チケット購入、各種手続き方法を 便利にする	会報紙・ガイドブックを見 やすくする (紙面構成・オンライン 化)	参加したくなるようなイベ ントを企画 する	イベント等の案内をメール・SNSで発 信する	特になし	その他
全 体		36 —	19 52.8	3 8.3	16 44.4	3 8.3	9 25.0	3 8.3
従 業 員 数	5人未満	23 —	10 43.5	2 8.7	9 39.1	1 4.3	7 30.4	3 13.0
	5人以上10人未満	7 —	5 71.4	1 14.3	3 42.9	0 0.0	2 28.6	0 0.0
	10人以上30人未満	4 —	2 50.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	30人以上100人未満	1 —	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	100人以上	0 —	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



中小企業景況調査 転記表

製造業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
項目																					
業況	良い	16.4	9.3	13.7	5.6	13.7	9.8	10.3	5.8	14.3	3.8	8.3	8.2	10.2	4.9	15.5	4.6	13.8	7.3		5.5
	普通	40.4	43.6	42.9	52.0	42.9	46.6	44.2	48.4	34.8	50.0	40.8	41.8	40.7	46.8	41.7	52.6	40.1	49.4		50.6
	悪い	43.2	47.1	43.5	42.4	43.5	43.6	45.5	45.8	50.9	46.3	51.0	50.0	49.2	48.3	42.9	42.9	46.1	43.3		43.9
	D-I	-26.8	-37.8	-29.8	-36.8	-29.8	-33.8	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-42.7	-41.8	-39.0	-43.4	-27.4	-38.3	-32.3	-36.0	-4.9	-38.4
売上額	増加	16.6	9.7	21.6	12.4	15.5	16.8	21.2	8.8	16.0	9.8	16.7	9.9	13.6	8.8	18.3	13.7	15.5	13.7		13.5
	変わらず	37.0	47.4	37.1	40.7	41.6	44.9	39.4	51.6	34.4	48.5	35.8	43.8	42.9	50.2	45.6	54.9	42.3	43.5		46.0
	減少	46.4	42.9	41.3	46.9	42.9	38.3	39.4	39.6	49.7	41.7	47.5	46.3	43.5	41.0	36.1	31.4	42.3	42.9		40.5
	D-I	-29.8	-33.2	-19.7	-34.5	-27.4	-21.5	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-30.8	-36.4	-29.9	-32.2	-17.8	-17.7	-26.8	-29.2	-9.0	-27.0
受注残	増加	14.0	11.6	14.0	7.3	11.4	11.6	13.0	8.4	15.0	8.8	9.5	8.8	10.4	7.9	16.4	10.4	13.7	12.3		8.2
	変わらず	45.5	52.9	45.1	45.8	47.5	45.1	42.2	52.3	43.1	50.9	41.5	50.9	53.8	49.5	46.1	56.1	53.4	49.1		55.1
	減少	40.4	35.5	40.9	46.9	41.1	43.3	44.7	39.4	41.9	40.3	49.0	40.3	35.8	42.6	37.6	33.5	32.9	38.7		36.7
	D-I	-26.4	-23.9	-26.9	-39.6	-29.7	-31.7	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	-39.5	-31.5	-25.4	-34.7	-21.2	-23.1	-19.2	-26.4	2.0	-28.5
収益	増加	11.1	8.1	13.4	8.9	13.2	9.2	18.5	10.3	15.6	8.2	13.4	8.2	10.2	10.8	18.9	12.1	15.2	11.0		11.8
	変わらず	36.1	44.2	40.9	40.8	40.9	44.8	37.7	39.7	36.9	41.8	35.8	48.4	39.2	40.2	40.9	50.6	40.9	42.9		41.6
	減少	52.8	47.7	45.7	50.3	45.9	46.0	43.8	50.0	47.5	50.0	50.7	43.4	50.6	49.0	40.2	37.4	43.9	46.0		46.6
	D-I	-41.7	-39.6	-32.3	-41.4	-32.7	-36.8	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-37.3	-35.2	-40.4	-38.2	-21.3	-25.3	-28.7	-35.0	-7.4	-34.8
販売価格	上昇	24.7	20.9	28.0	21.9	19.5	16.7	20.4	17.3	13.9	15.5	14.7	12.1	14.9	18.1	18.3	16.7	14.6	19.8		16.0
	変わらず	61.8	68.0	59.1	62.9	72.3	67.9	68.5	73.7	75.3	70.2	75.5	75.8	77.1	71.6	73.2	77.0	74.4	70.4		73.6
	下降	13.5	11.0	12.8	15.2	8.2	15.4	11.1	9.0	10.8	14.3	9.8	12.1	8.0	10.3	8.5	6.3	11.0	9.9		10.4
	D-I	11.2	9.9	15.2	6.7	11.3	1.3	9.3	8.3	3.1	1.2	4.9	0.0	6.9	7.8	9.8	10.4	3.6	9.9	-6.2	5.6
価格 原材料	上昇	78.4	69.5	65.0	69.1	58.0	51.3	53.4	58.7	44.1	50.0	63.7	41.8	65.5	60.3	63.6	62.4	54.9	59.0		53.5
	変わらず	17.0	25.7	31.9	26.9	38.2	45.6	44.7	36.8	53.4	48.1	32.4	55.7	34.5	35.8	34.0	35.9	40.7	38.5		42.1
	下降	4.5	4.8	3.1	4.0	3.8	3.1	1.9	4.5	2.5	1.9	3.9	2.5	0.0	3.9	2.5	1.8	4.3	2.5		4.4
	D-I	73.9	64.7	61.9	65.1	54.2	48.2	51.5	54.2	41.6	48.1	59.8	39.3	65.5	56.4	61.1	60.6	50.6	56.5	-10.5	49.1
在庫 原材料	過剰	19.9	13.8	15.1	15.2	15.1	13.5	10.1	13.9	14.6	8.4	10.0	10.2	13.5	9.0	11.6	11.7	10.1	10.5		7.1
	適正	71.9	74.9	79.2	74.3	77.4	80.8	83.5	79.7	77.2	86.4	86.1	82.2	81.9	86.6	84.8	83.6	82.4	85.8		85.9
	不足	8.2	11.4	5.7	10.5	7.5	5.8	6.3	6.3	8.2	5.2	4.0	7.6	4.7	4.5	3.7	4.7	7.5	3.7		7.1
	D-I	11.7	2.4	9.4	4.7	7.6	7.7	3.8	7.6	6.4	3.2	6.0	2.6	8.8	4.5	7.9	7.0	2.6	6.8	-5.3	0.0
資金繰り	楽	4.9	3.4	6.0	5.0	7.5	6.7	7.9	5.6	7.4	6.2	7.3	5.6	7.3	6.3	9.8	7.5	7.8	8.0		7.4
	変わらず	63.7	62.1	69.6	58.7	69.6	63.4	64.2	68.3	71.2	63.4	65.4	67.3	59.3	62.4	61.0	59.2	62.0	61.3		61.3
	苦しい	31.3	34.5	24.4	36.3	23.0	29.9	27.9	26.1	21.5	30.4	27.3	27.2	33.3	31.2	29.3	33.3	30.1	30.7		31.3
	D-I	-26.4	-31.1	-18.4	-31.3	-15.5	-23.2	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	-20.0	-21.6	-26.0	-24.9	-19.5	-25.8	-22.3	-22.7	-2.8	-23.9
同期比	売上額	-4.3		-18.4		-16.7		-19.6		-26.5		-23.4		-25.3		-17.7		-17.7			
	収益	-28.4		-25.9		-28.0		-28.8		-30.5		-34.8		-36.2		-30.3		-29.0			
雇用 借入金	前年比																				
	前年比残業時間	-7.8	-11.0	-12.1	-14.3	-13.4	-16.3	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6	-17.6	-11.8	-22.6	-14.8	-12.3	-16.8	-6.1	-13.5		-10.4
	人手	-26.6	-26.7	-24.5	-25.4	-21.5	-23.5	-22.5	-22.2	-19.8	-24.6	-18.1	-23.0	-16.2	-19.1	-20.1	-21.0	-13.9	-20.9		-16.5
	借入をした(%)	44.4	22.7	38.6	16.4	35.8	16.8	33.5	14.4	25.2	13.8	31.5	13.9	33.1	16.8	31.7	15.6	29.1	18.1		15.5
借入金	借入をしな(%)	55.6	77.3	61.4	83.6	64.2	83.2	66.5	85.6	74.8	86.2	68.5	86.1	66.9	83.2	68.3	84.4	70.9	81.9		84.5
	借入難易度	2.9		9.1		1.3		4.4		5.8		5.6		5.9		8.7		6.2			
有効回答事業所数		183		168		162		165		164		206		178		169		168			

製造業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-7.4	-14.6	-8.6	-11.7	-10.1	-9.9	-10.1	-10.2	-3.2	-12.7	-8.5	-5.7	-8.1	-8.6	-3.7	-9.2	-4.2	-5.7		-6.2
	実施した	43.4	50.9	43.8	54.3	42.9	42.3	54.8	42.3	47.7	53.3	43.0	40.4	37.5	37.2	52.8	35.9	45.0	47.2		40.6
	事業用地:建物	5.7	6.4	1.9	5.7	7.1	6.7	6.7	7.2	6.5	10.5	7.4	6.1	4.7	6.8	7.2	4.7	4.7	6.5		1.6
	機械・設備の新・増設	18.9	27.3	20.0	15.2	14.3	12.5	21.2	18.9	18.7	19.0	16.1	20.2	11.7	16.9	9.6	14.8	12.4	14.6		13.3
	機械・設備の更改	17.0	25.5	22.9	28.6	22.3	23.1	18.3	21.6	12.1	21.9	20.1	18.2	17.2	16.9	20.0	15.6	20.9	23.6		21.1
	事務機器	18.9	11.8	12.4	16.2	8.0	10.6	16.3	9.0	20.6	11.4	12.8	10.1	13.3	9.5	17.6	6.3	21.7	8.9		12.5
	車両	12.3	10.0	13.3	21.9	14.3	13.5	12.5	8.1	15.0	20.0	9.4	8.1	6.3	10.1	14.4	8.6	9.3	12.2		12.5
	その他	1.9	0.0	1.9	1.9	3.6	2.9	3.8	3.6	5.6	2.9	2.0	4.0	1.6	0.7	2.4	1.6	0.8	2.4		0.8
	実施しない	56.6	49.1	56.2	45.7	57.1	57.7	45.2	57.7	52.3	46.7	57.0	59.6	62.5	62.8	47.2	64.1	55.0	52.8		59.4
	売上の停滞・減少	42.3		47.8		51.9		47.5		51.0		56.4		56.3		46.9		48.1			
経営上の 問題点 (%)	人手不足	21.7		25.5		22.5		21.9		23.2		18.6		23.3		24.7		20.0			
	大手企業・大型店との競争の激化	0.6		3.1		0.6		1.3		2.6		3.4		1.1		1.2		1.3			
	同業者間の競争の激化	5.7		6.2		3.8		5.0		7.7		6.4		5.7		6.8		6.9			
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.6		1.3		0.0		1.3		0.5		0.0		0.6		1.3			
	合理化の不足	1.1		3.1		1.9		2.5		4.5		2.9		1.1		3.1		4.4			
	利幅の縮小	17.7		14.9		21.3		17.3		23.9		16.2		20.5		24.7		17.5			
	小口注文・多頻度配送の増加	2.9		4.3		3.1		1.9		1.9		2.9		4.5		4.3		3.1			
	販売商品の不足	0.0		1.2		0.0		0.6		0.0		2.0		0.0		1.2		0.6			
	原材料価格・材料価格の上昇	64.0		56.5		48.1		46.9		49.0		59.3		58.5		46.3		45.6			
	販売納入先からの値下げ要請	2.3		1.2		3.1		1.3		0.6		1.5		1.7		0.6		0.6			
	仕入先からの値上げ要請	24.0		14.3		11.9		10.6		8.4		15.2		8.5		13.6		9.4			
	人件費の増加	13.1		13.0		23.1		21.3		25.2		21.1		23.3		29.6		21.9			
	人件費以外の経費増加	17.7		15.5		11.9		12.5		8.4		11.3		8.5		8.6		10.6			
	工場・店舗の狭小・老朽化	6.9		9.9		10.6		13.8		11.6		8.3		8.0		11.1		11.3			
	生産能力・技術力の不足	8.6		10.6		4.4		10.6		11.6		5.9		8.0		4.9		5.0			
	取引先の減少	14.3		14.9		14.4		14.4		14.8		14.2		10.8		17.9		20.0			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.5		0.0		0.0		0.0			
	下請の確保難	8.6		9.9		8.8		8.8		7.7		6.9		10.2		8.0		7.5			
	駐車場・資材置場の確保難	1.7		2.5		0.6		1.3		0.6		1.0		0.6		1.2		0.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.1		0.0		0.6		1.3		1.3		0.5		1.7		1.2		1.9			
	その他	2.9		1.2		2.5		1.9		2.6		1.5		1.1		0.6		1.9			
	問題なし	0.6		3.1		6.3		3.8		3.9		3.4		2.3		4.9		6.9			
重点経営 施策 (%)	販路を広げる	37.5		37.7		31.8		38.1		34.4		42.8		37.2		34.4		36.9			
	経費を削減する	40.9		33.3		35.7		34.2		34.4		37.3		32.6		35.7		37.5			
	品揃えを充実させる	1.7		0.6		0.0		1.3		3.2		1.5		0.6		0.0		0.6			
	情報力・宣伝・広報を強化する	8.0		7.5		6.5		7.1		5.2		6.5		7.6		10.4		10.6			
	新製品・技術を開発する	16.5		16.4		18.8		12.3		15.6		17.9		17.4		16.9		16.9			
	新しい工法を導入する	1.1		5.0		4.5		5.8		4.5		4.0		3.5		6.5		3.1			
	新しい事業を始める	8.0		5.0		3.9		7.1		6.5		5.0		7.0		3.9		5.0			
	不採算部門を整理・縮小する	6.8		5.0		3.9		5.8		4.5		5.0		4.7		3.9		5.6			
	店舗・設備を改装する	1.1		1.3		1.9		2.6		0.6		0.5		1.7		0.6		0.6			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	13.6		13.2		13.0		11.6		14.3		13.4		11.6		12.3		16.3			
	営業時間を延長する	0.0		0.6		1.9		0.6		1.3		1.0		1.2		0.0		1.3			
	売れ筋商品を取扱う	1.1		1.9		2.6		3.2		1.9		4.5		2.3		1.3		1.9			
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0			
	機械化を推進する	8.5		3.8		5.8		9.0		11.0		8.5		8.7		9.7		6.3			
	技術力を強化する	19.9		24.5		22.7		22.6		20.1		23.4		21.5		21.4		19.4			
	人材を確保する	26.1		30.8		28.6		24.5		31.8		22.4		26.7		27.3		24.4			
	パート化を図る	2.8		1.3		2.6		2.6		1.9		2.0		3.5		0.6		0.0			
	教育訓練を強化する	3.4		3.1		3.2		3.9		5.2		4.5		5.8		2.6		4.4			
	労働条件を改善する	5.1		7.5		3.2		3.2		7.8		5.0		5.2		6.5		5.0			
	工場・機械を増設・移転する	4.5		3.8		5.2		4.5		4.5		5.5		3.5		3.2		3.1			
	流通経路の見直しをする	1.1		0.0		2.6		0.6		1.3		1.5		0.6		1.9		0.6			
	取引先を支援する	1.1		1.9		1.3		0.6		1.9		1.0		2.9		3.2		0.6			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		1.3		1.3		0.6		0.6		1.0		0.0		0.0		0.6			
	不動産の有効活用を図る	3.4		3.1		1.9		1.3		1.9		2.5		1.7		2.6		2.5			
	その他	0.6		0.0		1.3		0.0		0.6		1.5		0.6		0.6		2.5			
	特になし	9.7		12.6		16.9		11.6		11.7		9.0		11.0		13.0		13.8			
有効回答事業所数		183		168		162		165		164		206		178		169		168			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年1月～3月期

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
項目																					
業況	良い	14.4	4.4	11.0	9.8	13.0	7.1	9.6	9.9	10.2	5.6	12.5	8.6	6.7	9.9	7.8	9.4	9.3	8.2		6.0
	普通	37.5	37.4	43.8	44.1	39.0	51.4	45.2	40.8	43.9	50.0	44.6	50.5	43.3	49.5	45.1	53.0	46.5	43.3		53.0
	悪い	48.1	58.2	45.2	46.1	48.1	41.4	45.2	49.3	45.9	44.4	42.9	40.9	50.0	40.5	47.1	37.6	44.2	48.5		41.0
	D-I	-33.7	-53.8	-34.2	-36.3	-35.1	-34.3	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-30.4	-32.3	-43.3	-30.6	-39.3	-28.2	-34.9	-40.3	4.4	-35.0
売上額	増加	20.2	7.6	15.1	10.7	24.7	11.3	20.5	12.2	13.4	11.1	20.7	8.5	16.8	16.8	19.6	18.2	16.1	11.1		11.8
	変わらず	30.8	41.3	41.1	43.7	37.7	47.9	38.4	48.6	36.1	43.1	44.1	51.1	38.7	48.7	42.2	44.6	34.5	48.5		45.9
	減少	49.0	51.1	43.8	46.9	37.7	40.8	41.1	39.2	50.5	45.8	35.1	40.4	44.5	34.5	38.2	37.2	49.4	40.4		42.4
	D-I	-28.8	-43.5	-28.7	-34.9	-13.0	-29.5	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-14.4	-31.9	-27.7	-17.7	-18.6	-19.0	-33.3	-29.3	-14.7	-30.6
収益	増加	17.0	6.6	13.9	8.0	21.1	15.5	22.2	9.6	14.4	8.3	12.5	5.4	9.3	11.6	13.9	15.1	8.4	6.1		8.4
	変わらず	32.0	41.8	36.1	44.0	35.5	42.3	30.6	42.5	35.1	38.9	43.8	49.5	38.1	47.3	40.6	42.9	41.0	42.4		50.6
	減少	51.0	51.6	50.0	48.0	43.4	42.3	47.2	47.9	50.5	52.8	43.8	45.2	52.5	41.1	45.5	42.0	50.6	51.5		41.0
	D-I	-34.0	-45.0	-36.1	-40.0	-22.3	-26.8	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-31.3	-39.8	-43.2	-29.5	-31.6	-26.9	-42.2	-45.4	-10.6	-32.6
販売価格	上昇	40.6	35.9	35.7	29.7	37.7	26.1	34.3	33.3	26.0	31.4	33.0	26.1	33.6	27.7	36.3	39.2	33.7	27.3		30.1
	変わらず	41.6	44.6	54.3	54.5	50.6	60.9	58.6	53.3	61.5	57.1	57.1	66.3	56.3	61.6	52.9	53.3	54.2	61.6		60.2
	下降	17.8	19.6	10.0	15.8	11.7	13.0	7.1	13.3	12.5	11.4	9.8	7.6	10.1	10.7	10.8	7.5	12.0	11.1		9.6
	D-I	22.8	16.3	25.7	13.9	26.0	13.1	27.2	20.0	13.5	20.0	23.2	18.5	23.5	17.0	25.5	31.7	21.7	16.2	-3.8	20.5
仕入価格	上昇	60.0	67.0	60.3	55.0	67.6	56.1	56.5	58.9	60.8	47.8	69.2	61.3	59.3	63.0	66.7	57.6	58.8	63.9		59.5
	変わらず	26.0	27.3	35.3	36.0	24.3	37.9	37.7	30.1	35.1	46.4	25.2	35.5	28.0	30.6	24.2	34.7	29.4	28.9		33.3
	下降	14.0	5.7	4.4	9.0	8.1	6.1	5.8	11.0	4.1	5.8	5.6	3.2	12.7	6.5	9.1	7.6	11.8	7.2		7.1
	D-I	46.0	61.3	55.9	46.0	59.5	50.0	50.7	47.9	56.7	42.0	63.6	58.1	46.6	56.5	57.6	50.0	47.0	56.7	-10.6	52.4
在庫	過剰	12.4	10.8	25.4	8.0	14.5	13.3	21.7	10.3	17.2	18.8	17.0	14.3	15.2	15.1	14.0	11.6	18.4	13.0		16.0
	適正	67.4	71.1	68.3	70.5	76.8	81.7	72.5	77.9	75.3	73.9	71.7	76.9	74.1	74.5	71.0	76.8	69.7	71.7		72.0
	不足	20.2	18.1	6.3	21.6	8.7	5.0	5.8	11.8	7.5	7.2	11.3	8.8	10.7	10.4	15.1	11.6	11.8	15.2		12.0
	D-I	-7.8	-7.3	19.1	-13.6	5.8	8.3	15.9	-1.5	9.7	11.6	5.7	5.5	4.5	4.7	-1.1	0.0	6.6	-2.2	7.7	4.0
資金繰り	楽	2.9	3.3	9.7	2.0	8.0	8.5	6.9	6.8	9.4	5.6	6.3	6.4	4.2	6.3	7.9	5.8	1.2	8.1		1.2
	変わらず	72.5	64.8	69.4	73.3	64.0	70.4	69.4	62.2	62.5	69.4	72.3	61.7	70.6	70.5	63.4	72.7	71.4	65.7		70.2
	苦しい	24.5	31.9	20.8	24.8	28.0	21.1	23.6	31.1	28.1	25.0	21.4	31.9	25.2	23.2	28.7	21.5	27.4	26.3		28.6
	D-I	-21.6	-28.6	-11.1	-22.8	-20.0	-12.6	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-15.1	-25.5	-21.0	-16.9	-20.8	-15.7	-26.2	-18.2	-5.4	-27.4
同期前年比	売上額	-4.0		-19.8		-17.8		-25.4		-16.9		-13.1		-24.6		-16.2		-21.7			
	収益	-22.7		-38.6		-31.9		-32.9		-28.5		-30.1		-40.1		-39.2		-39.5			
	販売価格	36.4		30.5		35.6		31.9		34.0		21.1		24.2		27.7		31.8			
雇用	前年比残業時間	-7.1	-13.0	-8.6	-10.3	-13.5	-13.0	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3	-14.1	-15.7	-13.6	-15.0	-8.0	-7.7	-8.3	-9.9		-7.1
	人手	-6.0	-11.2	-13.1	-7.1	-22.9	-13.0	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6	-25.6	-10.5	-16.1	-26.5	-16.7	-21.2	-16.9	-18.6		-19.5
借入金	借入をした(%)	40.6	22.2	32.4	8.4	37.3	14.7	38.9	8.7	31.6	10.0	27.0	17.5	33.1	14.4	23.8	11.2	11.9	5.2		8.1
	借入をしない(%)	59.4	77.8	67.6	91.6	62.7	85.3	61.1	91.3	68.4	90.0	73.0	82.5	66.9	85.6	76.2	88.8	88.1	94.8		91.9
	借入難易度	-3.1		4.4		0.0		4.2		0.0		-0.9		2.5		-5.1		-7.2			
有効回答事業所数		104		73		77		74		99		113		121		102		87			

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
設備	現在の設備	-7.8	-16.2	-7.8	-8.9	-7.6	-7.9	-17.2	-7.7	-8.9	-20.3	-10.1	-9.1	-11.6	-12.1	-6.2	-11.7	-10.8	-7.2		-12.1
投資	実施した	35.1	47.1	34.3	42.1	37.5	29.4	41.7	41.2	33.3	35.4	32.9	39.2	37.6	24.7	33.8	33.3	13.6	31.6		23.1
資金	事業用地・建物	1.8	5.9	5.7	1.8	3.1	8.8	8.3	5.9	2.0	4.2	3.7	2.0	5.9	4.9	3.9	3.6	1.5	3.9		4.6
動向	機械・設備の新・増設	5.3	7.8	5.7	10.5	12.5	2.9	4.2	14.7	3.9	10.4	3.7	0.0	8.2	2.5	6.5	3.6	3.0	2.6		6.2
(%)	機械・設備の更改	3.5	7.8	8.6	7.0	3.1	0.0	6.3	5.9	2.0	4.2	6.1	3.9	5.9	4.9	6.5	2.4	1.5	5.3		1.5
	内 事務機器	24.6	27.5	5.7	14.0	9.4	11.8	18.8	17.6	19.6	10.4	15.9	19.6	15.3	7.4	15.6	13.1	3.0	21.1		4.6
	車両	17.5	29.4	25.7	31.6	18.8	14.7	25.0	8.8	19.6	18.8	17.1	25.5	17.6	14.8	15.6	19.0	10.6	14.5		15.4
	その他	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.4	1.2	1.3	1.2	0.0	2.6		0.0
	実施しない	64.9	52.9	65.7	57.9	62.5	70.6	58.3	58.8	66.7	64.6	67.1	60.8	62.4	75.3	66.2	66.7	86.4	68.4		76.9
経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	45.7		44.8		49.3		53.5		50.0		42.9		50.0		52.5		54.9			
	人手不足	7.4		6.0		16.4		16.9		12.8		15.2		12.3		12.1		11.0			
	大手企業・大型店との競争の激化	0.0		3.0		2.7		1.4		2.1		6.3		4.4		7.1		4.9			
	同業者間の競争の激化	13.8		11.9		21.9		11.3		12.8		12.5		13.2		10.1		15.9			
	流通経路の変化による競争の激化	5.3		4.5		1.4		2.8		2.1		3.6		6.1		5.1		2.4			
	合理化の不足	4.3		1.5		2.7		4.2		3.2		1.8		2.6		6.1		6.1			
	利幅の縮小	35.1		32.8		26.0		26.8		26.6		25.0		21.1		27.3		23.2			
	小口注文・多頻度配送の増加	5.3		6.0		4.1		4.2		3.2		4.5		3.5		3.0		1.2			
	販売商品の不足	7.4		3.0		6.8		4.2		3.2		5.4		7.9		11.1		7.3			
	原材料価格・材料価格の上昇	52.1		49.3		34.2		35.2		38.3		39.3		33.3		33.3		36.6			
	販売納入先からの値下げ要請	3.2		3.0		1.4		0.0		1.1		0.0		2.6		2.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	30.9		22.4		28.8		28.2		19.1		28.6		25.4		23.2		25.6			
	人件費の増加	9.6		11.9		11.0		9.9		13.8		18.8		12.3		12.1		17.1			
	人件費以外の経費増加	9.6		9.0		9.6		9.9		13.8		8.9		7.9		7.1		12.2			
	工場・店舗の狭小・老朽化	2.1		4.5		5.5		4.2		3.2		3.6		6.1		2.0		2.4			
	生産能力・技術力の不足	2.1		3.0		1.4		1.4		0.0		1.8		0.9		1.0		0.0			
	取引先の減少	23.4		20.9		31.5		14.1		29.8		20.5		23.7		28.3		32.9			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0			
	下請の確保難	3.2		1.5		4.1		2.8		2.1		2.7		1.8		2.0		1.2			
	駐車場・資材置場の確保難	1.1		0.0		0.0		1.4		1.1		0.9		2.6		1.0		2.4			
	大手企業・工場の縮小・撤退	5.3		4.5		4.1		3.2		3.2		1.8		0.0		3.0		0.0			
	その他	3.2		4.5		2.7		7.0		1.1		4.5		1.8		1.0		1.2			
	問題なし	1.1		7.5		4.1		2.8		5.3		4.5		5.3		5.1		3.7			
重点経営 施策 (%)	販路を広げる	57.4		51.4		62.0		54.9		53.8		53.2		47.4		47.9		45.8			
	経費を節減する	38.3		38.6		36.6		39.4		40.9		38.7		31.6		39.6		45.8			
	品揃えを充実させる	8.5		7.1		9.9		5.6		8.6		11.7		8.8		14.6		14.5			
	情報力・宣伝・広報を強化する	12.8		11.4		14.1		12.7		14.0		14.4		10.5		13.5		8.4			
	新製品・技術を開発する	7.4		7.1		9.9		7.0		9.7		9.9		10.5		5.2		7.2			
	新しい工法を導入する	2.1		1.4		1.4		0.0		1.1		0.9		0.9		2.1		1.2			
	新しい事業を始める	9.6		11.4		8.5		9.9		6.5		9.9		7.9		10.4		8.4			
	不採算部門を整理・縮小する	3.2		7.1		2.8		5.6		5.4		4.5		4.4		5.2		4.8			
	店舗・設備を改装する	1.1		1.4		1.4		0.0		1.1		0.9		1.8		0.0		0.0			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	28.7		28.6		19.7		18.3		19.4		21.6		24.6		28.1		24.1			
	営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		1.0		0.0			
	売れ筋商品を取扱う	7.4		7.1		12.7		12.7		11.8		9.9		10.5		9.4		10.8			
	商店街事業を活性化させる	1.1		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		0.0		0.0			
	機械化を推進する	1.1		1.4		2.8		2.8		1.1		3.6		2.6		3.1		2.4			
	技術力を強化する	6.4		5.7		4.2		4.2		7.5		4.5		3.5		4.2		3.6			
	人材を確保する	9.6		12.9		21.1		18.3		15.1		11.7		16.7		6.3		13.3			
	パート化を図る	1.1		0.0		0.0		1.4		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0			
	教育訓練を強化する	1.1		1.4		4.2		2.8		2.2		0.9		2.6		3.1		2.4			
	労働条件を改善する	3.2		2.9		4.2		1.4		4.3		4.5		2.6		2.1		0.0			
	工場・機械を増設・移転する	1.1		1.4		1.4		0.0		0.0		0.9		0.0		0.0		0.0			
	流通経路の見直しをする	6.4		5.7		2.8		5.6		9.7		5.4		6.1		4.2		3.6			
	取引先を支援する	6.4		4.3		4.2		0.0		2.2		3.6		7.0		5.2		2.4			
	輸入品の取扱いを増やす	1.1		7.1		0.0		2.8		3.2		2.7		2.6		2.1		3.6			
	不動産の有効活用を図る	1.1		1.4		0.0		0.0		1.1		1.8		0.0		1.0		2.4			
	その他	1.1		0.0		2.8		2.8		1.1		0.9		0.0		1.0		0.0			
	特になし	10.6		11.4		4.2		9.9		10.8		9.9		14.9		15.6		9.6			
有効回答事業所数		104		73		77		74		99		113		121		102		87			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和 7 年 1 月～3 月期

小売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
項目																					
業 況	良い	10.0	6.2	12.7	4.6	10.5	7.6	5.5	5.3	7.3	4.7	4.8	5.3	11.1	5.0	11.1	8.0	7.2	9.9		5.1
	普通	36.4	30.9	41.8	40.7	36.8	46.8	37.4	38.2	30.2	31.4	42.3	41.5	38.9	41.6	38.9	43.2	35.1	38.0		43.9
	悪い	53.6	62.9	45.6	54.6	52.6	45.6	57.1	56.6	62.5	64.0	52.9	53.2	50.0	53.5	50.0	48.9	57.7	52.1		51.0
	D-I	-43.6	-56.7	-32.9	-50.0	-42.1	-38.0	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-48.1	-47.9	-38.9	-48.5	-38.9	-40.9	-50.5	-42.2	-11.6	-45.9
売 上 額	増加	11.7	9.4	16.3	7.3	11.7	12.5	9.8	13.2	9.4	8.7	17.1	8.5	18.0	12.6	29.2	13.3	11.2	16.9		8.2
	変わらず	31.5	34.4	38.8	41.8	48.1	47.5	39.1	42.1	32.3	40.2	36.2	43.6	33.7	44.7	30.6	42.2	35.7	32.4		42.3
	減少	56.8	56.3	45.0	46.9	40.3	40.0	51.1	44.7	58.3	51.1	46.7	47.9	48.3	42.7	40.3	44.4	53.1	50.7		49.5
	D-I	-45.1	-46.9	-28.7	-43.6	-28.6	-27.5	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-29.6	-39.4	-30.3	-30.1	-11.1	-31.1	-41.9	-33.8	-30.8	-41.3
収 益	増加	7.5	7.3	16.5	7.7	12.2	10.1	6.5	9.5	9.7	7.6	11.7	8.7	12.5	8.9	19.7	11.4	11.1	15.7		9.1
	変わらず	28.3	31.3	30.4	33.7	32.4	41.8	33.7	36.5	25.8	30.4	34.0	34.8	35.2	40.6	33.8	39.8	32.3	31.4		36.4
	減少	64.2	61.5	53.2	58.7	55.4	48.1	59.8	54.1	64.5	62.0	54.4	56.5	52.3	50.5	46.5	48.9	56.6	52.9		54.5
	D-I	-56.7	-54.2	-36.7	-51.0	-43.2	-38.0	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-42.7	-47.8	-39.8	-41.6	-26.8	-37.5	-45.5	-37.2	-18.7	-45.4
販 売 価 格	上昇	37.4	43.8	43.0	40.6	38.4	41.0	41.8	38.4	33.0	39.8	35.5	43.7	40.2	54.2	40.2	52.0	51.4			47.5
	変わらず	49.5	36.5	43.0	42.5	41.1	44.9	33.0	41.1	46.8	37.4	42.7	50.5	41.4	43.1	34.7	43.7	31.6	37.1		38.4
	下降	13.1	19.8	13.9	17.0	20.5	14.1	25.3	20.5	20.2	29.7	17.5	14.0	14.9	16.7	11.1	16.1	16.3	11.4		14.1
	D-I	24.3	24.0	29.1	23.6	17.9	26.9	16.5	17.9	12.8	3.3	22.3	21.5	28.8	23.5	43.1	24.1	35.7	40.0	-7.4	33.4
仕 入 価 格	上昇	61.0	68.8	72.2	66.3	60.0	72.2	66.3	56.0	62.6	52.3	67.0	63.3	75.0	64.6	69.1	73.9	70.5	68.7		66.3
	変わらず	26.7	19.4	20.3	24.0	28.0	22.8	24.4	29.3	27.5	37.2	27.8	30.0	21.6	30.2	17.6	23.9	18.9	20.9		24.2
	下降	12.4	11.8	7.6	9.6	12.0	5.1	9.3	14.7	9.9	10.5	5.2	6.7	3.4	5.2	13.2	2.3	10.5	10.4		9.5
	D-I	48.6	57.0	64.6	56.7	48.0	67.1	57.0	41.3	52.7	41.8	61.8	56.6	71.6	59.4	55.9	71.6	60.0	58.3	4.1	56.8
在 庫	過剰	13.0	13.3	14.5	9.8	9.7	8.8	7.4	3.2	11.2	6.2	6.2	9.2	7.1	3.1	6.1	6.0	9.8	6.1		6.5
	適正	72.8	71.1	73.9	72.8	72.6	77.9	72.8	74.2	74.2	71.6	77.3	75.9	77.4	80.4	83.3	79.8	70.7	83.3		72.8
	不足	14.1	15.7	11.6	17.4	17.7	13.2	19.8	22.6	14.6	22.2	16.5	14.9	15.5	16.5	10.6	14.3	19.6	10.6		20.7
	D-I	-1.1	-2.4	2.9	-7.6	-8.0	-4.4	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	-10.3	-5.7	-8.4	-13.4	-4.5	-8.3	-9.8	-4.5	-5.3	-14.2
資 金 繰 り	楽	3.7	2.1	5.0	2.8	8.0	3.8	2.2	6.7	4.3	2.2	6.9	2.2	7.0	6.0	4.3	8.1	0.0	2.8		1.0
	変わらず	56.1	48.4	62.5	59.8	54.7	65.4	48.4	53.3	47.9	50.0	50.5	51.6	54.7	48.0	58.6	52.3	60.2	60.6		59.2
	苦しい	40.2	49.5	32.5	37.4	37.3	30.8	49.5	40.0	47.9	47.8	42.6	46.2	38.4	46.0	37.1	39.5	39.8	36.6		39.8
	D-I	-36.5	-47.4	-27.5	-34.6	-29.3	-27.0	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	-35.7	-44.0	-31.4	-40.0	-32.8	-31.4	-39.8	-33.8	-7.0	-38.8
同 期 前 年 比	売上額	-34.0		-5.1		-17.5		-30.8		-36.5		-17.7		-17.7		-8.8		-28.1			
	収益	-60.6		-29.9		-43.9		-53.8		-54.3		-40.6		-41.6		-39.3		-44.6			
	販売価格	22.5		38.2		23.0		35.5		16.5		34.0		26.2		36.3		40.0			
	前年比残業時間	-14.7	-10.8	-9.1	-19.4	-9.5	-11.7	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8	-11.0	-16.1	-13.7	-11.1	-10.1	-13.8	-17.5	-14.5		-16.9
	雇用 人手	-25.0	-20.9	-25.0	-20.2	-26.7	-27.6	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6	-21.0	-32.6	-22.8	-19.2	-29.0	-27.6	-33.0	-33.3		-33.3
借 入 金	借入をした(%)	28.3	14.3	25.3	13.5	26.3	10.7	27.8	13.0	21.3	11.4	29.0	7.9	25.3	9.3	21.1	4.9	23.2	10.6		13.2
	借入をしない(%)	71.7	85.7	74.7	86.5	73.7	89.3	72.2	87.0	78.7	88.6	71.0	92.1	74.7	90.7	78.9	95.1	76.8	89.4		86.8
	借入難易度	-7.6		-1.4		-11.6		-5.5		-5.6		-7.0		-6.9		-20.9		-15.9			
	有効回答事業所数	111		81		77		92		96		105		91		72		99			

小売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-9.1	-17.3	-8.5	-7.1	-8.8	-5.7	-22.9	-13.2	-16.3	-24.1	-11.7	-19.3	-13.4	-11.8	-11.1	-16.0	-13.7	-9.5		-14.7
	実施した	42.9	34.0	28.6	34.8	45.0	35.4	47.6	38.5	37.5	38.1	36.1	34.7	30.6	29.7	31.9	27.4	32.9	35.4		35.6
	事業用地・建物	0.0	5.7	0.0	0.0	2.5	2.1	4.8	5.1	0.0	4.8	6.9	2.0	6.5	5.4	8.5	4.8	4.1	8.3		2.7
	機械・設備の新・増設	8.2	5.7	12.2	10.9	7.5	12.5	14.3	10.3	10.4	11.9	5.6	16.3	8.1	8.1	2.1	4.8	5.5	12.5		6.8
	機械・設備の更改	16.3	13.2	14.3	8.7	12.5	16.7	21.4	17.9	16.7	23.8	18.1	14.3	12.9	13.5	17.0	11.3	8.2	10.4		6.8
	内務機器	18.4	18.9	8.2	10.9	20.0	8.3	16.7	10.3	22.9	14.3	22.2	16.3	16.1	12.2	10.6	14.5	23.3	16.7		20.5
	車両	8.2	13.2	6.1	6.5	12.5	6.3	4.8	20.5	14.6	14.3	12.5	12.2	8.1	9.5	8.5	9.7	11.0	10.4		8.2
	その他	4.1	0.0	4.1	2.2	5.0	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0		1.4
	実施しない	57.1	66.0	71.4	65.2	55.0	64.6	52.4	61.5	62.5	61.9	63.9	65.3	69.4	70.3	68.1	72.6	67.1	64.6		64.4
	売上停滞・減少	63.1		50.0		54.8		64.8		63.2		57.0		59.6		44.3		63.2			
経営上の 問題点 (%)	人手不足	19.4		25.6		20.5		25.0		26.4		15.0		21.3		21.4		22.1			
	大手企業・大型店との競争の激化	5.8		6.4		8.2		10.2		17.2		14.0		13.5		12.9		13.7			
	同業者間の競争の激化	10.7		15.4		13.7		12.5		13.8		19.0		13.5		17.1		14.7			
	流通経路の変化による競争の激化	5.8		0.0		5.5		4.5		3.4		3.0		2.2		2.9		1.1			
	合理化の不足	1.0		1.3		1.4		1.1		1.1		4.0		2.2		1.4		2.1			
	利幅の縮小	30.1		19.2		24.7		21.6		29.9		25.0		30.3		25.7		18.9			
	小口注文・多頻度配送の増加	1.9		1.3		2.7		0.0		2.3		1.0		0.0		0.0		0.0			
	販売商品の不足	7.8		7.7		6.8		6.8		6.9		11.0		11.2		5.7		12.6			
	原材料価格・材料価格の上昇	33.0		32.1		24.7		21.6		23.0		33.0		29.2		34.3		32.6			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.1		1.4		1.1			
重点 経営 施策 (%)	仕入先からの値上げ要請	22.3		19.2		24.7		15.9		13.8		18.0		24.7		18.6		25.3			
	人件費の増加	24.3		20.5		11.0		19.3		14.9		18.0		21.3		24.3		22.1			
	人件費以外の経費増加	15.5		11.5		11.0		12.5		11.5		6.0		5.6		5.7		10.5			
	工場・店舗の狭小・老朽化	2.9		2.6		6.8		3.4		2.3		3.0		3.4		2.9		2.1			
	生産能力・技術力の不足	1.0		1.3		0.0		2.3		4.6		1.0		2.2		0.0		2.1			
	取引先の減少	13.6		10.3		12.3		11.4		12.6		12.0		7.9		10.0		9.5			
	商店街の集客力の低下	6.8		14.1		9.6		10.2		13.8		12.0		12.4		12.9		8.4			
	下請の確保難	0.0		1.3		0.0		0.0		2.3		1.0		3.4		0.0		1.1			
	駐車場・資材置場の確保難	1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		2.9		1.1			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		0.0			
重点 経営 施策 (%)	その他	3.9		2.6		2.7		2.3		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0			
	問題なし	0.0		1.3		4.1		3.4		1.1		3.0		2.2		5.7		1.1			
	販路を広げる	32.3		18.9		26.8		31.8		32.2		39.6		24.1		27.9		38.5			
	経費を削減する	48.5		44.6		38.0		43.2		54.0		38.6		33.7		33.8		45.8			
	品揃えを充実させる	24.2		17.6		21.1		23.9		25.3		17.8		22.9		35.3		26.0			
	情報力・宣伝・広報を強化する	15.2		13.5		11.3		17.0		10.3		16.8		15.7		13.2		17.7			
	新製品・技術を開発する	4.0		1.4		4.2		5.7		2.3		9.9		7.2		2.9		4.2			
	新しい工法を導入する	1.0		1.4		0.0		1.1		1.1		1.0		1.2		0.0		3.1			
	新しい事業を始める	9.1		9.5		5.6		8.0		11.5		10.9		4.8		2.9		5.2			
	不採算部門を整理・縮小する	4.0		2.7		1.4		2.3		1.1		1.0		3.6		4.4		3.1			
重点 経営 施策 (%)	店舗・設備を改装する	4.0		5.4		5.6		6.8		5.7		4.0		7.2		7.4		3.1			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	11.1		12.2		9.9		9.1		4.6		14.9		13.3		14.7		17.7			
	営業時間を延長する	2.0		1.4		1.4		2.3		1.1		2.0		2.4		2.9		3.1			
	売れ筋商品を取扱う	19.2		20.3		12.7		17.0		19.5		22.8		18.1		20.6		24.0			
	商店街事業を活性化させる	8.1		9.5		5.6		1.1		9.2		5.0		10.8		10.3		7.3			
	機械化を推進する	2.0		2.7		4.2		1.1		3.4		0.0		1.2		1.5		2.1			
	技術力を強化する	4.0		2.7		2.8		6.8		4.6		5.0		6.0		7.4		1.0			
	人材を確保する	23.2		28.4		23.9		25.0		23.0		17.8		22.9		19.1		14.6			
	バート化を図る	2.0		1.4		1.4		2.3		0.0		5.0		1.2		1.5		3.1			
	教育訓練を強化する	2.0		0.0		1.4		3.4		3.4		3.0		4.8		2.9		2.1			
有効回答事業所数	労働条件を改善する	3.0		4.1		4.2		3.4		1.1		6.9		6.0		2.9		8.3			
	工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.2		0.0		1.0			
	流通経路の見直しをする	4.0		4.1		1.4		2.3		4.6		3.0		3.6		2.9		1.0			
	取引先を支援する	1.0		1.4		1.4		2.3		2.3		1.0		1.2		0.0		1.0			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		1.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		0.0			
	不動産の有効活用を図る	2.0		2.7		2.8		3.4		2.3		2.0		2.4		1.5		1.0			
	その他	0.0		1.4		0.0		1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		1.0			
	特になし	11.1		6.8		8.5		6.8		6.9		8.9		9.6		14.7		5.2			
		111		81		77		92		96		105		91		72		99			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年1月～3月期

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
項目																					
業況	良い	6.9	4.9	7.1	6.3	8.7	8.3	6.1	9.0	9.4	8.2	8.4	9.8	13.5	6.5	12.5	12.4	9.2	10.1		11.3
	普通	51.0	52.1	60.2	65.0	68.9	60.2	67.5	67.0	53.2	58.2	59.7	55.6	50.9	66.7	59.2	59.0	52.0	53.4		52.7
	悪い	42.1	43.0	32.7	28.7	22.3	31.5	26.3	24.0	37.4	33.6	31.8	34.6	35.6	26.8	28.3	28.6	38.8	36.5		36.0
	D-I	-35.2	-38.1	-25.6	-22.4	-13.6	-23.2	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-23.4	-24.8	-22.1	-20.3	-15.8	-16.2	-29.6	-26.4	-13.8	-24.7
売上額	増加	12.3	9.7	13.3	18.3	29.1	15.5	27.0	17.8	17.1	14.0	15.6	17.0	22.8	14.4	22.4	16.3	16.3	15.5		17.8
	変わらず	48.6	50.7	56.6	51.4	47.6	65.5	54.8	60.4	45.7	57.0	48.1	54.1	47.5	56.9	48.0	55.6	40.5	49.3		46.7
	減少	39.0	39.6	30.1	46.9	23.3	19.1	18.3	21.8	37.1	28.9	36.4	28.9	29.6	28.8	29.6	28.1	43.1	35.1		35.5
	D-I	-26.7	-29.9	-16.8	-12.0	5.8	-3.6	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-20.8	-11.9	-6.8	-14.4	-7.2	-11.8	-26.8	-19.6	-19.6	-17.7
収益	増加	8.3	7.7	13.3	16.1	20.6	14.5	20.0	13.0	12.9	7.0	14.6	14.1	19.5	14.8	18.7	14.5	16.4	14.6		15.0
	変わらず	41.4	45.1	42.5	44.8	48.0	50.0	53.0	56.0	41.4	57.0	39.7	43.0	39.6	51.0	42.7	49.1	38.2	43.8		43.8
	減少	50.3	47.2	44.2	39.2	31.4	35.5	27.0	31.0	45.7	36.0	45.7	43.0	40.9	34.2	38.7	36.5	45.4	41.7		41.2
	D-I	-42.0	-39.5	-30.9	-23.1	-10.8	-21.0	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-31.1	-28.9	-21.4	-19.4	-20.0	-22.0	-29.0	-27.1	-9.0	-26.2
料金価格	上昇	13.2	12.8	13.3	19.0	17.8	14.5	17.9	13.1	17.9	14.4	19.3	17.0	13.8	18.2	20.3	19.7	15.9	15.1		17.2
	変わらず	75.7	73.8	76.1	67.6	73.3	76.4	78.6	79.8	75.0	81.1	70.7	70.4	77.4	71.6	73.6	70.1	74.8	74.0		72.2
	下降	11.1	13.5	10.6	13.4	8.9	9.1	3.6	7.1	7.1	4.5	10.0	12.6	8.8	10.1	6.1	10.2	9.3	11.0		10.6
	D-I	2.1	-0.7	2.7	5.6	8.9	5.4	14.3	6.0	10.8	9.9	9.3	4.4	5.0	8.1	14.2	9.5	6.6	4.1	-7.6	6.6
材料価格	上昇	65.6	54.3	49.0	60.2	54.9	46.9	47.4	45.1	58.6	45.9	57.3	54.8	60.4	52.3	53.3	58.0	59.9	53.0		61.3
	変わらず	27.5	35.7	46.0	30.5	38.5	49.0	49.5	50.5	35.2	52.0	35.9	39.5	37.5	42.3	41.5	39.9	36.5	38.6		33.6
	下降	6.9	10.1	5.0	9.4	6.6	4.1	3.1	4.4	6.3	2.0	6.9	5.6	2.1	5.4	5.2	2.1	3.6	8.3		5.1
	D-I	58.7	44.2	44.0	50.8	48.3	42.8	44.3	40.7	52.3	43.9	50.4	49.2	58.3	46.9	48.1	55.9	56.3	44.7	8.2	56.2
資金繰り	楽	3.5	2.8	1.8	3.6	5.9	1.9	3.6	5.9	1.4	2.8	5.3	2.2	9.9	5.3	5.3	6.2	6.7	6.2		6.6
	変わらず	60.8	58.7	67.3	60.0	69.6	66.7	75.7	68.3	69.1	69.7	65.1	65.9	64.0	68.0	67.3	67.7	61.3	65.1		63.6
	苦しい	35.7	38.5	30.9	36.4	24.5	31.5	20.7	25.7	29.5	27.5	29.6	31.9	26.1	26.7	27.3	26.1	32.0	28.8		29.8
	D-I	-32.2	-35.7	-29.1	-32.8	-18.6	-29.6	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-24.3	-29.7	-16.2	-21.4	-22.0	-19.9	-25.3	-22.6	-3.3	-23.2
同前年 比	売上額	-0.8		0.0		15.2		8.9		-4.2		-11.6		2.8		-2.2		-7.9			
	収益	-30.6		-32.4		-13.0		-8.9		-26.5		-24.0		-15.0		-23.9		-26.1			
雇用	前年比残業時間	-8.9	-2.8	-3.6	-4.2	-6.8	0.0	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1	1.3	-9.7	-3.7	-2.6	0.7	-4.3	-9.3	-8.8		-3.9
	人手	-40.4	-40.7	-39.5	-40.7	-44.2	-39.3	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7	-43.8	-42.9	-43.9	-44.1	-37.7	-38.5	-35.3	-40.5		-39.3
借入金	借入をした(%)	31.2	10.7	26.1	12.5	28.7	14.3	23.9	8.3	24.3	13.6	28.5	9.6	26.1	13.5	25.7	11.7	30.3	15.4		13.5
	借入をしない(%)	68.8	89.3	73.9	87.5	71.3	85.7	76.1	91.7	75.7	86.4	71.5	90.4	73.9	86.5	74.3	88.3	69.7	84.6		86.5
	借入難易度	-10.7		-12.0		-15.1		-12.7		-10.9		-10.0		-13.2		-17.5		-11.6			
有効回答事業所数		147		113		103		115		140		155		164		152		153			

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-12.8	-15.3	-12.0	-18.6	-8.1	-13.9	-15.9	-8.1	-15.2	-15.1	-14.7	-16.3	-13.9	-16.7	-14.7	-14.5	-17.5	-17.7		-17.0
	実施した	41.7	43.7	36.5	51.2	41.7	39.4	32.4	36.8	33.3	36.2	41.3	40.2	43.9	35.3	45.2	45.9	37.3	41.0		35.3
	事業用地・建物	3.6	8.0	1.6	6.0	2.8	4.5	4.4	4.4	1.0	4.3	5.0	2.1	4.5	4.2	6.1	6.7	9.3	11.1		5.9
	機械・設備の新・増設	8.3	12.6	9.5	7.1	8.3	7.6	10.3	5.9	4.2	8.7	5.0	6.2	5.3	5.9	8.7	5.9	2.5	8.5		9.2
	機械・設備の更改	9.5	10.3	4.8	6.0	8.3	12.1	8.8	8.8	9.4	11.6	8.3	8.2	7.6	9.2	10.4	11.1	7.6	9.4		7.6
	事務機器	19.0	14.9	15.9	20.2	18.1	13.6	11.8	14.7	14.6	7.2	15.7	16.5	20.5	10.1	14.8	15.6	19.5	11.1		16.0
	車両	20.2	26.4	19.0	25.0	19.4	21.2	14.7	17.6	19.8	14.5	19.8	21.6	27.3	21.8	25.2	27.4	17.8	22.2		19.3
	その他	1.2	0.0	1.6	6.0	4.2	3.0	1.5	1.5	0.0	4.3	0.8	1.0	1.5	0.0	0.9	2.2	1.7	0.9		0.0
	実施しない	58.3	56.3	63.5	48.8	58.3	60.6	67.6	63.2	66.7	63.8	58.7	59.8	56.1	64.7	54.8	54.1	62.7	59.0		64.7
	売上停滞・減少	40.7		44.8		42.7		37.5		36.6		43.2		38.5		39.9		45.0			
経営上の 問題点 (%)	人手不足	39.3		38.1		41.7		34.6		40.3		43.2		36.6		35.8		30.9			
	大手企業・大型店との競争の激化	1.4		1.0		1.0		2.9		3.0		3.4		1.2		2.0		4.0			
	同業者間の競争の激化	10.0		14.3		7.3		8.7		12.7		9.5		14.9		14.2		14.1			
	流通経路の変化による競争の激化	0.7		1.0		0.0		1.0		0.0		0.7		1.2		0.0		0.7			
	合理化の不足	0.7		1.0		3.1		5.8		4.5		2.7		5.0		4.1		1.3			
	利幅の縮小	28.6		18.1		19.8		26.0		24.6		18.9		19.3		22.3		20.1			
	小口注文・多頻度配送の増加	2.1		1.0		2.1		2.9		0.7		0.0		0.6		1.4		0.0			
	販売商品の不足	0.7		0.0		1.0		1.0		2.2		1.4		2.5		2.0		4.7			
	原材料価格・材料価格の上昇	34.3		27.6		32.3		26.9		20.9		31.8		24.8		25.7		28.9			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		1.0		0.0		1.0		0.0		0.7		0.0		0.0		2.0			
重点経営 施策 (%)	仕入先からの値上げ要請	9.3		7.6		10.4		6.7		9.7		6.8		6.8		2.7		4.0			
	人件費の増加	30.7		30.5		37.5		26.0		32.8		25.7		27.3		32.4		30.2			
	人件費以外の経費増加	26.4		15.2		19.8		22.1		21.6		16.9		14.3		16.9		14.8			
	工場・店舗の狭小・老朽化	2.9		1.9		1.0		3.8		0.7		4.1		4.3		2.7		3.4			
	生産能力・技術力の不足	4.3		1.9		5.2		5.8		4.5		6.1		5.0		4.7		3.4			
	取引先の減少	9.3		9.5		10.4		11.5		11.9		4.7		9.3		14.2		12.1			
	商店街の集客力の低下	1.4		1.0		0.0		1.9		1.5		1.4		0.6		0.7		1.3			
	下請の確保難	1.4		3.8		1.0		3.8		2.2		5.4		1.9		2.0		2.7			
	駐車場・資材置場の確保難	0.7		2.9		3.1		1.9		3.0		2.0		3.7		0.7		1.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.0		1.0		1.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.7			
その他	その他	3.6		1.0		2.1		1.0		3.0		0.7		0.0		1.4		2.0			
	問題なし	5.7		9.5		6.3		8.7		6.7		6.1		9.9		8.1		12.8			
	販路を広げる	23.5		28.6		29.3		32.1		28.9		25.7		24.5		26.0		28.9			
	経費を削減する	48.5		38.1		44.4		46.2		40.0		41.2		37.7		45.3		41.6			
	品揃えを充実させる	3.7		1.9		2.0		2.8		3.7		3.4		3.8		3.3		4.0			
	情報力・宣伝・広報を強化する	14.0		17.1		17.2		15.1		13.3		14.2		18.2		14.7		16.8			
	新製品・技術を開発する	5.1		2.9		6.1		4.7		6.7		2.7		3.8		5.3		2.7			
	新しい工法を導入する	1.5		1.9		2.0		1.9		0.7		3.4		2.5		0.7		2.0			
	新しい事業を始める	13.2		11.4		9.1		14.2		8.9		8.8		13.2		12.0		12.1			
	不採算部門を整理・縮小する	2.2		2.9		5.1		3.8		2.2		3.4		2.5		4.7		1.3			
その他	店舗・設備を改装する	2.9		1.9		1.0		5.7		3.7		5.4		1.9		4.7		3.4			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	10.3		11.4		10.1		10.4		7.4		8.8		10.7		10.0		11.4			
	営業時間を延長する	1.5		1.0		3.0		1.9		1.5		3.4		3.8		2.0		2.7			
	売れ筋商品を取扱う	3.7		1.0		1.0		3.8		5.9		4.7		1.3		1.3		2.0			
	商店街事業を活性化させる	0.7		1.9		2.0		1.9		2.2		2.0		0.6		0.0		3.4			
	機械化を推進する	2.9		2.9		1.0		2.8		3.7		3.4		3.1		3.3		3.4			
	技術力を強化する	15.4		16.2		8.1		16.0		16.3		10.8		14.5		15.3		14.8			
	人材を確保する	39.7		40.0		41.4		36.8		40.7		38.5		33.3		32.7		29.5			
	パート化を図る	0.7		1.0		3.0		0.9		0.0		2.7		1.3		1.3		2.0			
	教育訓練を強化する	9.6		8.6		10.1		11.3		11.1		10.8		8.2		8.7		8.1			
その他	労働条件を改善する	13.2		8.6		10.1		6.6		9.6		12.8		8.2		11.3		6.7			
	工場・機械を増設・移転する	1.5		0.0		1.0		0.0		0.7		0.0		1.3		0.0		0.7			
	流通経路の見直しをする	1.5		0.0		0.0		0.0		0.7		0.7		1.3		1.3		0.7			
	取引先を支援する	1.5		1.0		0.0		0.9		0.0		1.4		0.6		0.7		0.0			
	輸入品の取扱いを増やす	0.7		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.7			
	不動産の有効活用を図る	0.7		1.0		3.0		0.9		1.5		0.0		0.6		0.7		0.7			
	その他	2.2		1.0		2.0		0.9		2.2		2.0		0.6		3.3		2.0			
	特になし	7.4		13.3		8.1		8.5		9.6		10.1		13.8		12.0		16.8			
有効回答事業所数		147		113		103		115		140		155		164		152		153			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年1月～3月期

建設業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
業況	良い	11.7	9.0	7.3	6.2	9.1	10.3	12.8	10.0	12.1	7.7	10.6	8.3	13.4	8.4	16.9	10.1	15.5	12.0		13.9
	普通	49.1	49.4	56.3	52.5	54.5	55.9	58.8	54.0	53.0	58.7	53.6	62.1	55.0	58.4	61.0	60.8	58.5	63.2		48.9
	悪い	39.3	41.7	36.4	41.4	36.4	33.8	28.4	36.0	34.9	33.6	35.8	29.7	31.5	33.1	22.1	29.1	26.1	24.8		37.2
	D-I	-27.6	-32.7	-29.1	-35.2	-27.3	-23.5	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-25.2	-21.4	-18.1	-24.7	-5.2	-19.0	-10.6	-12.8	-5.4	-23.3
売上額	増加	18.4	11.6	16.4	8.0	17.2	13.3	17.7	16.9	17.3	10.9	16.3	18.5	18.8	15.0	24.3	12.8	20.4	14.7		12.9
	変わらず	36.8	49.4	39.5	50.3	41.7	55.3	50.3	52.0	45.3	51.7	43.3	49.3	51.0	52.2	47.1	55.7	45.8	52.9		54.3
	減少	44.8	39.0	44.1	46.9	41.1	31.3	32.0	31.1	37.3	37.4	40.4	32.2	30.2	32.8	28.7	31.5	33.8	32.4		32.9
	D-I	-26.4	-27.4	-27.7	-33.7	-23.9	-18.0	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-24.1	-13.7	-11.4	-17.8	-4.4	-18.7	-13.4	-17.7	-9.0	-20.0
受注残	増加	12.2	9.1	9.3	9.1	16.0	13.9	18.8	16.2	12.2	16.1	12.4	13.8	14.8	16.1	17.2	14.1	14.4	13.5		11.7
	変わらず	44.5	51.8	52.3	50.0	52.0	56.3	47.9	54.1	53.4	48.3	47.2	57.2	61.1	51.7	55.2	59.1	47.5	57.1		56.9
	減少	43.3	39.0	38.4	40.9	32.0	29.8	33.3	29.7	34.5	35.7	40.4	29.0	24.2	32.2	27.6	26.8	38.1	29.3		31.4
	D-I	-31.1	-29.9	-29.1	-31.8	-16.0	-15.9	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-28.0	-15.2	-9.4	-16.1	-10.4	-12.7	-23.7	-15.8	-13.3	-19.7
施工高	増加	17.3	11.4	13.9	9.2	19.0	14.8	18.5	20.5	13.4	15.9	16.2	15.0	19.7	17.9	23.7	15.8	21.6	14.8		12.4
	変わらず	40.7	50.9	43.7	49.7	42.5	57.0	47.9	49.7	52.3	47.6	42.5	54.4	53.1	50.3	51.1	53.4	43.9	51.1		53.3
	減少	42.0	37.7	42.4	41.1	38.6	28.2	33.6	29.8	34.2	36.6	41.3	30.6	27.2	31.8	25.2	30.8	34.5	34.1		34.3
	D-I	-24.7	-26.3	-28.5	-31.9	-19.6	-13.4	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-25.1	-15.6	-7.5	-13.9	-1.5	-15.0	-12.9	-19.3	-11.4	-21.9
収益	増加	17.1	9.5	13.2	9.1	14.9	14.0	18.2	16.4	10.0	12.9	14.0	11.5	18.9	15.6	24.3	12.8	15.7	12.4		9.4
	変わらず	32.3	44.0	38.2	42.7	38.3	50.0	43.9	48.0	50.0	44.9	42.1	50.7	50.7	45.8	44.1	56.1	45.7	48.9		50.7
	減少	50.6	46.4	48.7	48.2	46.8	36.0	37.8	35.5	40.0	42.2	43.8	37.8	30.4	38.5	31.6	31.1	38.6	38.7		39.9
	D-I	-33.5	-36.9	-35.5	-39.1	-31.9	-22.0	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-29.8	-26.3	-11.5	-22.9	-7.3	-18.3	-22.9	-26.3	-15.6	-30.5
請負価格	上昇	16.7	21.8	15.8	16.0	23.7	17.4	17.0	21.3	17.2	15.8	18.8	18.8	18.9	21.2	21.9	17.8	15.1	15.3		13.0
	変わらず	64.2	53.9	67.1	62.3	55.9	69.1	66.7	60.0	67.5	65.1	63.6	64.4	66.2	65.4	64.2	65.8	64.0	68.6		64.5
	下降	19.1	24.2	17.1	21.6	20.4	13.4	16.3	18.7	15.2	19.2	17.6	16.8	14.9	13.4	13.9	16.4	20.9	16.1		22.5
	D-I	-2.4	-2.4	-1.3	-5.6	3.3	4.0	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.2	2.0	4.0	7.8	8.0	1.4	-5.8	-0.8	-13.8	-9.5
材料価格	上昇	80.3	69.4	69.4	75.7	71.4	60.4	67.9	61.4	65.3	57.4	61.5	61.6	65.1	60.9	65.9	63.4	62.1	61.9		65.2
	変わらず	16.4	24.4	27.2	19.1	23.1	36.8	28.5	34.5	30.6	36.8	35.1	34.9	30.8	36.8	30.4	30.3	32.9	32.8		30.4
	下降	3.3	6.3	3.4	5.3	5.4	2.8	3.6	4.1	4.1	5.9	3.4	3.4	4.1	2.3	3.7	6.2	5.0	5.2		4.3
	D-I	77.0	63.1	66.0	70.4	66.0	57.6	64.3	57.3	61.2	51.5	58.1	58.2	61.0	58.6	62.2	57.2	57.1	56.7	-5.1	60.9
在庫	過剰	2.8	3.2	7.0	1.4	9.8	5.7	6.7	8.5	6.5	6.0	5.9	6.5	4.1	5.9	5.6	4.1	4.4	5.6		5.2
	適正	84.6	72.1	82.4	84.6	81.8	82.3	82.2	83.0	82.0	83.6	88.8	79.7	91.0	87.1	88.1	91.7	85.4	85.7		84.4
	不足	12.6	24.7	10.6	14.0	8.4	12.1	11.1	8.5	11.5	10.4	5.3	13.8	4.8	7.1	6.3	4.1	10.2	8.7		10.4
	D-I	-9.8	-21.5	-3.6	-12.6	1.4	-6.4	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	0.6	-7.3	-0.7	-1.2	-0.7	0.0	-5.8	-3.1	-5.1	-5.2
資金繰り	楽	5.7	5.6	10.7	4.5	7.9	7.4	9.0	5.4	5.3	6.9	6.9	6.6	5.4	6.9	7.4	5.4	7.1	5.9		7.2
	変わらず	65.6	56.8	61.3	65.4	59.6	63.8	58.6	63.8	65.8	57.6	64.9	62.9	66.2	62.1	66.9	67.3	63.6	64.7		63.8
	苦しい	28.7	37.7	28.0	30.1	32.5	28.9	32.4	30.9	28.9	35.4	28.2	30.5	28.4	31.0	25.7	27.2	29.3	29.4		29.0
	D-I	-23.0	-32.1	-17.3	-25.6	-24.6	-21.5	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-21.3	-23.9	-23.0	-24.1	-18.3	-21.8	-22.2	-23.5	-3.9	-21.8
同期比	売上額	-24.1		-22.2		-21.9		-16.6		-20.4		-10.8		-5.4		1.6		-15.2			
	収益	-32.3		-35.2		-35.9		-31.5		-27.5		-25.9		-17.9		-20.0		-24.8			
雇用	前年比残業時間	-18.1	-11.1	-16.8	-22.6	-10.6	-12.9	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7	-28.5	-15.9	-14.2	-18.4	-12.6	-12.2	-10.8	-7.5		-13.3
	人手	-51.0	-57.1	-52.6	-46.5	-56.3	-54.4	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6	-48.6	-61.1	-56.7	-52.5	-63.4	-60.1	-58.0	-59.0		-59.2
借入金	借入をしした(%)	41.0	20.5	44.1	18.2	43.7	19.4	38.6	22.8	42.4	20.1	38.1	21.3	36.8	20.5	33.8	16.5	38.6	17.8		16.3
	借入をししない(%)	59.0	79.5	55.9	81.8	56.3	80.6	61.4	77.2	57.6	79.9	61.9	78.7	63.2	79.5	66.2	83.5	61.4	82.2		83.7
	借入難易度	1.3		1.4		-3.4		-3.5		-9.5		-4.6		-6.2		-2.2		-2.9			
有効回答事業所数		164		152		155		148		153		180		149		137		142			

建設業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-9.6	-11.7	-9.2	-9.1	-7.5	-9.2	-9.4	-8.2	-11.5	-10.8	-13.8	-11.0	-9.6	-15.0	-12.1	-9.0	-9.7	-12.8		-13.4
	実施した	41.1	38.8	47.9	47.2	48.0	43.7	44.8	45.1	45.5	37.5	48.7	46.5	37.2	42.5	60.0	38.8	47.1	53.1		44.9
	事業用地・建物	12.1	7.8	7.3	11.1	12.0	9.4	7.6	8.8	6.9	5.8	8.7	8.1	5.0	7.2	7.0	7.4	2.5	6.2		5.1
	機械・設備の新・増設	10.3	9.5	9.4	12.0	10.0	6.3	11.4	9.8	11.9	8.7	12.0	15.2	9.9	8.5	10.4	8.3	8.4	13.3		13.6
	機械・設備の更改	9.3	7.8	15.6	12.0	8.0	12.5	8.6	10.8	16.8	6.7	14.0	15.2	9.1	13.1	13.0	5.8	12.6	9.7		10.2
	事務機器	15.0	13.8	17.7	14.8	25.0	13.5	16.2	15.7	18.8	12.5	16.7	15.2	16.5	13.1	26.1	15.7	20.2	23.9		10.2
	車両	22.4	23.3	26.0	25.9	24.0	24.0	28.6	27.5	25.7	26.0	24.0	30.3	20.7	22.2	35.7	23.1	24.4	31.0		27.1
	その他	1.9	0.9	2.1	1.9	2.0	1.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0		0.8
	実施しない	58.9	61.2	52.1	52.8	52.0	56.3	55.2	54.9	54.5	62.5	51.3	53.5	62.8	57.5	40.0	61.2	52.9	46.9		55.1
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	42.9		42.1		39.9		29.3		33.6		42.9		29.5		27.1		33.1			
	人手不足	42.2		55.0		53.4		57.9		56.6		47.6		56.2		55.6		56.8			
	大手企業・大型店との競争の激化	0.6		1.4		0.7		0.7		1.4		1.2		2.1		0.8		1.4			
	同業者間の競争の激化	13.6		12.9		10.1		13.6		12.6		10.6		12.3		11.3		13.7			
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		0.8		0.0			
	合理化の不足	1.3		0.7		0.0		2.9		1.4		2.4		1.4		3.0		1.4			
	利幅の縮小	24.0		23.6		26.4		21.4		23.8		18.8		21.9		18.8		20.1			
	小口注文・多頻度配送の増加	1.3		1.4		0.7		0.0		0.7		1.2		0.0		0.0		0.0			
	販売商品の不足	1.9		0.7		1.4		0.7		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7			
	原材料価格・材料価格の上昇	48.7		40.0		43.9		39.3		35.0		45.3		43.2		39.8		42.4			
	販売納入先からの値下げ要請	1.3		1.4		0.7		0.0		1.4		0.6		1.4		0.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	13.0		6.4		8.8		4.3		6.3		6.5		7.5		6.8		5.8			
	人件費の増加	21.4		21.4		23.6		23.6		28.7		27.6		26.7		28.6		22.3			
	人件費以外の経費増加	10.4		11.4		12.8		15.0		9.8		10.6		11.0		11.3		14.4			
	工場・店舗の狭小・老朽化	0.0		0.0		2.0		0.0		2.8		1.2		1.4		0.8		1.4			
	生産能力・技術力の不足	7.8		4.3		8.1		8.6		2.1		9.4		6.8		9.8		3.6			
	取引先の減少	10.4		7.1		8.1		5.7		8.4		8.8		6.8		7.5		5.0			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	下請の確保難	16.9		17.1		16.2		20.0		21.7		14.7		19.2		15.0		21.6			
	駐車場・資材置場の確保難	2.6		3.6		3.4		6.4		4.2		5.3		7.5		5.3		4.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.7		0.7		0.0		0.0		0.0		0.7		0.0		1.4			
	その他	1.9		1.4		4.1		1.4		3.5		2.9		2.1		1.5		2.9			
	問題なし	2.6		2.1		2.0		2.9		4.2		2.9		4.1		4.5		5.8			
重 点 経 営 施 策 (%)	販路を広げる	23.5		29.5		23.8		18.7		25.2		24.4		20.0		24.4		22.5			
	経費を削減する	49.0		41.7		39.7		43.9		39.9		39.3		42.8		40.5		40.6			
	品揃えを充実させる	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.7		0.0		0.0			
	情報力・宣伝・広報を強化する	4.0		5.8		6.6		6.5		8.4		6.0		6.9		7.6		6.5			
	新製品・技術を開発する	1.3		2.2		0.7		0.7		2.1		0.0		0.7		0.8		0.7			
	新しい工法を導入する	2.7		5.8		2.6		4.3		2.1		2.4		3.4		3.8		2.9			
	新しい事業を始める	8.1		5.8		6.6		6.5		7.0		10.7		6.9		6.1		8.7			
	不採算部門を整理・縮小する	2.0		2.2		3.3		3.6		2.1		3.6		1.4		0.8		3.6			
	店舗・設備を改装する	0.0		0.0		0.7		0.0		0.0		0.0		2.1		0.8		0.0			
	仕入先・提携先を開拓・選別する	14.8		17.3		15.9		9.4		11.9		19.0		17.9		18.3		18.8			
	営業時間を延長する	0.7		0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0			
	売れ筋商品を取扱う	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.7		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0			
	機械化を推進する	0.7		0.0		0.7		1.4		0.7		2.4		4.1		4.6		2.9			
	技術力を強化する	24.8		24.5		22.5		23.7		22.4		30.4		28.3		26.0		26.1			
	人材を確保する	52.3		50.4		51.7		54.7		60.1		50.6		56.6		53.4		55.1			
	パート化を図る	0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		1.2		0.7		0.8		0.0			
	教育訓練を強化する	12.1		12.9		10.6		12.2		7.7		8.9		11.0		13.0		13.8			
	労働条件を改善する	13.4		11.5		13.2		18.7		14.0		14.9		15.2		12.2		14.5			
	工場・機械を増設・移転する	1.3		0.0		1.3		1.4		1.4		0.6		0.7		1.5		0.7			
	流通経路の見直しをする	1.3		1.4		0.0		0.7		0.0		0.6		0.0		1.5		0.0			
	取引先を支援する	2.0		1.4		3.3		2.2		0.0		3.0		2.1		0.8		3.6			
	輸入品の取扱いを増やす	0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	2.7		2.2		2.6		0.7		2.1		2.4		0.0		2.3		0.7			
	その他	0.7		0.0		0.0		1.4		1.4		0.0		2.8		0.8		1.4			
	特になし	7.4		12.9		9.9		10.8		10.5		7.7		8.3		6.9		5.8			
有効回答事業所数		164		152		155		148		153		180		149		137		142			

不動産業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比	R7 4～6月期 (予測)
項目																					
業 況	良い	6.0	1.0	3.3	8.8	5.9	8.0	6.3	2.0	5.3	4.1	3.6	3.8	6.5	1.9	8.5	5.9	7.8	1.8		4.1
	普通	63.8	75.5	71.4	68.4	72.5	65.9	70.9	79.2	71.7	74.3	73.6	73.3	75.0	71.8	74.6	75.6	74.4	80.4		77.2
	悪い	30.2	23.5	25.3	22.8	21.6	26.1	22.8	18.8	23.0	21.6	22.7	22.9	18.5	26.2	16.9	18.5	17.8	17.9		18.7
	D-I	-24.2	-22.5	-22.0	-14.0	-15.7	-18.1	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-19.1	-19.1	-12.0	-24.3	-8.4	-12.6	-10.0	-16.1	-1.6	-14.6
売 上 額	増加	5.2	5.0	12.2	14.2	5.8	13.3	5.1	6.8	7.1	2.7	7.3	6.4	7.3	6.5	13.4	6.8	13.2	6.2		10.2
	変わらず	65.2	72.3	62.2	61.1	74.8	63.3	74.4	69.9	68.1	74.7	70.0	74.5	74.0	69.4	67.2	71.2	69.0	72.6		72.7
	減少	29.6	22.8	25.6	46.9	19.4	23.3	20.5	23.3	24.8	22.7	19.1	18.7	24.1	19.3	22.0	17.8	21.2			17.2
	D-I	-24.4	-17.8	-13.4	-10.6	-13.6	-10.0	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-15.4	-12.7	-11.4	-17.6	-5.9	-15.2	-4.6	-15.0	1.3	-7.0
収 益	増加	7.1	4.9	7.9	12.4	5.8	10.1	8.9	6.8	4.6	2.6	6.5	5.7	7.4	7.5	10.2	7.6	11.9	3.6		11.3
	変わらず	61.9	67.6	61.8	62.8	71.8	58.4	63.3	66.0	64.2	68.4	69.2	70.5	66.9	67.0	66.1	65.3	57.1	67.9		62.9
	減少	31.0	27.5	30.3	24.8	22.3	31.5	27.8	27.2	31.2	28.9	24.3	23.8	25.6	25.5	23.7	27.1	31.0	28.6		25.8
	D-I	-23.9	-22.6	-22.4	-12.4	-16.5	-21.4	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-17.8	-18.1	-18.2	-18.0	-13.5	-19.5	-19.1	-25.0	-5.6	-14.5
販 売 価 格	上昇	9.4	9.6	13.3	10.5	7.1	14.6	9.6	7.1	6.0	9.7	12.9	10.4	11.4	11.1	12.5	15.0	10.0	10.3		12.7
	変わらず	71.7	75.5	73.5	71.4	80.8	70.7	80.8	74.7	79.0	79.2	76.2	75.0	79.8	75.8	81.3	72.6	79.2	83.2		79.7
	下降	18.9	14.9	13.3	18.1	12.1	14.6	9.6	18.2	15.0	11.1	10.9	14.6	8.8	13.1	6.3	12.4	10.8	6.5		7.6
	D-I	-9.5	-5.3	0.0	-7.6	-5.0	0.0	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	2.0	-4.2	2.6	-2.0	6.2	2.6	-0.8	3.8	-7.0	5.1
仕 入 価 格	上昇	30.4	25.8	31.3	32.4	30.9	30.4	37.3	28.7	33.7	34.2	41.6	32.3	30.8	38.6	37.6	29.6	34.2	34.6		32.8
	変わらず	56.9	62.4	58.8	54.9	58.5	57.0	56.0	60.6	56.4	58.9	52.5	54.5	59.0	55.4	56.9	59.1	60.0	58.9		62.2
	下降	12.7	11.8	10.0	12.7	10.6	12.7	6.7	10.6	9.9	6.8	5.9	13.1	10.3	5.9	5.5	11.3	5.8	6.5		5.0
	D-I	17.7	14.0	21.3	19.7	20.3	17.7	30.6	18.1	23.8	27.4	35.7	19.2	20.5	32.7	32.1	18.3	28.4	28.1	-3.7	27.8
資 金 繰 り	楽	3.5	4.0	1.1	4.4	1.9	2.3	1.3	2.9	4.8	1.3	0.9	4.0	4.1	0.0	3.6	2.5	3.9	4.7		3.1
	変わらず	74.6	73.3	76.1	72.8	75.7	75.0	83.1	73.8	75.2	80.0	85.3	75.2	81.8	86.2	80.4	82.4	80.5	75.7		81.1
	苦しい	21.9	22.8	22.7	22.8	22.3	22.7	15.6	23.3	20.0	18.7	13.8	20.8	14.0	13.8	16.1	15.1	15.6	19.6		15.7
	D-I	-18.4	-18.8	-21.6	-18.4	-20.4	-20.4	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-12.9	-16.8	-9.9	-13.8	-12.5	-12.6	-11.7	-14.9	0.8	-12.6
同 期 年 比	売上額	-22.4		-19.7		-6.1		-15.3		-20.2		-12.4		-6.2		-7.5		-8.3			
	収益	-33.6		-30.3		-23.0		-25.6		-29.8		-22.1		-19.3		-18.7		-26.6			
	販売価格	-7.8		-7.4		1.1		-1.4		-10.6		-1.9		-0.9		5.6		9.9			
雇 用	前年比残業時間	-5.5	-8.2	-5.9	-5.5	-12.9	-5.9	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9	-3.8	-6.0	-5.3	-3.9	0.0	-4.6	-2.5	-1.9		-3.3
	人手	-11.9	-3.0	-12.9	-9.3	-16.0	-10.7	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9	-6.6	-12.7	-6.8	-6.7	-9.0	-6.9	-9.0	-10.0		-9.0
借 入 金	借入をした(%)	27.7	18.0	22.6	17.1	22.0	19.5	17.3	14.0	23.4	17.1	16.5	14.0	19.2	12.1	14.8	17.4	19.4	15.6		18.3
	借入をしない(%)	72.3	82.0	77.4	82.9	78.0	80.5	82.7	86.0	76.6	82.9	83.5	86.0	80.8	87.9	85.2	82.6	80.6	84.4		81.7
	借入難易度	-12.5		-12.9		-18.4		-10.8		-15.1		-11.2		-11.7		-13.8		-13.1			
有効回答事業所数		117		92		103		80		114		112		125		119		129			

不動産業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

		調査期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		対前期 比		R7 4～6月期 (予測)	
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-12.0	-13.6	-12.3	-13.9	-12.3	-12.5	-9.9	-12.5	-8.9	-12.7	-2.0	-10.0	-7.8	-3.0	-7.4	-10.7	-6.6	-8.3						-6.8
	実施した	35.2	28.8	38.8	43.7	26.7	56.0	39.5	33.9	32.4	44.2	34.2	34.8	34.1	34.2	34.5	29.9	28.6	35.3						39.6
	事業用地・建物	9.9	8.5	14.3	11.3	15.0	20.0	14.0	16.9	5.9	25.6	12.7	17.4	14.8	18.4	11.5	14.9	14.3	14.1						18.8
	機械・設備の新・増設	7.0	0.0	4.1	2.8	3.3	2.0	9.3	5.1	2.9	7.0	3.8	1.4	3.4	1.3	4.6	2.3	6.1	5.9						7.3
	機械・設備の更改	8.5	3.4	8.2	11.3	3.3	18.0	7.0	5.1	4.4	11.6	2.5	10.1	10.2	6.6	5.7	8.0	4.1	8.2						2.1
	事務機器	16.9	6.8	14.3	19.7	6.7	26.0	20.9	8.5	19.1	11.6	5.1	14.5	6.8	6.6	10.3	8.0	7.1	8.2						7.3
	車両	11.3	10.2	4.1	11.3	5.0	10.0	2.3	10.2	10.3	4.7	6.3	8.7	6.8	3.9	5.7	5.7	6.1	4.7						10.4
	その他	2.8	3.4	2.0	2.8	1.7	4.0	2.3	1.7	0.0	2.3	3.8	1.4	0.0	2.6	2.3	2.3	1.0	4.7						4.2
	実施しない	64.8	71.2	61.2	56.3	73.3	44.0	60.5	66.1	67.6	55.8	65.8	65.2	65.9	65.8	65.5	70.1	71.4	64.7						60.4
	経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	29.5		29.8		31.3		31.1		36.9		25.0		23.5		21.6		26.1						
人手不足		7.1		7.1		10.4		10.8		6.8		4.8		3.4		1.8		1.7							
大手企業・大型店との競争の激化		8.9		7.1		9.4		6.8		4.9		5.8		10.9		3.6		5.9							
同業者間の競争の激化		23.2		20.2		20.8		23.0		29.1		19.2		21.8		14.4		20.2							
流通経路の変化による競争の激化		6.3		2.4		2.1		4.1		0.0		1.9		1.7		1.8		1.7							
合理化の不足		4.5		9.5		3.1		5.4		3.9		4.8		3.4		3.6		1.7							
利幅の縮小		20.5		16.7		18.8		21.6		22.3		24.0		19.3		22.5		22.7							
小口注文・多頻度配送の増加		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
販売商品の不足		5.4		6.0		3.1		1.4		4.9		6.7		5.9		6.3		5.9							
原材料価格・材料価格の上昇		19.6		17.9		16.7		12.2		16.5		24.0		16.0		21.6		21.8							
販売納入先からの値下げ要請		0.9		1.2		1.0		0.0		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0							
仕入先からの値上げ要請		6.3		3.6		3.1		4.1		6.8		5.8		2.5		7.2		6.7							
人件費の増加		3.6		1.2		5.2		5.4		3.9		2.9		4.2		2.7		3.4							
人件費以外の経費増加		20.5		17.9		14.6		16.2		14.6		21.2		13.4		17.1		21.0							
工場・店舗の狭小・老朽化		11.6		10.7		8.3		9.5		7.8		5.8		6.7		7.2		3.4							
生産能力・技術力の不足		0.9		1.2		0.0		0.0		1.0		1.0		0.8		0.9		0.8							
取引先の減少		6.3		7.1		2.1		6.8		4.9		5.8		5.0		2.7		0.8							
商店街の集客力の低下		3.6		3.6		2.1		0.0		1.9		1.9		0.8		4.5		3.4							
下請の確保難		0.9		1.2		1.0		0.0		1.0		1.9		5.0		4.5		2.5							
駐車場・資材置場の確保難		0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.0		0.9		0.8							
大手企業・工場の縮小・撤退		1.8		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0							
その他		2.7		6.0		3.1		9.5		4.9		5.8		6.7		5.4		4.2							
問題なし		18.8		16.7		28.1		23.0		17.5		23.1		31.1		25.2		27.7							
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	14.5		14.8		14.3		19.2		13.5		15.5		16.7		15.4		9.1							
	経費を削減する	44.5		38.3		34.7		41.1		45.2		32.0		29.2		36.5		37.2							
	品揃えを充実させる	0.9		2.5		2.0		4.1		3.8		2.9		2.5		2.9		0.0							
	情報力・宣伝・広報を強化する	18.2		21.0		15.3		19.2		19.2		11.7		24.2		10.6		9.9							
	新製品・技術を開発する	0.9		2.5		0.0		0.0		0.0		1.0		1.7		1.0		0.8							
	新しい工法を導入する	0.9		0.0		2.0		1.4		3.8		1.0		2.5		1.9		1.7							
	新しい事業を始める	11.8		16.0		10.2		6.8		8.7		6.8		5.0		8.7		9.1							
	不採算部門を整理・縮小する	3.6		1.2		5.1		2.7		0.0		3.9		0.0		1.9		3.3							
	店舗・設備を改装する	12.7		7.4		6.1		9.6		5.8		9.7		8.3		10.6		11.6							
	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.1		4.9		5.1		15.1		3.8		8.7		10.0		9.6		9.9							
	営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0							
	売れ筋商品を取扱う	0.9		3.7		2.0		0.0		1.0		1.0		0.8		1.9		0.0							
	商店街事業を活性化させる	0.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.8							
	機械化を推進する	1.8		0.0		3.1		2.7		1.0		0.0		0.8		0.0		0.8							
	技術力を強化する	0.9		0.0		1.0		2.7		1.9		1.0		0.0		1.9		2.5							
	人材を確保する	5.5		6.2		5.1		8.2		4.8		2.9		2.5		0.0		3.3							
	パート化を図る	0.9		0.0		1.0		1.4		1.9		2.9		2.5		0.0		1.7							
	教育訓練を強化する	1.8		2.5		2.0		4.1		1.0		1.0		1.7		3.8		1.7							
	労働条件を改善する	0.9		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.8							
	工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8							
	流通経路の見直しをする	2.7		0.0		2.0		1.4		1.0		1.0		2.5		1.9		0.8							
	取引先を支援する	1.8		0.0		0.0		1.4		2.9		0.0		1.7		1.0		0.0							
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
	不動産の有効活用を図る	35.5		39.5		33.7		34.2		22.1		27.2		28.3		30.8		31.4							
	その他	0.9		2.5		1.0		2.7		2.9		4.9		3.3		2.9		1.7							
	特になし	16.4		22.2		27.6		19.2		25.0		27.2		28.3		30.8		28.1							
有効回答事業所数		117		92		103		80		114		112		125		119		129							

調査の概要

1. 調 査 時 期 令和 7 年 1～3 月期
2. 調 査 方 法 郵送及びWEB アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	325	168
卸 売 業	300	87
小 売 業	300	99
サ ビ ス 業	300	153
建 設 業	325	142
不 動 産 業	300	129
合 計	1,850	802

※有効回答事業所数の合計は業種不明 24 件含む

※回収内訳：紙回答 455 件、WEB 回答 347 件